DENON

AV サラウンドアンプ

AVC-3808

取扱説明書

安全にお使いいただくためにー必ずお守りください。

- お買い上げいただき、ありがとうございます。
- ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
- お読みになった後は後日お役に立つこともありますので、必ず保存してください。

GUI *Graphical User Interface*

本書は、GUI画面に表示される操作ガイドと一緒にご覧ください。

GUIメニュー操作（☞24ページ）
GUIメニューマップ（☞25ページ）
リモコン操作（☞62ページ）

総目次

ご使用になる前に

接続のしかた

GUI メニュー操作

オートセットアップ

マニュアル設定

ソース選択

サラウンドモード

パラメーター

情報

再生のしかた

その他の操作や機能

リモコン操作

ステレオ音のエチケット

- 隣り近所への配慮（おもいやり）を十分にいたしましょう。
- 特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。

ご使用になる前に

安全上のご注意

正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずよくお読みください。

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その絵表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例

図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。

感電注意

△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。

分解禁止

⦸記号は禁止の行為であることを告げるものです。

電源プラグをコンセントから抜け

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

⚠ 警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、
人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

電源プラグをコンセントから抜け

万一異常が発生したら、電源プラグをすぐに抜く

- 煙や異臭、異音が出たとき
- 落としたり、破損したとき
- 機器内部に水や金属類、燃えやすいものなどが入ったとき

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本体と接続している機器の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、安全を確認してから販売店にご連絡ください。
お客様による修理などは危険ですので絶対におやめください。

必ず実施

ご使用は正しい電源電圧で

表示された電源電圧以外で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

必ず実施

電源コードは大切に

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
電源コードが傷んだら、すぐに販売店に交換をご依頼ください。

必ず実施

電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着しているときは

電源プラグをコンセントから抜いて、乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

禁止

内部に水などの液体や異物を入れない

機器内部に水などの液体や金属類、燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災・感電の原因となります。
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

水ぬれ禁止

水をかけたり、濡らしたりしない

雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。
火災・感電の原因となります。

分解禁止

ねじを外したり、分解や改造したりしない

内部には電圧の高い部分がありますので、火災・感電の原因となります。
内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

接触禁止

雷が鳴り出したら

機器や電源プラグには触れないでください。
感電の原因となります。

禁止

乾電池は充電しない

電池の破裂・液漏れにより、火災・けがの原因となります。

水場での使用禁止

風呂・シャワー室では使用しない

火災・感電の原因となります。

水ぬれ禁止

この機器の上に花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品や水などが入った容器、および小さな金属物を置かない

こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

⚠注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、
人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

注意

禁止

付属の電源コードを使用する

他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。
また、付属の電源コードは本機以外には使用しないでください。
電流容量などの違いにより火災・感電の原因となることがあります。

必ず実施

禁止

電源コードは確実に接続し、束ねたまま使用しない

電源コードを接続するときは接続口に確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合、火災・感電の原因となることがあります。
根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントには接続しないでください。その場合、販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。
また、電源コードは束ねたまま使用しないでください。発熱し、火災の原因となることがあります。

禁止

電源コードを熱器具に近付けない

コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

禁止

電源プラグを抜くときは

電源コードを引っ張らずに必ずプラグを持って抜いてください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。

必ず実施

機器の接続は説明書をよく読んでから接続する

テレビ・オーディオ機器・ビデオ機器などの機器を接続する場合は、電源を切り、各々の機器の取扱説明書に従って接続してください。
また、接続には指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。

必ず実施

電源を入れる前には音量を最小にする

突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

禁止

長時間音が歪んだ状態で使用しない

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

必ず実施

禁止

電池を交換するときは

- 極性表示に注意し、表示通りに正しく入れる
- 指定以外の電池は使用しない
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない

間違えると電池の破裂・液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

禁止

ヘッドホンを使用するときは音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

禁止

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

禁止

次のような場所には置かない

火災・感電の原因となることがあります。

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるようなところ
- 湿気やほこりの多いところ
- 直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど高温になるところ

必ず実施

壁や他の機器から少し離して設置する

放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面や背面から少し隙間をあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

禁止

通風孔をふさがない

内部の温度上昇を防ぐため、通風孔が開けてあります。次のような使いかたはしないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- あお向けや横倒し、逆さまにする
- 押し入れ・専用のラック以外の本箱など風通しの悪い狭い場所に押し込む
- テーブルクロスをかけたり、じゅうたん・布団の上に置いて使用する

禁止

この機器に乗ったり、ぶら下がったりしない

特に幼いお子様のいるご家庭では、ご注意ください。倒れたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

禁止

重いものをのせない

機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜け

移動させるときは

まず電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してからおこなってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜け

長期間の外出・旅行のとき、またはお手入れのときは

安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災・感電の原因となることがあります。

注意

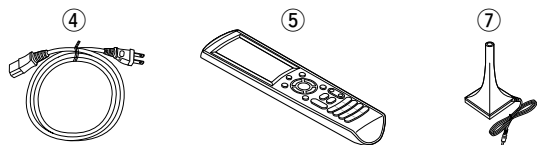
5 年に一度は内部の掃除を

販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。
特に、湿気の多くなる梅雨期の前におこなうと、より効果的です。なお、内部の掃除費用については販売店などにご相談ください。

付属品について

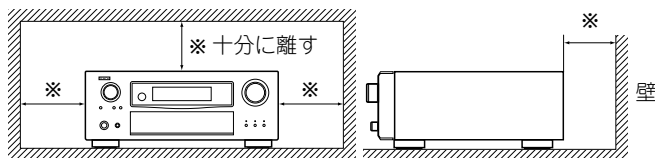
本体とは別に下記の付属品が入っています。ご使用の前にご確認ください。

① 取扱説明書（本書）...1
② 保証書（梱包箱に貼り付けられています。）................. 1
③ 製品のご相談と修理・サービス窓口一覧表................. 1
④ 電源コード（長さ：約 1.9m、本機専用）.......................1
⑤ リモコン（RC-1068）..1
⑥ 単３形アルカリ乾電池..2
⑦ セットアップマイク（コードの長さ：約 7.6m）..........1

④　⑤　⑦

本書に使用しているイラストは、取り扱い方法を説明するためのもので実物と異なる場合があります。

取り扱い上のご注意

設置の際のご注意

放熱のため、本機の天面、後面および両側面と壁や他の AV 機器などとは十分に離して設置してください。

携帯電話使用時のご注意

本機の近くで携帯電話を使用すると、雑音が入る場合があります。携帯電話は本機から離れた位置でお使いください。

お手入れについてのご注意

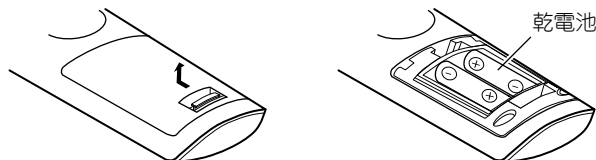
■ キャビネットや操作パネル部分の汚れを拭き取るときは、柔らかい布で軽く拭き取ってください。
　◎ 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。
■ ベンジン・シンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると、変質したり変色することがありますので使用しないでください。

リモコンについて

付属のリモコン（RC-1068）は、本機の操作以外に次の機器の操作もできます。
① DENON製コンポーネント製品
② DENON製以外のコンポーネント製品
- プリセット登録による設定（☞62〜65ページ）
- 学習機能による設定（☞66ページ）

乾電池の入れかた

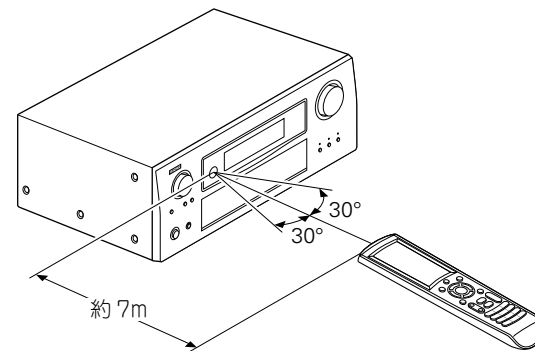
① つまみを引き上げながら、裏ぶたを取り外す。

② 乾電池（2本）を乾電池収納部の表示に合わせて正しく入れる。

③ 裏ぶたを元通りにしてください。

ご注意

- リモコンには単３形アルカリ乾電池をご使用ください。
- リモコンを本機の近くで操作して本機が動作しないときは、新しい乾電池と交換してください。（付属の乾電池は動作確認用です。早めに新しい乾電池と交換して ください。）
- 乾電池は、リモコンの乾電池収納部の表示通りに ⊕ 側・⊖ 側を合わせて正しく入れてください。
- 破損・液漏れの恐れがありますので、
  - 新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
  - 違う種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。
  - 乾電池は充電しないでください。
  - 乾電池をショートさせたり、分解や加熱または火に投入させたりしないでください。
- 万一、乾電池の液漏れがおこったときは、乾電池収納部内についた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を 入れてください。
- リモコンを長期間使用しないときは、乾電池を取り出してください。

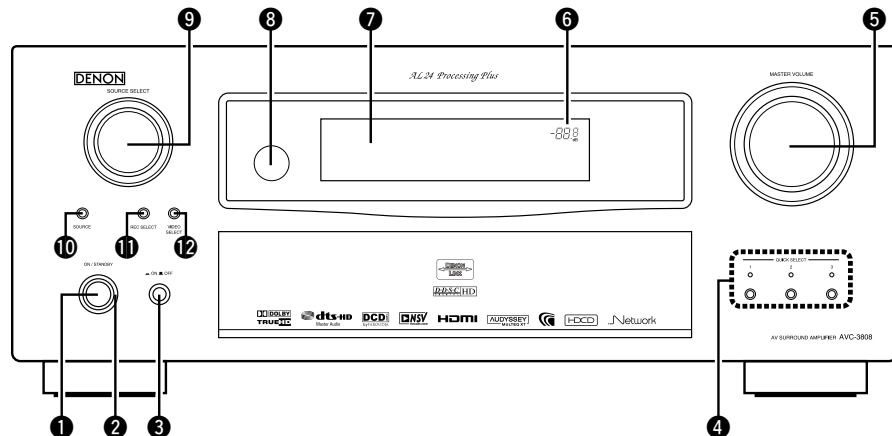
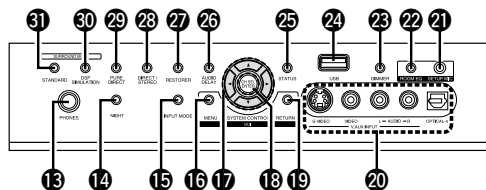
リモコンの使いかた

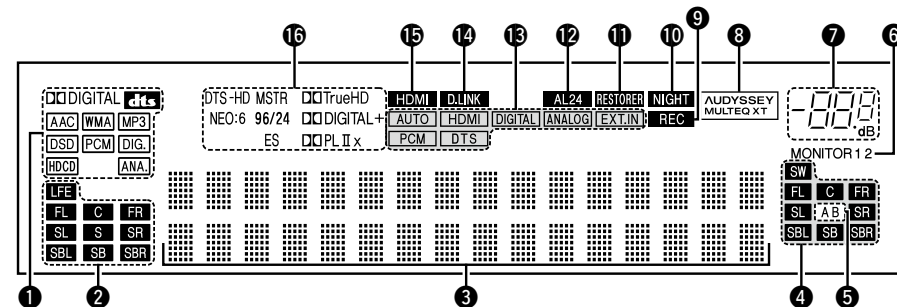
リモコンはリモコン受光部に向けてお使いください。

ご注意

リモコン受光部に、直射日光やインバーター式蛍光灯の強い光または赤外線が当たると、誤動作をしたり、リモコンが操作できなくなったりする場合があります。

各部の名前とはたらき

各部のはたらきなど詳しい説明については、（ ）内のページを参照してください。

フロントパネル

【ドアを開いた状態】

❶ 電源ボタン（ON/STANDBY）………………（50）
❷ 電源表示…………………………………………（50）
❸ 電源スイッチ（▂ON ■OFF）………………（50）
❹ クイックセレクトボタン / 表示
（QUICK SELECT）……………………………（49）
❺ 主音量調節つまみ
（MASTER VOLUME）………………………（50）
❻ 主音量表示
❼ ディスプレイ
❽ リモコン受光部…………………………………（6）
❾ 入力ソース切り替えつまみ
（SOURCE SELECT）…………………………（40）
❿ ソース切り替えボタン（SOURCE）…………（40）
⓫ 録音出力切り替えボタン
（REC SELECT）………………………………（59）
⓬ ビデオセレクトボタン
（VIDEO SELECT）……………………………（41）
⓭ ヘッドホン端子（PHONES）………………（50）
⓮ ナイトボタン（NIGHT）………………………（48）
⓯ 入力モード切り替えボタン
（INPUT MODE）………………………………（40）
⓰ メニューボタン（MENU）……………………（24）
⓱ カーソルボタン（△▽◁▷）…………………（24）
⓲ チャンネルセレクト / エンターボタン
（CH SEL/ENTER）……………………（24、60）
⓳ リターンボタン（RETURN）………………（24）
⓴ V.AUX 入力端子（V.AUX INPUT）…………（20）
㉑ セットアップマイク端子
（SETUP MIC）…………………………………（26）
㉒ ルーム EQ ボタン
（ROOM EQ）……………………………………（47）
㉓ ディマーボタン（DIMMER）………………（37）
㉔ USB 端子…………………………………………（21）
㉕ ステータスボタン（STATUS）……………（49）
㉖ オーディオディレイボタン
（AUDIO DELAY）………………………………（48）
㉗ RESTORER ボタン……………………………（47）
㉘ ダイレクト / ステレオボタン
（DIRECT/STEREO）……………………………（44）
㉙ ピュアダイレクトボタン
（PURE DIRECT）………………………………（45）
㉚ DSP シミュレーションボタン
（DSP SIMULATION）…………………………（44）
㉛ スタンダードボタン（STANDARD）………（43）

ディスプレイ

❶ 入力信号表示

❷ 入力信号チャンネル表示
デジタル信号入力時に点灯します。

❸ インフォメーションディスプレイ
入力ソース名、サラウンドモード、設定値などを表示します。

❹ 出力信号チャンネル表示

❺ サラウンドスピーカー表示
サラウンドスピーカー A/B の設定に合わせて点灯します。

❻ モニター出力表示
HDMI モニター出力の設定に合わせて点灯します。“オート（デュアル）”に設定されている場合は、接続状態に合わせて点灯します。

❼ 主音量表示

❽ AUDYSSEY MULTEQ XT 表示
ルーム EQ 選択時に点灯します。

❾ 録音出力ソース表示
RECOUT モード選択時に点灯します。
（“SOURCE”を選んでいる場合は消灯します。）

❿ NIGHT 表示
ナイトモード選択時に点灯します。

⓫ RESTORER 表示
RESTORER モード選択時に点灯します。

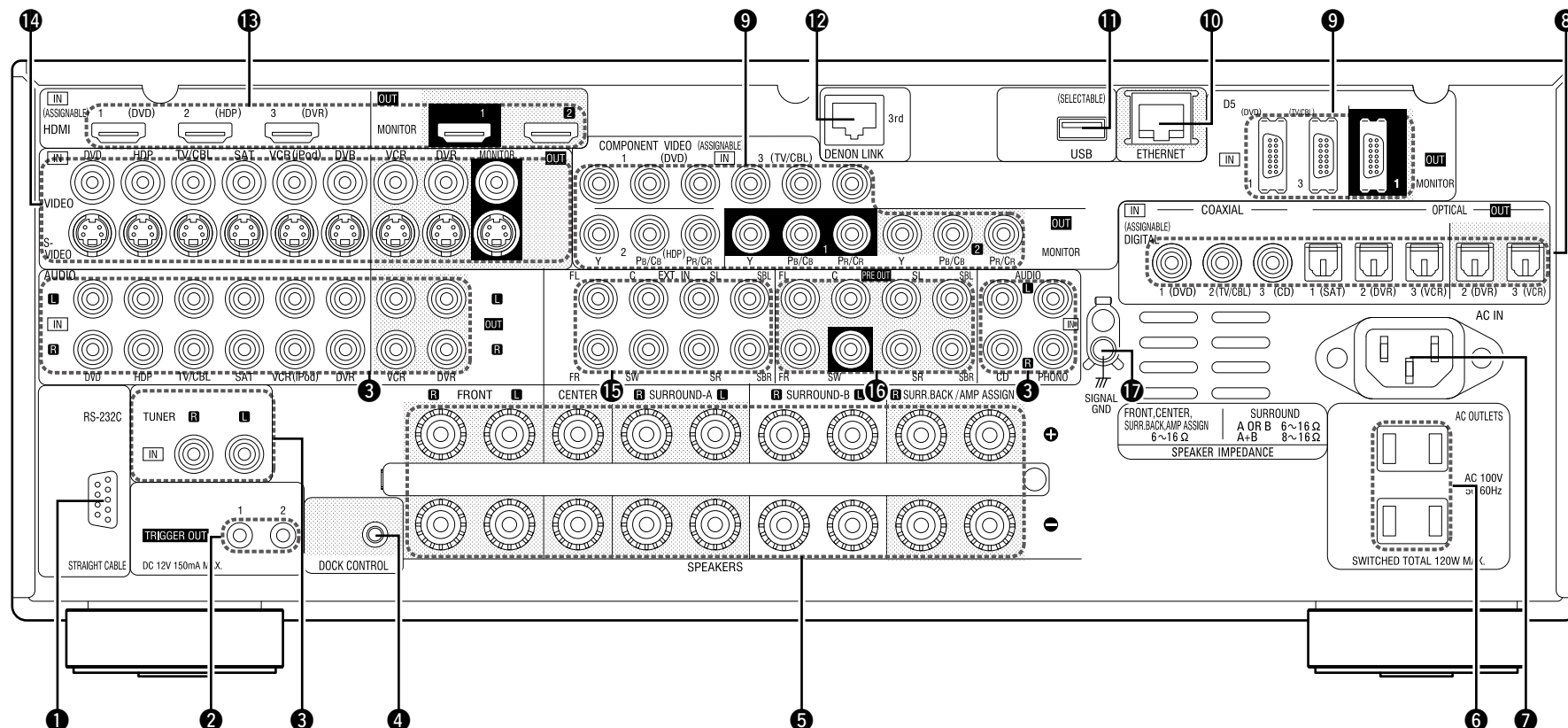
⓬ AL24 表示
AL24 Processing Plus 動作時に点灯します。デジタル（PCM）信号入力時に PURE DIRECT、DIRECT、STEREO、MULTI CH PURE DIRECT、MULTI CH DIRECT または MULTI CH IN モードを選んだ場合に点灯します。

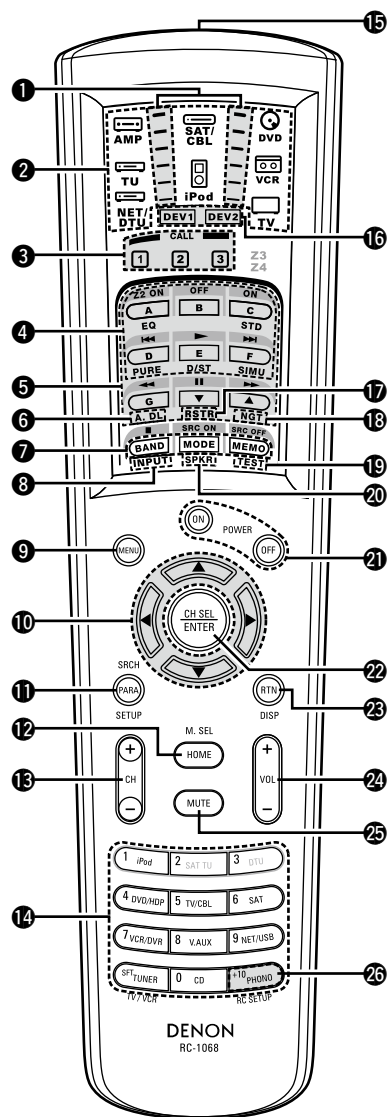
⓭ 入力モード表示

⓮ D.LINK 表示
DENON LINK 接続で再生しているときに点灯します。

⓯ HDMI 表示
HDMI 接続で再生しているときに点灯します。

⓰ デコーダー表示
各デコーダー動作時に点灯します。

リアパネル

❶ RS-232C 端子……(23)
❷ トリガー出力端子（TRIGGER OUT）……(23)
❸ アナログ音声端子（AUDIO）……(15)
❹ ドックコントロール端子（DOCK CONTROL）……(16)
❺ スピーカー端子（SPEAKERS）……(12)
❻ AC アウトレット（AC OUTLETS）……(23)
❼ 電源入力端子（AC IN）……(23)
❽ デジタル音声端子（OPTICAL/COAXIAL）……(15、17)
❾ コンポーネント / D5 ビデオ端子……(14)
❿ イーサネット端子（ETHERNET）……(22)
⓫ USB 端子……(21)
⓬ DENON LINK 端子……(19)
⓭ HDMI 端子……(13)
⓮ ビデオ / S ビデオ端子（VIDEO/S-VIDEO）……(14)
⓯ 外部入力端子（EXT. IN）……(20)
⓰ プリアウト端子（PRE OUT）……(20)
⓱ アース端子（SIGNAL GND）……(15)

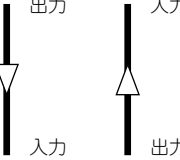
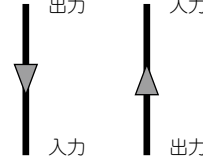
リモコン

❶ 送信表示……(62)
❷ モード切り替えボタン……(62)
❸ クイックセレクト／システムコールボタン……(49、67)
❹ サラウンドモードボタン……(43 ～ 45)
❺ システムボタン……(63 ～ 65)
❻ オーディオディレイボタン（A.DL）……(48)
❼ チューナーシステムボタン……(65)
❽ 入力モード切り替えボタン（INPUT）……(40)
❾ メニューボタン……(24)
❿ カーソルボタン (△▽◁ ▷)……(24)
⓫ パラメーター／サーチボタン（PARA／SRCH）……(45、52、54)
⓬ モニターセレクト（M.SEL）／ホームボタン（HOME）……(31、62)
⓭ チャンネルボタン（CH）……(52、64)
⓮ 入力ソース選択／番号ボタン……(40、55)
⓯ リモコン信号送信窓……(6)
⓰ デバイス選択表示（DEV1/DEV2）……(62)
⓱ RESTORER ボタン（RSTR）……(47)
⓲ ナイトボタン（NGT）……(48)
⓳ テストトーンボタン（TEST）……(30)
⓴ サラウンドスピーカー選択ボタン（SPKR）……(30)
㉑ 電源ボタン（POWER）……(50)
㉒ チャンネル選択（CH SEL）／エンターボタン（ENTER）……(24、60)
㉓ リターンボタン（RTN）……(24)
㉔ 主音量調節ボタン（VOL）……(50)
㉕ ミューティングボタン（MUTE）……(50)
㉖ リモコン設定ボタン（RC SETUP）……(62)

バックライトの点灯時間を変えることができます（☞67 ページ「バックライトの点灯時間を設定する」）。

ご注意

- 本機では、**SAT TU** および **DTU** ボタンは、使用しません。
- 本機では、ゾーン 2、ゾーン 3 およびゾーン 4 モードは、使用しません。

接続のしかた

この取扱説明書では、対応するすべての音声信号方式や映像信号方式の接続方法を説明しています。接続する機器に合わせていずれかの接続方法をお選びください。
接続方法によっては、本機の設定が必要なものもあります。詳しくは、各接続項目の説明をご覧ください。

ご注意

- すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください
- 接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- 左右のチャンネルを確かめてから、正しくＬとＬ、ＲとＲを接続してください。
- 接続ケーブルは、電源コードやスピーカーケーブルと一緒に束ねないでください。ハムや雑音の原因となることがあります。

準備

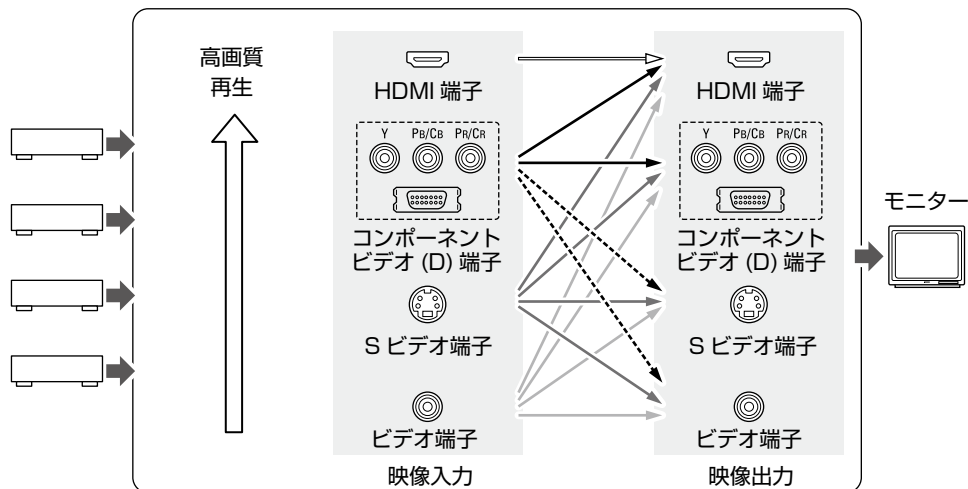
接続に使用するケーブル

ご使用になる機器に合わせて、ケーブルをご用意ください。

ビデオコンバージョン機能

- この機能は、本機に入力されたさまざまな方式の映像信号を、本機からモニターに出力する映像信号方式に自動的に変換して出力するものです。
- 本機の映像入出力は、次の 4 つの映像信号に対応しています。
  デジタル映像信号：HDMI
  アナログ映像信号：コンポーネントビデオ、S ビデオ、ビデオ

【本機内部での映像信号の流れ】

----：入力信号が 480i/576i の場合

- この機能を使用しない場合は、映像入力端子と同じ種類の端子からモニターへ出力してください。
- 本機と接続している HDMI 入力対応モニターの解像度は、GUI メニューの"情報"-"HDMI 情報"-"モニター 1"または"モニター 2"で確認できます（☞49 ページ）。

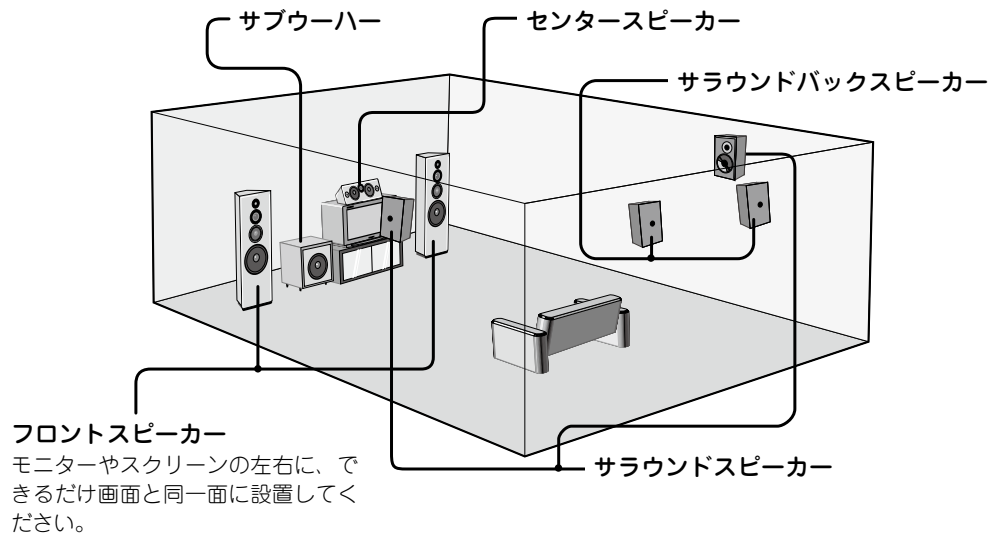
ご注意

- HDMI 信号は、アナログ信号に変換できません。
- コンポーネントビデオ入力の 1080p の信号は、コンポーネントビデオ以外の端子には出力できません。
- コンポーネントビデオ入力の 480p/576p/1080i/720p の信号は、S ビデオ / ビデオ信号に変換できません。
- ゲーム機などの非標準ビデオ信号を入力した場合、ビデオコンバージョン機能が動作しない場合があります。

スピーカーの接続

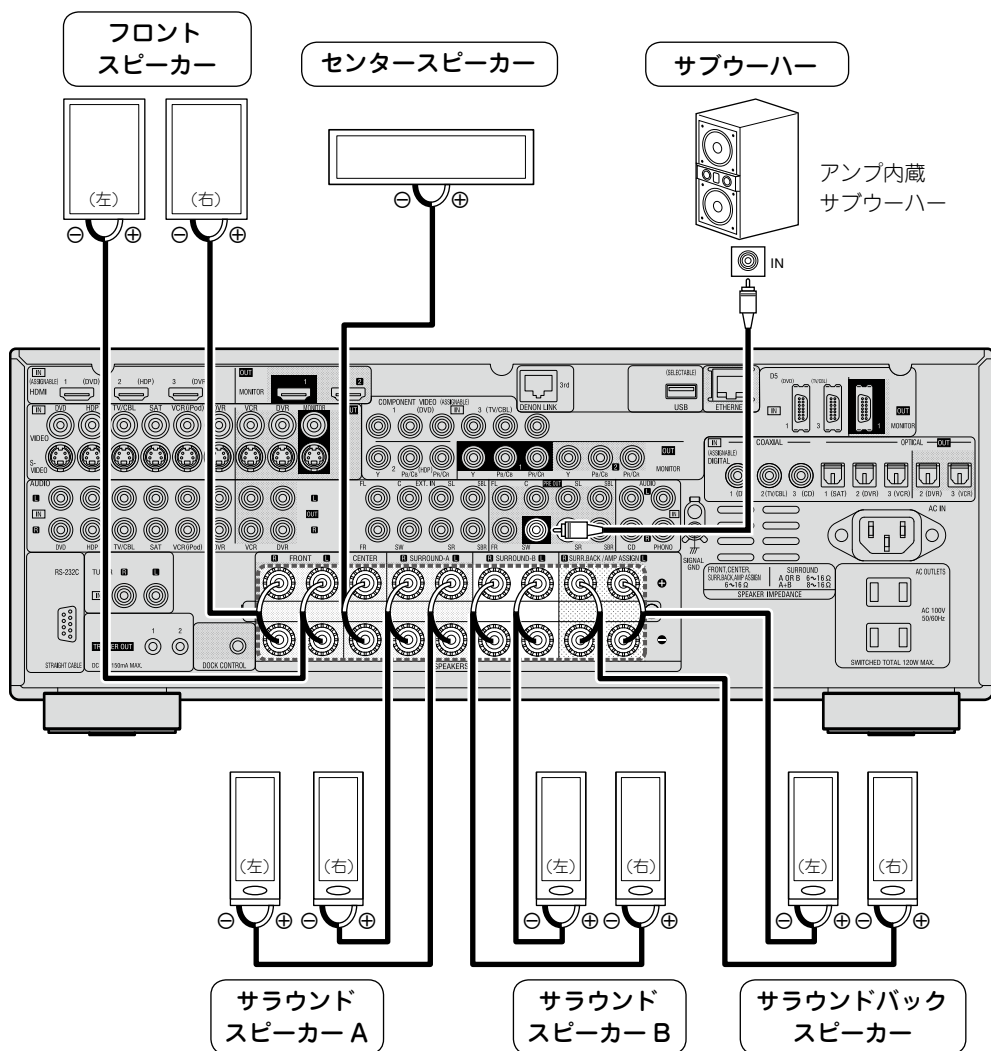
スピーカーの設置

下図は、スピーカー（8台）とモニターを組み合わせた基本的な設置例です。

フロントスピーカー
モニターやスクリーンの左右に、できるだけ画面と同一面に設置してください。

以下の表は、本機が対応している代表的なスピーカー構成です。

	フロント		センター	サラウンドA		サラウンドB		サラウンドバック			サブウーハー
	L	R		L	R	L	R	L	R	1本のみ	
7.1チャンネル（サラウンドA+B）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	–	○
7.1チャンネル	○	○	○	○	○	–	–	○	○	–	○
6.1チャンネル	○	○	○	○	○	–	–	–	–	○	○
5.1チャンネル	○	○	○	○	○	–	–	–	–	–	○
3.1チャンネル	○	○	○	–	–	–	–	–	–	–	○
2.1チャンネル	○	○	–	–	–	–	–	–	–	–	○
2チャンネル	○	○	–	–	–	–	–	–	–	–	–

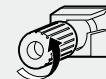
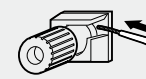
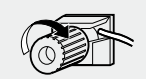
スピーカーの接続

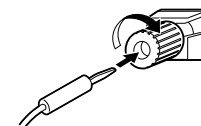
【例】7.1 チャンネル（サラウンド A+B）

サラウンドバックスピーカーを 1 本のみご使用になる場合は、左チャンネル（SBL）に接続してください。

スピーカーケーブルを接続する

本機とご使用になるスピーカーの左チャンネル（L）、右チャンネル（R）、＋（赤）、－（黒）をよく確認して、同じ極性を接続してください。

1 スピーカーケーブル先端の被覆を 10mm 程度はがし、芯線をしっかりよじるか、端末処理をおこなう。

2 スピーカー端子を左に回してゆるめる。

3 スピーカーケーブルの芯線をスピーカー端子の根元に差し込む。

4 スピーカー端子を右に回してしめる。

バナナプラグを使用する場合

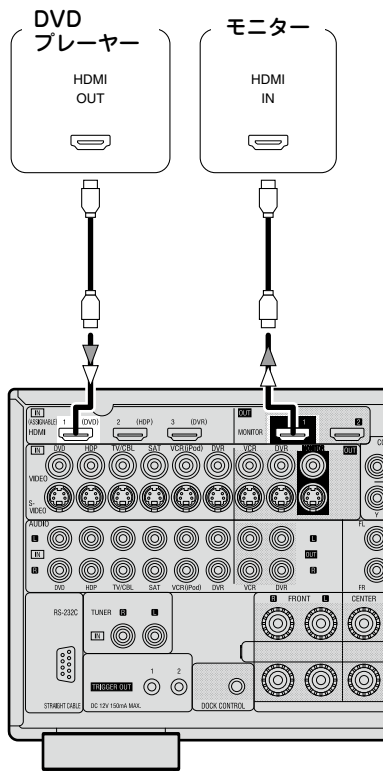
スピーカー端子を強くしめてから、バナナプラグを差し込む。

ご注意

- スピーカーは、インピーダンスが 6 ～ 16 Ωのものをお使いください。また、サラウンドスピーカー A/B を同時に使用する場合は、8 ～ 16 Ωのものをお使いください。
- スピーカーケーブルは、スピーカー端子からはみ出さないように接続してください。芯線がリアパネルやねじに接触したり、＋側と－側が接触すると、保護回路が動作します（☞「保護回路について」）。
- 通電中は絶対にスピーカー端子に触れないでください。感電する場合があります。

保護回路について

指定されたインピーダンス以下のスピーカー（例：4 Ω）を使用して長時間大音量で再生すると、温度が上昇して保護回路が動作する場合があります。
保護回路が動作すると、スピーカー出力は遮断され、電源表示が赤色で点滅します。このような場合は、電源コードを抜いてからスピーカーケーブルや入力ケーブルの接続を確認してください。また、本機の温度が極端に上がっている場合は、本機が冷えるのを待ち、周囲の通風状態を良くしてください。その後、もう一度電源コードを挿入し、本機の電源を入れ直してください。
本機の周囲の通風や接続に問題がないのにも関わらず保護回路が動作する場合は、本機が故障していることも考えられますので、電源を切った上で当社の修理相談窓口にご連絡ください。

HDMI 端子付き機器

HDMIで接続する場合は、映像および音声をHDMIケーブル1本で伝送することができます。

※ 本機は、HDMI のバージョン 1.3a に対応しています。他のバージョンとは互換性がありますので、HDMI 端子を装備した機器と接続してご使用いただけます。

※ 本機は、30 ビットと 36 ビットの Deep Color および xvYCC に対応しています。

対応する音声フォーマット	詳　細	ディスク（例）
2 チャンネル リニア PCM	2ch 32-192kHz 16/20/24bit	CD、DVD-Video、 DVD-Audio
マルチチャンネル リニア PCM	8ch 32-192kHz 16/20/24bit	DVD-Audio
ドルビーデジタル、 DTS	ビットストリーム	DVD-Video
DSD	2/5.1ch 2.8224MHz 1bit	SACD
ドルビーデジタル プラス ドルビー TrueHD DTS-HD	ビットストリーム	HD DVD、 Blu-ray Disc

著作権保護システム（HDCP）
HDMI/DVI 接続を通して DVD ビデオや DVD オーディオのデジタル映像と音声を再生する場合は、接続された DVD プレーヤーとモニターの双方が HDCP（High-bandwidth Digital Content Protection）と呼ばれる著作権保護システムに対応している必要があります。 HDCP はデータの暗号化と相手機器の認証からなるコピープロテクション技術です。 本機は HDCP に対応しています。ご使用になる DVD プレーヤーまたはモニターについては、各機器の取扱説明書をご覧ください。

- 初期状態では、HDMI 音声は本機に接続されているスピーカーから出力されます。
- テレビから音声を出力する場合は、GUI メニューの “マニュアル設定” - “HDMI 設定” - “音声出力” - “TV” の設定をおこなってください（☞31 ページ）。

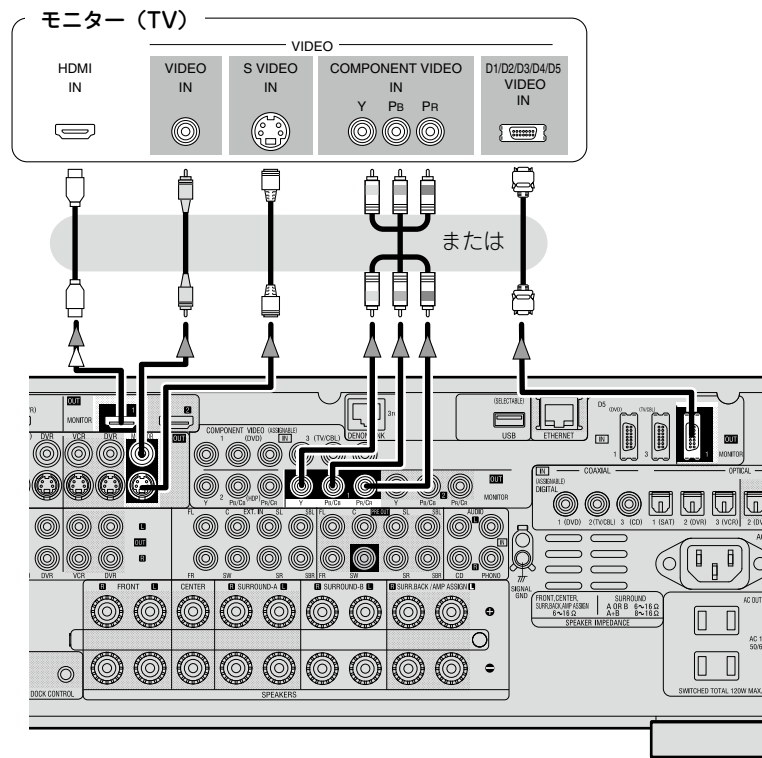
ご注意

- CPPM で著作権保護された DVD オーディオを再生する場合は、CPPM に対応している DVD プレーヤーをご使用ください。
- 本機を HDMI ケーブル経由で他の機器からコントロールすることはできません。
- HDMI 端子から出力される音声信号（サンプリング周波数、ビット長など）は、接続する機器により制限される場合があります。
- HDCP に対応していない機器をご使用の場合は、映像が正しく出力されません。
- 入力された映像信号とモニターの解像度が合っていない場合は、映像が出力されません。このような場合は、DVD プレーヤーの解像度をモニターが対応している解像度に合わせてください。
- GUI メニューの “マニュアル設定” - “HDMI 設定” - “音声出力” の設定（☞31 ページ）が “アンプ” のときにモニターの電源を切ると、音声が途切れる場合があります。
- HDMI 端子の接続には、HDMI ロゴが表記されているケーブル（HDMI 認証品）をご使用ください。HDMI ロゴが表記されていないケーブル（HDMI 非認証品）を使用すると、正しく再生できない場合があります。
- モニターまたは DVD プレーヤーが Deep Color に対応していない場合、Deep Color での伝送ができません。
- モニターまたは DVD プレーヤーが xvYCC に対応していない場合、xvYCC での伝送ができません。
- モニターが Lip sync に対応していない場合は、オートリップシンク補正機能は動作しません。

- 本機と DVD プレーヤーを HDMI ケーブルで接続した場合は、本機とモニターも HDMI ケーブルで接続してください。
- 接続するモニターまたは DVD プレーヤーが DVI-D 端子のみ対応の場合は、HDMI/DVI 変換ケーブルをお使いください。DVI ケーブルをお使いの場合は、音声信号は伝送されません。
- Deep Color 対応の機器と接続する場合は、Deep Color 対応のケーブルをお使いください。

HDMI/DVI 変換ケーブル（アダプター）で接続する場合
• HDMI の映像信号は、DVI と原理的に互換性があります。 DVI-D 端子付きモニターなどに接続する場合は、HDMI/DVI 変換ケーブルで接続できますが、機器の組み合わせによっては映像が出力されない場合があります。 • HDMI/DVI 変換アダプターを使用して接続する場合、接続したケーブルとの接触不良などにより映像が正しく出力されない場合があります。

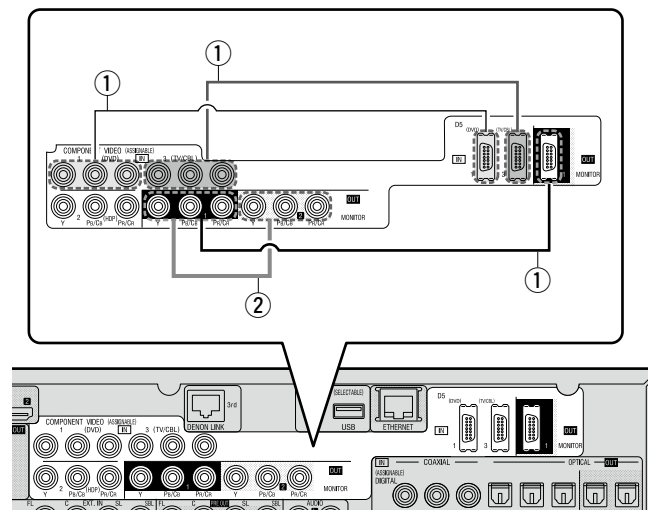
モニターの接続

- お使いになるケーブルを接続してください（☞11 ページ「ビデオコンバージョン機能」）。
- HDMI で接続する場合は、映像および音声を HDMI ケーブル 1 本で伝送することができます。
- HDMI 接続したテレビから音声を再生したい場合は、GUI メニューの“マニュアル設定”-“HDMI 設定”-“音声出力”を“TV”にしてください。

- モニターによってコンポーネントビデオ端子の表示が異なります。詳しくは、モニターの取扱説明書をご覧ください。
- 本機の D 端子は、D1 ～ D5（480i、480p、1080i、720p、1080p）の映像端子に対応しています。
- 本機のコンポーネントビデオモニターアウト端子とモニターをコンポーネントビデオケーブルで接続した場合や D 端子 - コンポーネント変換ケーブルを使用した場合、D 端子から入力された解像度などの識別信号は出力されません。

ご注意

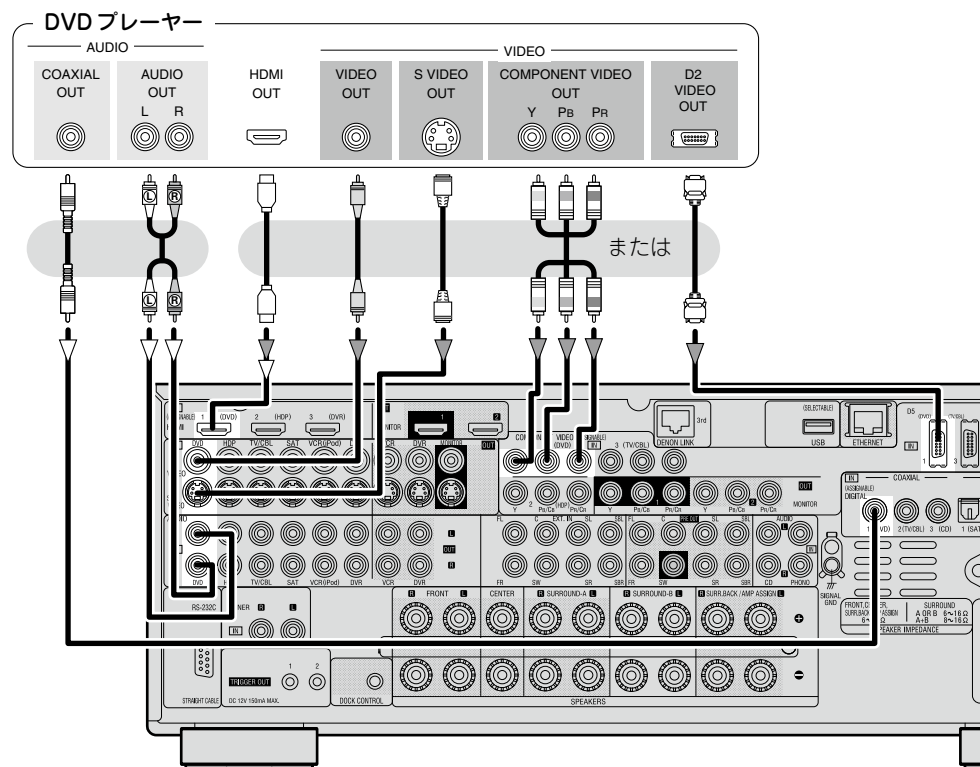
HDMI 入力端子から音声信号が入力された場合のみ、HDMI モニターアウト端子から音声が出力されます。

コンポーネントビデオ（D）端子のご使用について

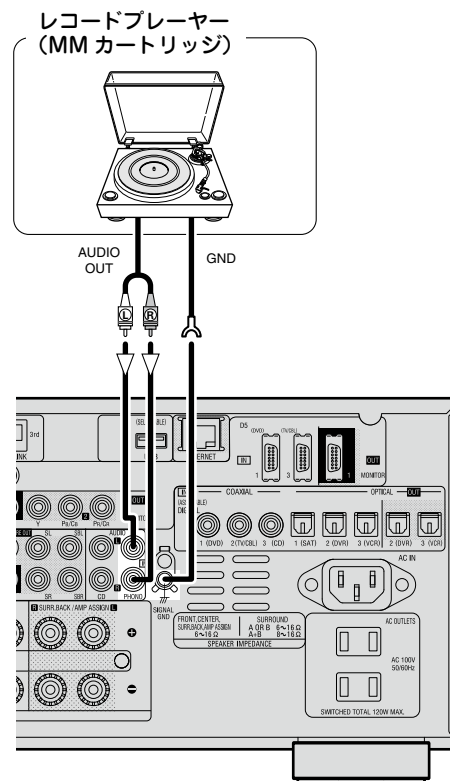
① コンポーネントビデオ端子と D 端子は、同時に接続できません。接続する機器に合わせてどちらか片方を接続してください。
② コンポーネントビデオモニターアウト端子（1、2）は同時に接続できます。

再生機器の接続

左チャンネル（L）、右チャンネル（R）、入力（IN）、出力（OUT）を確認してから、正しく接続してください。

DVD プレーヤー

●お使いになるケーブルを接続してください。
●HDMI で接続する場合は、映像および音声を HDMI ケーブル 1 本で伝送することができます。

• HDP（High-Definition Player）は同じ方法で接続することができます。
• デジタル音声の接続に光伝送ケーブルをご使用になる場合は、GUI メニューの“ソース選択”-“DVD”-“端子の割り当て”-“デジタル端子”の設定をおこなってください（☞42 ページ）。

ご注意

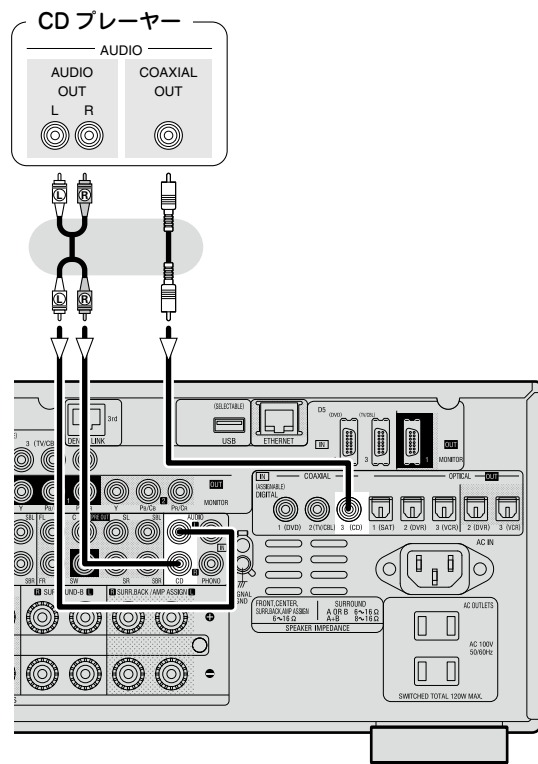
コンポーネントビデオ端子と D 端子は、同時に接続できません。接続する機器に合わせてどちらか片方を接続してください（☞14 ページ）。

レコードプレーヤー

● MC カートリッジ付きのレコードプレーヤーを接続する場合は、市販の MC ヘッドアンプまたは昇圧トランスをご使用ください。
● レコードプレーヤーを接続せずに音量を上げたときに、“ブーン”という誘導ハム音がスピーカーから出力される場合があります。
● レコードプレーヤーによっては、アースワイヤーを接続しているときに雑音が発生する場合があります。このような場合は、アースワイヤーを外してください。

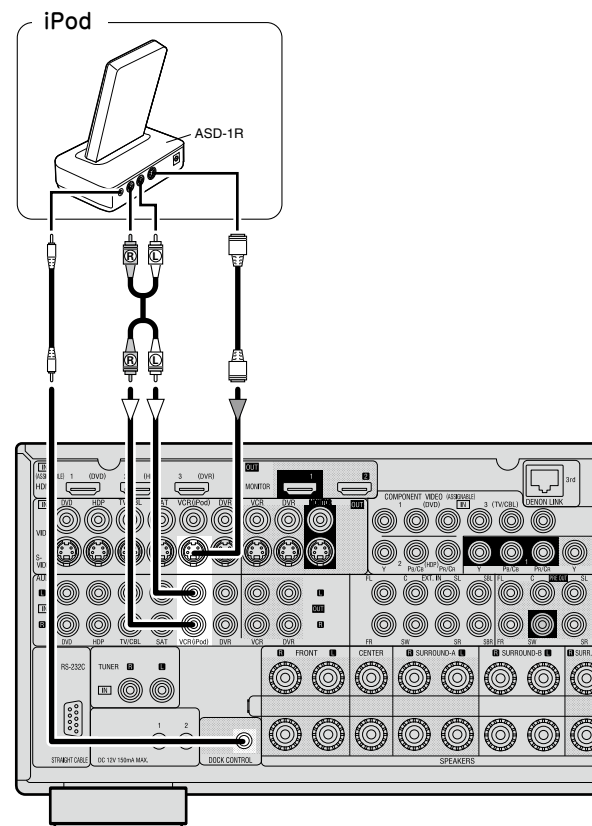
ご注意

本機のSIGNAL GND端子は、レコードプレーヤーを接続した場合に雑音の低減をはかるもので、安全アースではありません。

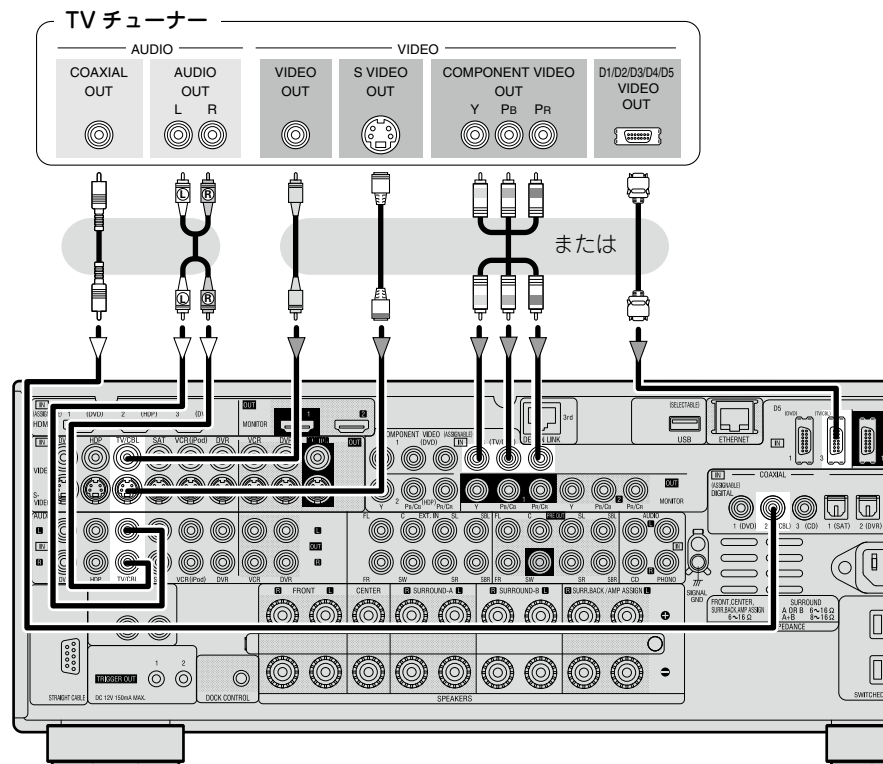
CD プレーヤー

お使いになるケーブルを接続してください。

デジタル音声の接続に光伝送ケーブルをご使用になる場合は、GUI メニューの“ソース選択”-“CD”-“端子の割り当て”-“デジタル端子”の設定をおこなってください（☞42 ページ）。

iPod®

本機と iPod の接続には、DENON 製 iPod 用コントロールドック（ASD-1R、別売り）をご使用ください。この場合、iPod 用コントロールドック側の設定も必要です。詳しくは、iPod 用コントロールドックの取扱説明書をご覧ください。

- 初期状態では、iPod を VCR（iPod）端子に接続してご使用いただけます。
- iPod を VCR（iPod）端子以外に割り当てる場合は、GUI メニューの“ソース選択”-“(iPod dock を割り当てたい入力ソース)”-“端子の割り当て”-“iPod dock”の設定をおこなってください（☞42 ページ）。

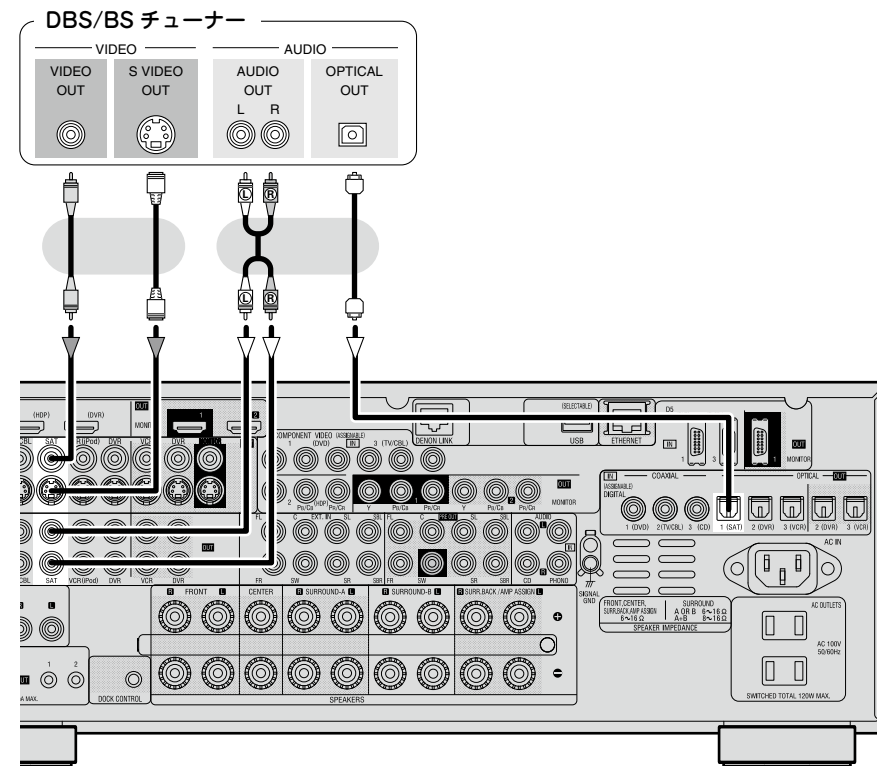
TV チューナー

お使いになるケーブルを接続してください。

デジタル音声の接続に光伝送ケーブルをご使用になる場合は、GUI メニューの“ソース選択”-“TV/CBL”-“端子の割り当て”-“デジタル端子”の設定をおこなってください（☞42 ページ）。

ご注意

コンポーネントビデオ端子と D 端子は、同時に接続できません。接続する機器に合わせてどちらか片方を接続してください（☞14 ページ）。

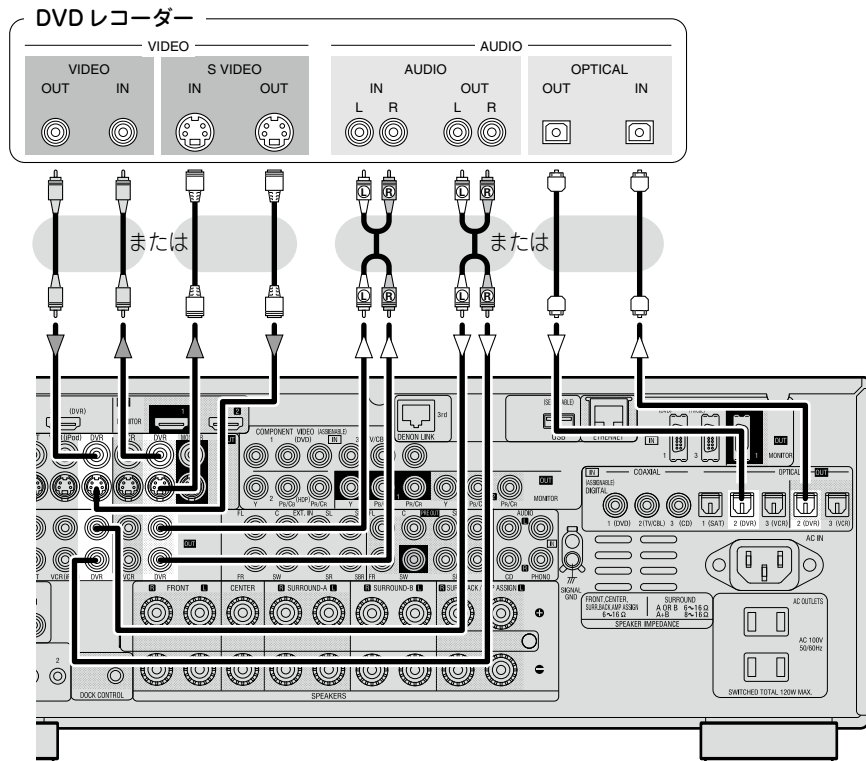
衛星チューナー

お使いになるケーブルを接続してください。

- デジタル音声の接続に同軸デジタルケーブルをご使用になる場合は、GUI メニューの“ソース選択”-“SAT”-“端子の割り当て”-“デジタル端子”の設定をおこなってください（☞42 ページ）。
- 映像の接続に、コンポーネントビデオ用ケーブルや D 端子用ケーブルをご使用になる場合は、GUI メニューの“ソース選択”-“SAT”-“端子の割り当て”-“コンポーネントビデオ端子”の設定をおこなってください（☞42 ページ）。

録音 / 録画機器の接続

左チャンネル（L）、右チャンネル（R）、入力（IN）、出力（OUT）を確認してから、正しく接続してください。

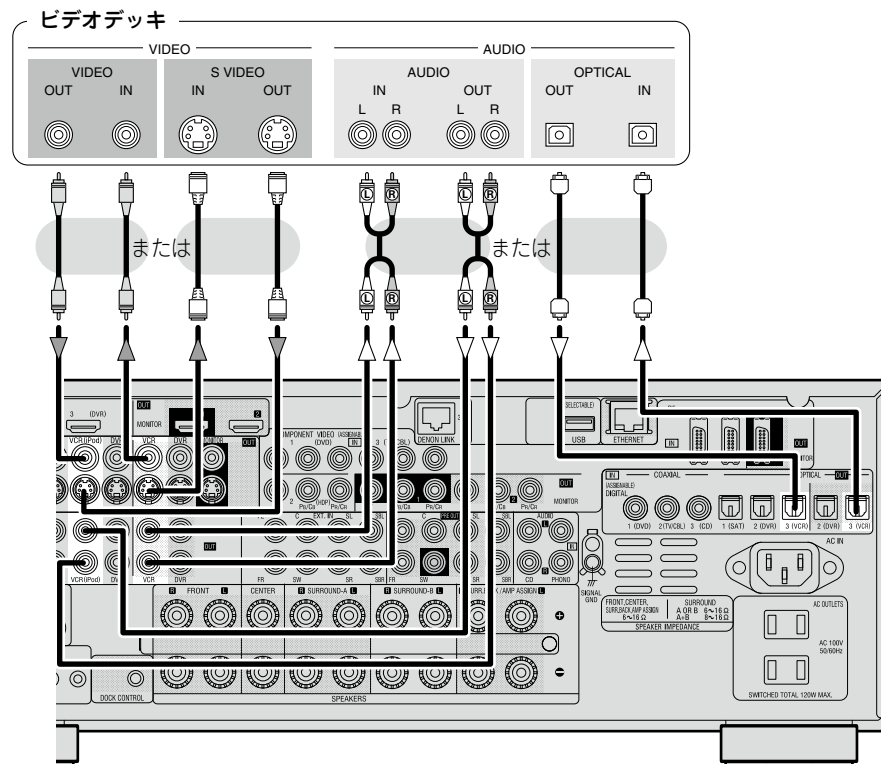
DVD レコーダー

お使いになるケーブルを接続してください。

- アナログ音声を録音する場合は、アナログ接続をしてください。
- 本機を通して録音する場合は、再生機器のケーブルの種類を本機の DVR 出力端子に接続するケーブルの種類と同じにする必要があります。
  例： TV 入力 → S ビデオケーブル：DVR 出力 → S ビデオケーブル
  TV 入力 → 映像用 75 Ωピンプラグケーブル：DVR 出力 → 映像用 75 Ωピンプラグケーブル
- 映像の接続にコンポーネントビデオ用ケーブルや D 端子用ケーブルをご使用になる場合は、GUI メニューの "ソース選択" - "DVR" - "端子の割り当て" - "コンポーネントビデオ端子" の設定をおこなってください（☞42 ページ）。

ご注意

本機の OPTICAL2 出力端子に接続した機器の出力を、OPTICAL2 入力端子以外に接続しないでください。

ビデオデッキ

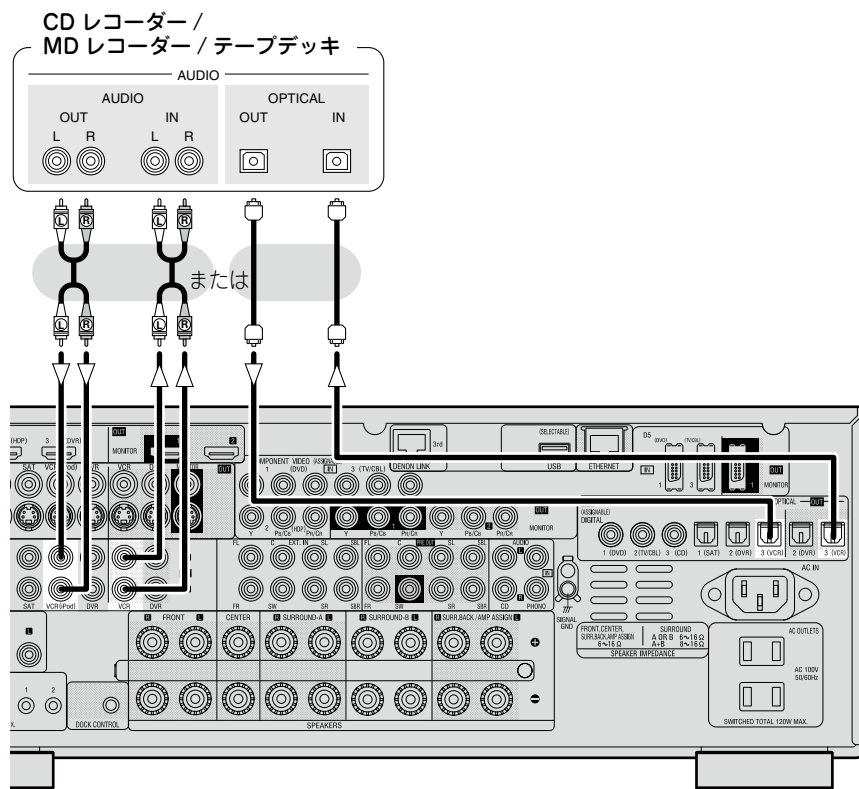
お使いになるケーブルを接続してください。

- アナログ音声を録音する場合は、アナログ接続をしてください。
- 本機を通して録音する場合は、再生機器のケーブルの種類を本機の VCR 出力端子に接続するケーブルの種類と同じにする必要があります。
  例： TV 入力 → S ビデオケーブル：VCR 出力 → S ビデオケーブル
  TV 入力 → 映像用 75 Ωピンプラグケーブル：VCR 出力 → 映像用 75 Ωピンプラグケーブル
- 映像の接続にコンポーネントビデオ用ケーブルや D 端子用ケーブルをご使用になる場合は、GUI メニューの "ソース選択" - "VCR" - "端子の割り当て" - "コンポーネントビデオ端子" の設定をおこなってください（☞42 ページ）。

ご注意

本機の OPTICAL3 出力端子に接続した機器の出力を、OPTICAL3 入力端子以外に接続しないでください。

CD レコーダー /MD レコーダー / テープデッキ

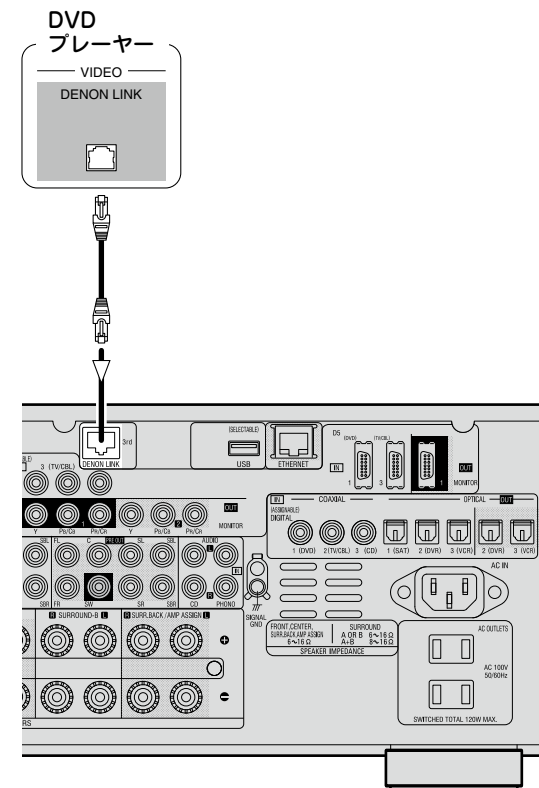
お使いになる機器の端子に合わせて、アナログ音声を録音する場合はアナログ接続を、デジタル音声を録音する場合はデジタル接続をしてください。

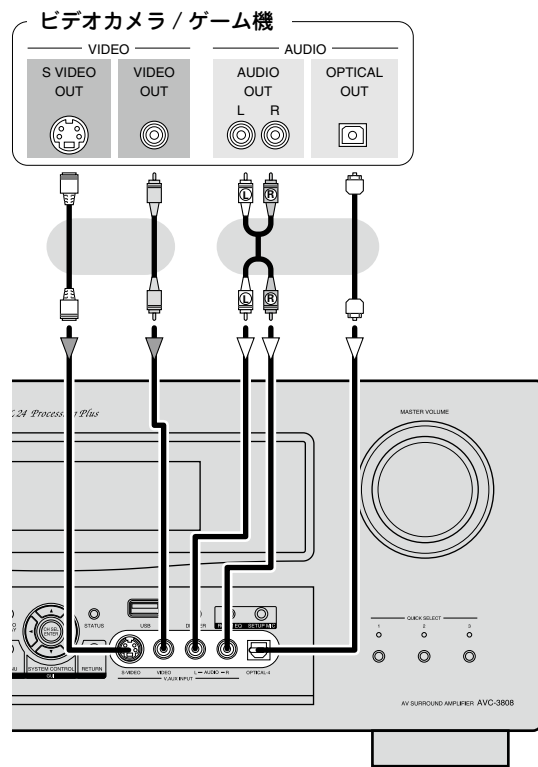
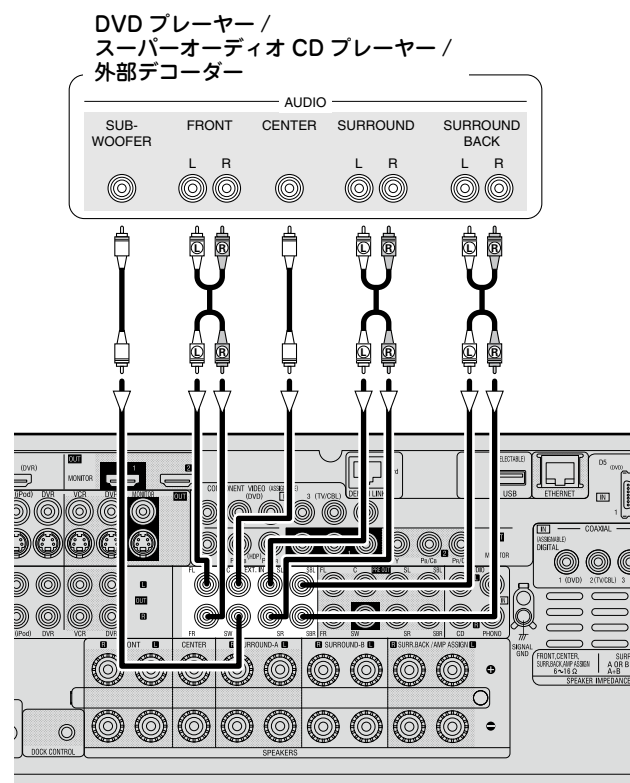
ご注意

本機の OPTICAL3 出力端子に接続した機器の出力を、OPTICAL3 入力端子以外に接続しないでください。

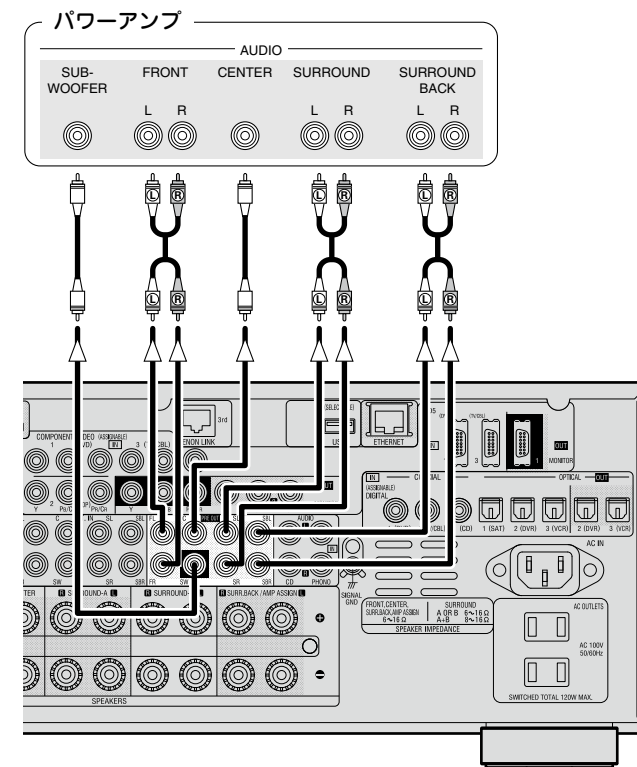
その他の機器の接続

左チャンネル（L）、右チャンネル（R）、入力（IN）、出力（OUT）を確認してから、正しく接続してください。

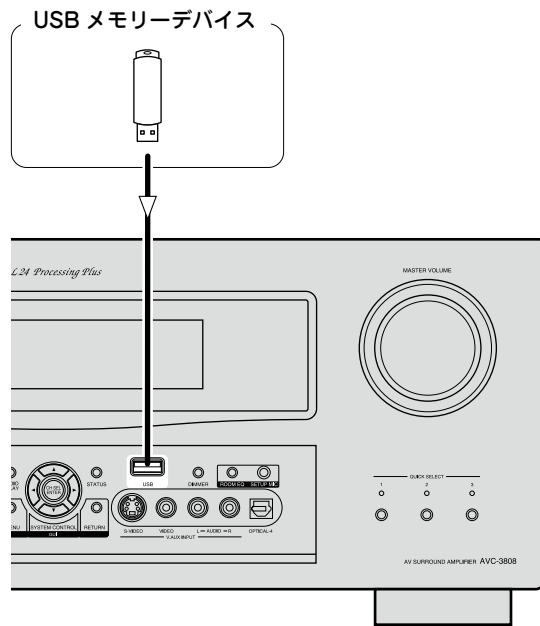
DENON LINK 端子がある機器

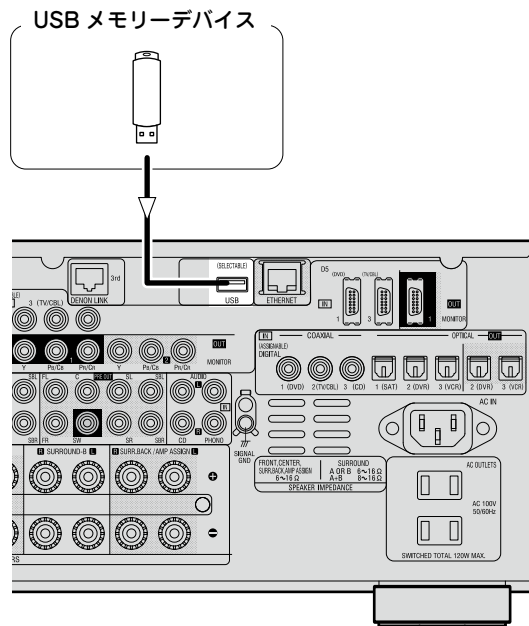
DVD オーディオやスーパーオーディオ CD などのマルチチャンネル再生ができます。（☞59 ページ）

DENON LINK 接続をしてご使用になる場合は、GUI メニューの“ソース選択”-“端子の割り当て”-“デジタル端子”-“DENON LINK”の設定をおこなってください（☞42 ページ）。

ビデオカメラ / ゲーム機

マルチチャンネル出力端子がある機器

- ハイビジョン（MUSE 3-1 方式）を接続するとき、サラウンドチャンネル出力がモノラルの場合には、別売りのモノ・ステレオケーブルを使用してください。
- 外部入力（EXT. IN）端子に入力されたアナログ入力信号を再生する場合は、本体の **INPUT MODE** ボタンまたはリモコンの **INPUT** ボタンを押して“EXT. IN”を選ぶか、GUI メニューの“ソース選択”-“(入力ソース)”-“入力モード”-“入力モード”-“EXT. IN”の設定をおこなってください（☞40 ページ）。
- 映像信号は DVD プレーヤーと同じ方法で接続することができます（☞15 ページ）。
- 著作権保護がかかったディスクを再生する場合は、本機の外部入力（EXT. IN）端子と DVD プレーヤーのアナログマルチチャンネル出力端子を接続してください。

外部のパワーアンプ

サラウンドバックスピーカーを 1 本のみご使用になる場合は、左チャンネル（SBL）に接続してください。

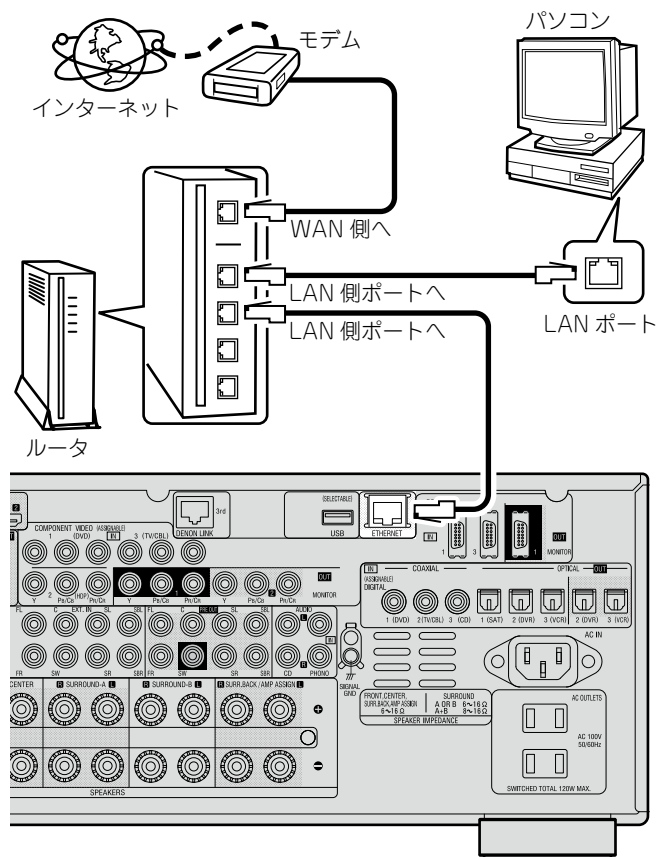
USB 端子

❑ フロントパネル（前面）

USB メモリーデバイス

❑ リアパネル（背面）

●初期状態では、前面の USB 端子に接続してご使用いただけます。
●使用する端子を変更する場合は、42 ページの“USB 端子の選択”をご覧ください。
●USB メモリーデバイスの再生のしかたは、56、57 ページをご覧ください。

ご注意

●お使いになる方の USB 端子に設定してください。
●本機は、前面および背面に USB 端子を 1 つずつ備えています。両方同時に接続して使用することはできません。GUI メニューの“ソース選択”–“NET/USB”–“再生モード”–“USB 端子の選択”で、お使いになる USB 端子を選んでください。
●USB メモリーデバイスを本機の USB 端子に接続する時は、延長ケーブルを使用しないでください。他の機器に電波妨害を引き起こすことがあります。

ネットワークオーディオ

必要なシステム

❑ブロードバンド回線によるインターネット接続

本機のインターネットラジオ機能を利用するには、ブロードバンド回線によるインターネットへの接続が必要です。

❑モデム

ブロードバンド回線と接続して、インターネットに通信をおこなうための機器です。ルータと一体型のものもあります。

❑ルータ

本機を利用するにあたって、次の機能が装備されているルータを推奨します。

- DHCP(Dynamic Host Configuration Protocol)サーバー内蔵
  LAN 上の IP アドレスを自動的に割り振る機能です。
- 100BASE-TX スイッチ内蔵
  複数の機器を接続するために、100Mbps 以上の速度で、スイッチングハブを内蔵していることを推奨します。

❑イーサネットケーブル（CAT-5 以上を推奨）

- 本機にイーサネットケーブルは付属していません。
- イーサネットケーブルは、シールド付きのノーマルタイプをおすすめします。
  フラットタイプのケーブルやシールドされていないケーブルを使用すると、ノイズが他の機器に影響をおよぼす可能性があります。

❑パソコン

ミュージックサーバーをご使用になる場合は、次の仕様のパソコンが必要です。

- OS
  Windows® XP Service Pack2, Windows Vista
- ソフトフェア
  （次のうちいずれかを一つをご用意ください）
  - .NET Framework 1.1 および Windows Media Connect (Windows XP),
  - Windows Media Player ver.11
  - DLNA 対応のサーバーソフトウェア
- インターネットブラウザ
  Microsoft Internet Explorer 5.01 以上
- LAN ポートがあること
- 300MB 以上のハードディスク空き容量

※音楽ファイルを保存するには、保存のための空き容量が必要です。下記が容量のおおよその目安です。

フォーマット	ビットレート	1 分当たり	1 時間当たり
MP3 / WMA MPEG-4 AAC	128 kbps	約 1 MB	約 60 MB
	192 kbps	約 1.5 MB	約 90 MB
	256 kbps	約 2 MB	約 120 MB
	392 kbps	約 3 MB	約 180 MB
WAV (LPCM)	1400 kbps	約 10 MB	約 600 MB
FLAC	1080 kbps	約 7.7 MB	約 464 MB

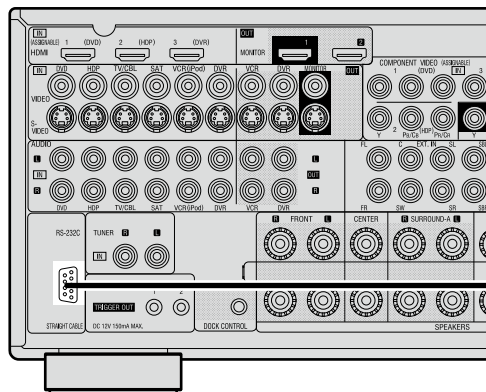
インターネットの接続については、ISP（インターネット・サービスプロバイダ）またはパソコン関連販売店にお問い合わせください。

ご注意

- インターネットに接続するには、ISP と契約する必要があります。すでにブロードバンド回線を利用してインターネットに接続されている場合は、新たに契約する必要はありません。
- ISP 業者によって使用できるルータの種類が異なります。詳しくは、ISP 業者またはパソコン関連販売店にお問い合わせください。
- サーバーによってはビデオファイルが表示される場合がありますが、本機では再生できません。

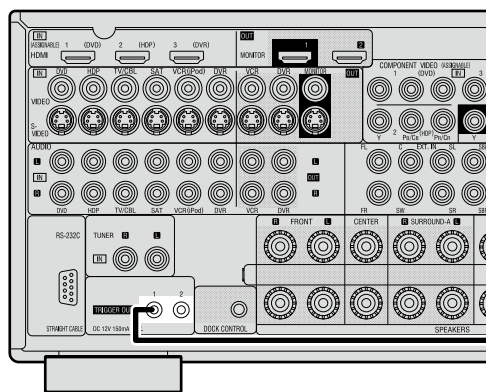
❑その他

- ネットワークの設定を手動でおこなうタイプの回線で、プロバイダ契約を結んでいる場合は、GUI メニューの“マニュアル設定”-“ネットワーク設定”で設定をおこなってください（☞34、35 ページ）。
- 本機は DHCP 機能や Auto IP 機能を使用して、自動的にネットワークの設定をおこなうことができます。
- ブロードバンドルータ（DHCP 機能）をご使用の場合は、本機が自動的に IP アドレスなどの設定をおこないます。
  DHCP 機能のないネットワークに本機を接続してご使用になる場合は、GUI メニューの“マニュアル設定”-“ネットワーク設定”で、IP アドレスなどの設定をおこなってください（☞34、35 ページ）。
- 本機は PPPoE に対応していません。PPPoE で設定するタイプの回線契約を結んでいる場合は、PPPoE 対応のルータが必要です。
- 契約している ISP によっては、インターネットラジオを利用するときにプロキシサーバーの設定が必要な場合があります。インターネットに接続するときにパソコンでプロキシサーバーの設定をおこなった場合は、本機も同様にプロキシサーバーの設定をおこなってください。

外部のコントロール機器

RS-232C 端子

外部のコントロール機器から本機を操作することができます。

※ RS-232C 端子を使用して外部コントローラーから本機を操作する場合は、あらかじめ次の操作をおこなってください。
① 本機の電源スイッチを“▬ON”にする。
② 外部コントロール機器から本機の電源を切る。
③ 本機がスタンバイ状態になっていることを確認する。

- RF リモートコントローラー（RC-7000CI、別売り）や RF とリモートレシーバー（RC-7001RCI、別売り）を組み合わせて使用すると、本機とリモートコントローラーとの間で双方向通信がおこなえます。本機のステータス情報や iPod、インターネットオーディオの音楽ファイルのブラウズが、RF リモートコントローラーのディスプレイを見ながら操作できます。詳しくは、各機器の取扱説明書をご覧ください。
- RF リモートコントローラーや RF リモートレシーバーと組み合わせてご使用になる場合は、GUI メニューの“マニュアル設定”-“その他の設定”-“双方向リモコン”-“使用する”の設定をおこなってください（☞37 ページ）。

トリガー出力端子

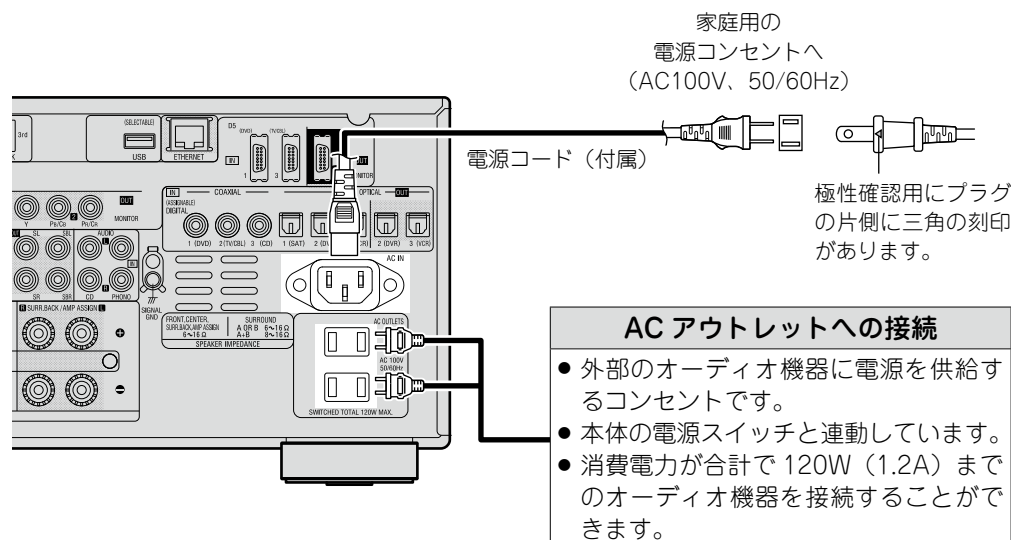
トリガー入力端子を持つ外部機器の電源を、本機の操作に連動させて入 / 切できます。詳しくは、GUI メニューの“マニュアル設定”-“その他の設定”-“トリガーアウト 1”または“トリガーアウト 2”をご覧ください（☞37 ページ）。

- 出力レベル： 150mA/12V
  接続する機器のトリガー入力条件を確認してください。
- 接続する機器のトリガー許容入力レベルが 150mA/12V よりも大きいときや短絡状態のときは、本機の保護回路が動作してディスプレイに“TRIGGER PROTECT”が表示されます。このような場合は、本機の電源を切り、その接続を外してください。

電源コードの接続

- すべての接続が終わってから電源コードを接続してください。
- 本機に付属の電源コードには極性が表示されています。お好みの音質になるように電源コンセントへ挿入してください。

AC アウトレットへの接続

- 外部のオーディオ機器に電源を供給するコンセントです。
- 本体の電源スイッチと連動しています。
- 消費電力が合計で 120W（1.2A）までのオーディオ機器を接続することができます。

ご注意

- 電源プラグはしっかり差し込んでください。不完全な接続は、雑音発生の原因になります。
- AC アウトレットへは、オーディオ機器の電源プラグを差し込み、ドライヤーなどオーディオ機器以外の電源としては使用しないでください。
- AC 入力端子（AC IN）のアース端子は、接続されていません。

接続が終わったら

電源を入れる（☞50 ページ）

GUI メニュー操作

本機では、ほとんどの機能の設定や操作を、モニター画面に表示されたメニューアイコンで操作することができます。

xvYCC 信号やコンポーネントビデオの 1080 p の信号およびコンピューター解像度（例：VGA）が入力されたときは、GUI を表示することができません。

取扱説明書中のタイトル表示例

タイトルにこのマークがある項目は、GUI メニューの操作に対応しています。GUI メニューでの操作をおすすめします。

オートセットアップ

ご使用になるスピーカーに最適な設定を自動的におこないます

この設定項目、またはこの項目が属するメニュー系列の GUI アイコンです。

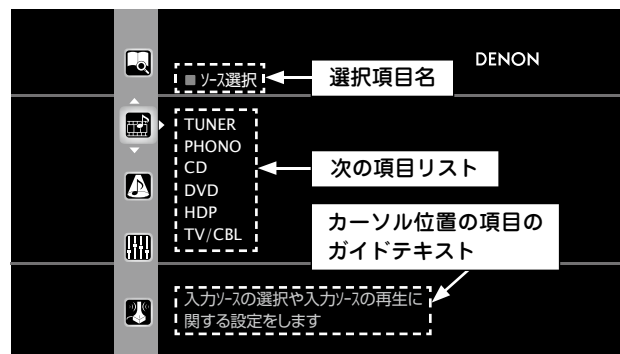
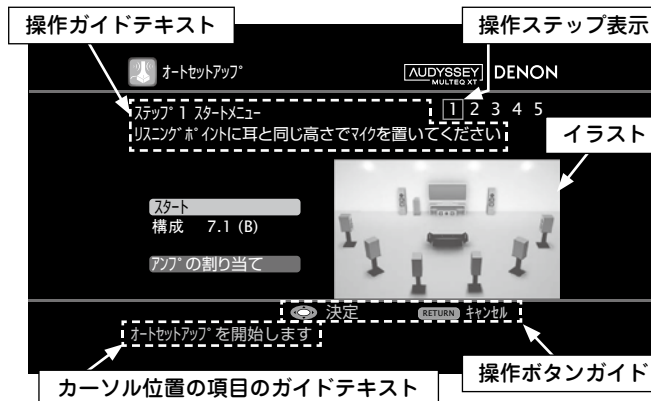
お買い上げ時の設定（初期設定）の表示例

枠線が付いている項目は、お買い上げ時の設定項目または設定値です。

【選択できる項目】 7.1（B） 7.1 5.1

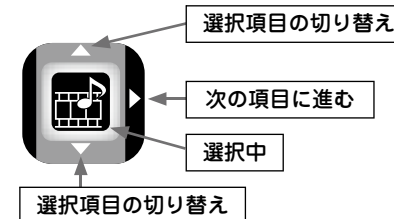
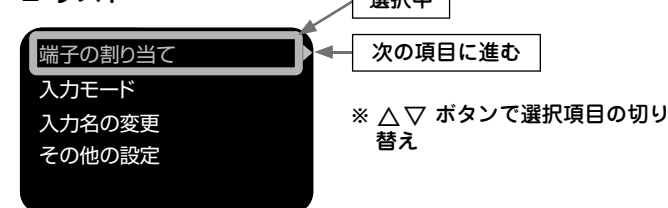
GUI 画面の表示例

代表的な例を説明します。

【例 1】ブラウズメニュー（トップメニュー）

【例 2】イラスト付きメニュー（オートセットアップ）

"スクリーンセーバー" を "オン" にしている場合は、約 3 分間何も操作しないと、スクリーンセーバーが起動します。

△▽◁▷、**ENTER** または **MENU** ボタンを押すと、スクリーンセーバーを解除し、対応する操作をおこないます。

カーソル位置の表示

❏ アイコン

❏ リスト

GUI メニューの操作のしかた

本体でもリモコンでも同じ操作ができます。

1 MENU ボタンを押す。

GUI メニューが表示されます。

※リモコンで操作するときは、あらかじめリモコンをアンプモードにしてください（☞62 ページ）。

2 △▽▷ ボタンを押して、設定 / 操作したいメニューを選ぶ。

※前の項目に戻る場合は、◁ または **RETURN** ボタンを押してください。

3 ENTER ボタンを押して、設定を確定する。

4 MENU ボタンを押して、終了する。

GUI メニューマップ

情報
(☞48、49 ページ)

- ❑ 現在の設定
- ❑ 音声入力信号
- ❑ HDMI 情報
- ❑ オートサラウンド
- ❑ クイックセレクト
- ❑ プリセットチャンネル

パラメーター
(☞45 ～ 48 ページ)

❑音声
- サラウンドパラメーター
  - モード
  - シネマ EQ
  - DRC
  - ダイナミックレンジ圧縮
  - LFE
  - センターイメージ
  - パノラマ
  - ディメンション
  - センター幅
  - ディレイタイム
  - エフェクト
  - エフェクトレベル
  - ルームサイズ
  - AFDM
  - サラウンドバック
  - サブウーハーアッテネーター
  - サブウーハー
  - 初期化
- トーンコントロール
  - トーンデフィート
  - 低音
  - 高音
- ルーム EQ
- RESTORER
- ナイトモード
- オーディオディレイ

❑画質調整
- コントラスト
- ブライトネス
- クロマレベル
- 色合い

ソース選択 (☞40 ～ 42 ページ)

❑DVD, HDP, TV/CBL, SAT, VCR, DVR, V.AUX, TUNER, CD
- プレイ（iPod）
- 再生モード（iPod）
- 端子の割り当て
- 入力モード
- 入力名の変更
- その他の設定
  - ビデオセレクト
  - ビデオコンバート（CD および TUNER は除く）
  - ソースレベル

❑NET/USB
- プレイ
- 再生モード
- 入力モード
- 入力名の変更
- その他の設定
  - ビデオセレクト
  - ソースレベル

❑PHONO
- 入力モード
- 入力名の変更
- その他の設定
  - ビデオセレクト
  - ソースレベル

サラウンドモード
(☞43 ～ 45 ページ)

- ❑STEREO
- ❑DIRECT
- ❑STANDARD
- ❑DOLBY PLIIx, DOLBY PLII または DOLBY PL
- ❑DTS NEO:6
- ❑7CH STEREO
- ❑WIDE SCREEN
- ❑SUPER STADIUM
- ❑ROCK ARENA
- ❑JAZZ CLUB
- ❑CLASSIC CONCERT
- ❑MONO MOVIE
- ❑VIDEO GAME
- ❑MATRIX
- ❑VIRTUAL

オートセットアップ(☞26～28 ページ)

❑オートセットアップ
- ステップ 1：スタートメニュー
- ステップ 2：測定
- ステップ 3：解析
- ステップ 4：解析結果
- ステップ 5：保存

❑オプション
- ルーム EQ
- ダイレクトモード
- マイク選択

❑パラメーター確認
- スピーカー構成確認
- 距離確認
- チャンネルレベル確認
- クロスオーバー確認
- EQ 確認
- 再設定

マニュアル設定 (☞29 ～ 39 ページ)

❑スピーカーの設定 (☞29、30 ページ)
- スピーカー構成
- サブウーハーモード
- 距離
- チャンネルレベル
- クロスオーバー周波数
- サラウンドスピーカーの設定

❑HDMI 設定 (☞31 ページ)
- i/p スケーラー
- 解像度
- プログレッシブモード
- アスペクト
- カラースペース
- RGB 映像レンジ
- オートリップシンク
- 音声出力
- モニター出力

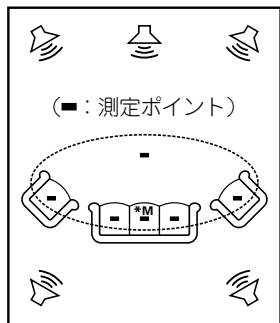
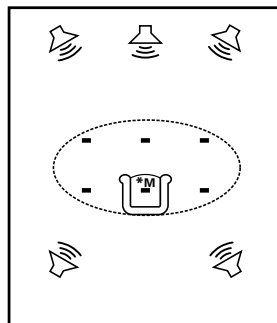
❑音声の設定 (☞32、33 ページ)
- 外部入力の設定
  - サラウンドスピーカー
  - サブウーハーレベル
- 2ch ダイレクト / ステレオ
- ダウンミックス設定
- オートサラウンドモード
- マニュアル EQ
- バイリンガルモード

❑ネットワーク設定 (☞34、35 ページ)
- ネットワーク設定
- その他の設定
  - 省電力モード
  - 文字コード
  - PC 言語
- ネットワーク情報

❑その他の設定 (☞36 ～ 39 ページ)
- アンプの割り当て
- 音量の設定
  - 音量の上限
  - 電源オン時の音量
  - ミューティングレベル
- 使用ソースの選択
- GUI
  - スクリーンセーバー
  - 壁紙
  - フォーマット
  - 操作内容の表示
  - 主音量表示
  - NET/USB
  - iPod
- クイックセレクトネーム
- トリガーアウト 1
- トリガーアウト 2
- リモコン ID
- 双方向リモコン
- ディスプレイの明るさ
- 設定の保護
- メンテナンスモード
- ファームウェアのアップデート
- 新機能の追加

❑言語の設定 (☞39 ページ)

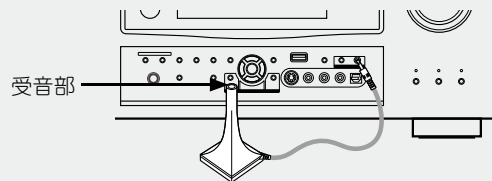
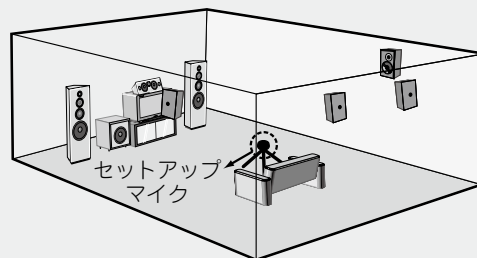
オートセットアップ

- 本機のオートセットアップ機能 Audyssey MultEQ® XT は、リスニングルームの音響特性の測定・解析・設定を自動的におこない、最適なホームシアターオーディオ環境を提供します。
- オートセットアップは付属のセットアップマイク（DM-A405）を使っておこないます。
- 測定は、【例①】に示すように、リスニングエリア全体の複数の位置に付属のセットアップマイクを連続的に配置しておこないます。最善の結果を得るには、図のように6ヶ所またはそれ以上（最大8ヶ所）で測定することをおすすめします。
  リスニング環境が【例②】に示すように狭い場合でも、リスニングエリア全体の複数の位置で測定すると、より精度が高い設定ができます。

【例①】 【例②】

メインリスニングポイント（*M）について
メインリスニングポイントとは、リスナーが一人のときに音場のほぼ中心に座る位置をいいます。 Audyssey MultEQ XT はこの位置からの測定値を用いて、スピーカー距離、レベル、極性、およびサブウーハーの最適なクロスオーバー周波数を計算します。

設定のマニュアル調整については、29、30 ページを参照してください。

準備

1 付属のセットアップマイク（校正済み）を本機の SETUP MIC 端子に接続する。

自動的にオートセットアップの画面が表示されます。

2 セットアップマイクを三脚またはスタンドに取り付けて、メインリスニングポイントに設置し、受音部を耳の高さにする。

※ セットアップマイクを手で持ちながらオートセットアップをおこなわないでください。
※ セットアップマイクと各スピーカーの間には障害になる物がないようにしてください。
※ セットアップマイクを座席の背もたれや壁の近くに置くと、音の反響で正しい測定ができない場合があります。

サブウーハーを使用するときは、オートセットアップをおこなう前に、次の設定をおこなってください。
- ダイレクトモード機能を搭載しているサブウーハーの場合は、"オン"にしてボリュームと周波数の調節を無効にしてください。
- ダイレクトモード機能がないサブウーハーの場合は、次のように設定してください。
  - ・音量：" 12 時"の位置
  - ・クロスオーバー周波数：" 最大 / 最高周波数"
  - ・ローパスフィルター：" オフ"
  - ・スタンバイモード：" オフ"

ご注意

- セットアップマイクは、オートセットアップが終わるまで抜かないでください。
- ヘッドホンを使用している場合は、オートセットアップをおこなう前に、ヘッドホンのプラグを抜いてください。

オートセットアップ

GUI

ご使用になるスピーカーに最適な設定を
自動的におこないます

● メニュー階層 ●

- オートセットアップ
  - 1 オートセットアップ
  - 2 オプション
  - 3 パラメーター確認

1 オートセットアップ

自動的に設定をします。

【オートセットアップの流れ】

ステップ1：スタートメニュー
↓
ステップ2：測定（2〜8ポイント）
↓
ステップ3: 解析
↓
ステップ4: 解析結果
↓
ステップ5: 保存

スタート

オートセットアップを開始します。
Audyssey MultEQ XT オートセットアップ機能が、各スピーカーとサブウーハーのサイズ、チャンネルレベル、距離、クロスオーバー周波数の最適設定を自動的に計算します。また、Audyssey MultEQ XT がリスニングエリア内の音響歪みを補正します。
スタートの前に、すべてのスピーカーを接続し、配置してください。

測定中にエラーメッセージが表示された場合は、「エラーメッセージ」をご覧になり、必要な処理をおこなってから再びオートセットアップをおこなってください（☞28 ページ）。

構成

測定するスピーカーシステムをあらかじめ選ぶことができます。

【選択できる項目】 7.1 (B)　7.1　5.1

あらかじめ必要なスピーカーだけを選んでおくと、使用しないスピーカーの測定や解析の時間を短縮することができます。

アンプの割り当て

パワーアンプの割り当てを変更します。上級者向けの設定です（☞69、70ページ）。

ご注意

“構成”で選択できる項目は、“アンプの割り当て”の設定によって、異なります。

ステップ1：スタートメニュー

スピーカーの接続の有無と極性を最初の測定位置で検出し、スピーカーのサイズ・チャンネルレベル・距離・クロスオーバー周波数の測定をおこないます。
測定が完了すると、結果を表示します。

ご注意

- オートセットアップの測定中は、大きなテストトーンが出力されますが、これは正常な動作です。室内の騒音が大きいとさらにテストトーンのボリュームが大きくなります。
- 測定中は、スピーカーとセットアップマイクロホンとの間に立ったり、障害物を置いたりしないでください。正しい測定ができなくなります。
- 測定中はリスニングルーム内の騒音を抑え、また会話も控えてください。エアコンや騒音を発生する機器の電源をオフにすることをおすすめします。測定値はこれらの騒音に影響を受けることがあります。
- 測定中に本体の **MASTER VOLUME** つまみおよびリモコンの **VOL +/–** ボタンを操作すると、測定を中止します。
- “ステップ 1”の測定をおこなった後に、スピーカーの接続やサブウーハーの音量を変更しないでください。

ステップ2：測定

一つの測定位置を完了したら、マイクロホンを次の位置に移動します。

最低6ヶ所（メインリスニングポイントとその周囲の最低5ヶ所）で測定します。最善の結果を得るには、**6ヶ所以上**（最大8ヶ所）で測定することをおすすめします。

ステップ3：解析

“ステップ 2”で“解析へ”を選択すると、得られた測定値を自動的に分析し、リスニングルームにおけるスピーカーシステムの特性を決定します。

解析時間は、接続されたスピーカーの数と測定ポイント数に依存します。スピーカー数が多ければ多いほど、分析に要する時間は長くなります。

ステップ4：解析結果

オートセットアップが完了すると、測定結果の確認画面を表示します。
確認したい項目を選び、表示します。

フィルター内蔵スピーカー（サブウーハーなど）では、実際の距離と異なる値が表示されることがあります。これはフィルターが信号に電気的遅延を加えているためです。

ステップ5：保存

オートセットアップの測定結果を本機に保存します。

ご注意

設定の登録中は、電源を切らないでください。

エラーメッセージ

スピーカーの設置や測定環境などにより、オートセットアップを完了できなかった場合に、エラーメッセージが表示されます。エラーメッセージが表示された場合は、関連する項目をチェックし、必要な処理をおこなってください。問題点を修正したら、再びオートセットアップをおこなってください。

エラーメッセージ（例）	原　因	処　理
“マイクが挿されていないか、スピーカーがありません”	●付属のセットアップマイクが接続されていません。 ●フロント左スピーカーが正しく検出されません。 ●すべてのスピーカーが検出されません。	●付属のセットアップマイクを本体の **SETUP MIC** 端子に接続してください。 ●スピーカーの接続を確認してください。
“暗騒音が大きすぎるか、出力レベルが小さすぎます”	●部屋の騒音が大きいため、正しく測定できません。 ●スピーカーやサブウーハーの音量が小さいため、正しく測定できません。	●騒音を発生する機器の電源を切るか、遠ざけてください。 ●周囲がより静かなときに再度試みてください。 ●スピーカーの設置や向きを確認してください。 ●サブウーハーの音量を調節してください。
“無し”	●表示されたスピーカーが検出されませんでした。 ・フロント右スピーカーが正しく検出されません。 ・サラウンドスピーカーの片方のチャンネルしか検出されていません。 ・サラウンドバックスピーカーを 1 台のみ接続している場合に、右チャンネルから検出されました。 ・サラウンドバックスピーカーまたはサラウンド（B）スピーカーが検出されましたが、サラウンド（A）スピーカーが検出されません。	●表示されたスピーカーの接続を確認してください。
“位相逆”	●表示されたスピーカーの極性が、逆に接続されています。	●表示されたスピーカーの極性を確認してください。 ●スピーカーによっては、正しく接続されていてもこのエラーメッセージが表示される場合があります。配線が正しければ、“スキップ”を選んでください。

再度測定をおこなうには、“再測定”を選んでください。

ご注意

スピーカー接続をチェックする前に、必ず電源を切ってください。

2 オプション

ルームＥＱやマイク選択など、その他の設定をします .

ルームＥＱ

ルームＥＱの設定方法を選びます。

【選択できる項目】 一括設定　個別設定

ダイレクトモード

DIRECT や PURE DIRECT モードでルーム EQ を使用するかどうかを設定します。

【選択できる項目】 オン　オフ

マイク選択

付属品以外のマイクを使用する場合に設定します。
付属品以外のマイクを使用する場合は、本体フロントパネルの V.AUX 左端子に接続します。

【選択できる項目】 マイク端子　V.AUX 左端子

プロ仕様の校正されたマイクを、フロントパネルの V.AUX 左入力端子に接続して使用できますが、外部マイク入力の補正回路がないために正確な測定ができません。付属のセットアップマイクでのオートセットアップをおすすめします。

3 パラメーター確認

オートセットアップの測定結果を確認します。（このメニュー項目は、オートセットアップをおこなわないと表示されません。）

【確認できる項目】 スピーカー構成確認　距離確認　チャンネルレベル確認　クロスオーバー確認　EQ 確認

“再設定”を選ぶと、各設定を手動で変更した場合でもオートセットアップの結果（MultEQ XT が当初計算した値）に戻すことができます。

マニュアル設定

いろいろなパラメーターの詳細な設定をおこないます。

スピーカーの設定

スピーカーを手動で設定する場合、または オートセットアップで設定された内容を変更する場合におこなってください。

● メニュー階層 ●

- マニュアル設定
  - スピーカーの設定
    - 1 スピーカー構成
    - 2 サブウーハーモード
    - 3 距離
    - 4 チャンネルレベル
    - 5 クロスオーバー周波数
    - 6 サラウンドスピーカーの設定

1 スピーカー構成

スピーカーの有り・無しや低音域再生能力によるスピーカーの大きさの分類を選びます。

フロント

フロントスピーカーの大きさを選びます。

【選択できる項目】 大 小

センター

センタースピーカーの有り・無しや大きさを選びます。

【選択できる項目】 大 小 無し

サブウーハー

サブウーハーの有り・無しを選びます。

【選択できる項目】 有り 無し

サラウンド A

サラウンドスピーカーAの有り・無しや大きさを選びます。

【選択できる項目】 大 小 無し

サラウンド B

サラウンドスピーカーBの有り・無しや大きさを選びます。

【選択できる項目】 大 小 無し

サラウンドバック

サラウンドバックスピーカーの有り·無しや大きさを選びます。

【選択できる項目】 大 小 無し
2台 1台

大 :低音域を十分に再生できる能力があるスピーカーを使用する時に選びます。

小 :低音域の再生能力が十分でない小型スピーカーを使用する時に選びます。

- “大”と“小”の選択は、スピーカーの外形で判断せずに、“クロスオーバー周波数”（☞30ページ）で設定した周波数を基準とした低域再生能力で判断してください。
- “フロント”を“小”に設定すると、“サブウーハー”の設定は自動的に“有り”になります。
- “サブウーハー”を“無し”に設定すると、“フロント”の設定は自動的に“大”になります。
- “サラウンド A”を“無し”に設定すると、“サラウンド B”と“サラウンドバック”の設定は自動的に“無し”になります。
- サラウンドバックスピーカーを1本のみ使用する場合は、左チャンネル（SBL）に接続してください。

2 サブウーハーモード

サブウーハーで再生する低音域信号を選びます。

【選択できる項目】 LFE LFE+メイン

- GUIメニューの“スピーカー構成”-“サブウーハー”の設定が“有り”のときに設定できます。
- 音楽ソースや映画ソースを再生して、量感のある低音域が得られる方のモードを選んでください。
- 常にサブウーハーから低音域信号を出力したい場合は、“LFE+メイン”を選んでください。

3 距離

リスニングポジションからスピーカーまでの距離を設定します。
設定をおこなう前に、リスニングポイントから各スピーカーまでの距離を測っておいてください。

メートル / フィート

距離の単位を選びます。

ステップ

ステップ（最小可変距離）を切り替えます。

【選択できる項目】

0.1m 0.01m ：“メートル”のときに表示されます。

1ft 0.1ft ：“フィート”のときに表示されます。

初期化

設定を初期化します。

距離の設定

設定したいスピーカーを選び、距離を設定します。
測定した距離に最も近い値に設定してください。

【可変できる範囲】

0.00m～18.00m ：“メートル”のときに表示されます。

0.0ft～60.0ft ：“フィート”のときに表示されます。

ご注意

リスニングポジションから各スピーカーまでの距離は、6.00m（20.0ft）以下に設定してください。

4 チャンネルレベル

すべてのスピーカーからの音量が同じになるように各チャンネルのレベルを調節します。

モード

テストトーンの再生方法を選びます。

【選択できる項目】 オート マニュアル

サラウンドスピーカー

テストトーンを出力するサラウンドスピーカーを選びます。

【選択できる項目】 A B A+B

スタート

テストトーンを出力します。

【可変できる範囲】 -12dB ~ 0dB ~ +12dB

初期化

設定を初期化します。

リモコンでも操作できます

テストトーンによる調節は、下記の通りリモコンからでもおこなえます。
リモコンでのテストトーンによる調節は“オート”のみで、STANDARD（Dolby/DTSサラウンド）モード時に有効です。調節したレベルは上記各サラウンドモードに自動的に記憶されます。

① **TEST TONE** ボタンを押す。
テストトーンが各スピーカーより出力されます。
② ◁ ▷ ボタンを押して各スピーカーの音量が同じになるように調節する。
③ 調節が終わったら、もう一度 **TEST TONE** ボタンを押す。

- GUI メニューの“スピーカー構成”-“サラウンドバック”の設定が“1台”の場合、サラウンドバックスピーカーの表示は“サラウンドバック”になります。
- “スピーカー構成”の設定で、“無し”に設定されているスピーカーは表示されません。
- “サラウンドスピーカー”は、GUI メニューの“スピーカー構成”-“サラウンド B”の設定が、“大”または“小”のときに設定できます（☞29 ページ）。
- サラウンドスピーカーをご使用になる場合は、必ず各スピーカーの音量を調節してください。
- “チャンネルレベル”を調節すると、調節された値がすべてのサラウンドモードに対して設定されます。サラウンドモード別にチャンネルレベルを調節する場合は、60 ページをご覧ください。

5 クロスオーバー周波数

サブウーハーから出力する各スピーカーの低音域信号を何 Hz 以下にするかを選びます。

【選択できる項目】

40Hz 60Hz 80Hz 90Hz 100Hz 110Hz
120Hz 150Hz 200Hz 250Hz

サブウーハーから出力される各スピーカーの低音域信号を、設定された周波数以下で出力します。
ご使用になるスピーカーの低域再生能力に合わせて設定してください。

スピーカー別 :
各スピーカーごとに、クロスオーバー周波数を設定します。

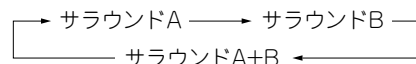
- この設定は GUI メニューの“スピーカー構成”の設定で“小”に設定されているスピーカーがある場合や、“サブウーハー”を“有り”に設定している場合におこなえます（☞29 ページ）。
- “スピーカー別”の設定では、GUI メニューの“スピーカーの設定”-“サブウーハーモード”が“LFE”の場合は、“スピーカー構成”で“小”に設定されているスピーカーの設定ができます。また、“LFE＋メイン”の場合は、スピーカーの大きさに関係なく設定ができます。
- “小”に設定されたスピーカーの場合、クロスオーバー周波数以下の音はカットして出力されます。カットされた低音域はサブウーハーまたはフロントスピーカーから出力されます。
- クロスオーバー周波数は、通常“80Hz”に設定してください。ただし、小型スピーカーを使用する場合は、より高い周波数に設定することをおすすめします。

6 サラウンドスピーカーの設定

サラウンドモードごとに使用するサラウンドスピーカーをあらかじめ選びます。

【選択できる項目】 A B A+B

リモコンでも操作できます

SPKR ボタンを押す。

- GUI メニューの“スピーカー構成”の設定で、“サラウンド A”および“サラウンド B”が有り（“大”または“小”を選択）のときに設定できます。
- プリアウト端子を使用する場合は、“A”または“B”のどちらかを選んでお使いください。
- 入力モードが“EXT. IN”のときのサラウンドスピーカーの設定は、GUI メニューの“マニュアル設定”-“音声の設定”-“外部入力の設定”でおこなってください（☞32 ページ）。

サラウンドスピーカーを A+B で使用するときのスピーカーの種類について

サラウンドスピーカー A または B のどちらかが“小”に設定されている場合は、A、B ともに“小”設定時と同じ出力で再生します。

HDMI設定

GUI

HDMIの映像/音声出力に関する設定をします。

● メニュー階層 ●

- マニュアル設定
  - HDMI設定
    - 1 i/pスケーラー
    - 2 解像度
    - 3 プログレッシブモード
    - 4 アスペクト
    - 5 カラースペース
    - 6 RGB映像レンジ
    - 7 オートリップシンク
    - 8 音声出力
    - 9 モニター出力

1 i/p スケーラー

i/p スケーラー機能の設定をします。

【選択できる項目】

アナログ -HDMI **アナログ -HDMI&HDMI-HDMI** **オフ**

“アナログ -HDMI & HDMI-HDMI”設定の時

- Deep Color（10 ビット /12 ビット）の信号は、8 ビットに変換されます。
- xvYCC の信号およびコンピューター解像度は、i/p スケーラーが効きません。

2 解像度

出力する HDMI 映像信号の解像度を設定します。

【選択できる項目】

オート **480p/576p** **1080i** **720p** **1080p**

“i/p スケーラー”の設定が“オフ”以外のときに設定できます。

ご注意

- “1080i”の信号を“720p”に変換することはできません。
- “720p”の信号を“1080i”に変換することはできません。

3 プログレッシブモード

映像素材に最適なプログレッシブモードを選びます。

【選択できる項目】 **オート** **ビデオ 1** **ビデオ 2**

“i/p スケーラー”の設定が“オフ”以外のときに、設定できます。

4 アスペクト

480i/576i または 480p/576p の入力信号を HDMI 出力端子に出力するときのアスペクト比を設定します。

【選択できる項目】 **フル** **ノーマル**

- “i/p スケーラー”の設定が“オフ”以外のときに設定できます。
- HDMI 出力の解像度が、1080i、720p、1080p のときに有効です。それ以外の解像度で出力する場合は、テレビ側でアスペクト比の設定をおこなってください。

5 カラースペース

出力する色空間方式を設定します。

【選択できる項目】 **YCbCr** **RGB**

HDMI/DVI 変換ケーブルを使用して、DVI-D 端子付きモニター（HDCP 対応）と接続した場合は、設定内容に関わらず RGB 形式で出力されます。

6 RGB 映像レンジ

出力する RGB 映像レンジを設定します。

【選択できる項目】 **ノーマル** **エンハンスド**

“カラースペース”の設定が“YCbCr”のときは、この設定は無効になります。

7 オートリップシンク

出力する音声と映像の時間のずれを自動的に修正します。

【選択できる項目】 **オン** **オフ**

オートリップシンクは、HDMI リップシンク対応のテレビに接続している場合のみ動作します。

8 音声出力

HDMI の音声の出力先を設定します。

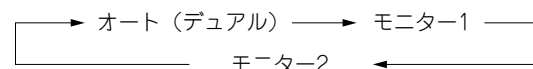
【選択できる項目】 **アンプ** **TV**

9 モニター出力

HDMI のモニターの出力先を設定します。

【選択できる項目】 **オート（デュアル）** **モニター 1** **モニター 2**

リモコンでも操作できます

M. SEL ボタンを押す。

- モニター出力の設定を“オート（デュアル）”にしているときは、モニター 1 またはモニター 2 との接続を自動的に認識します。
- モニター 1 およびモニター 2 が同時に接続されていて、“解像度”の設定が“オート”のときは、両方のモニターが対応している解像度で出力します。
- “解像度”の設定を“オート”以外にする場合は、“情報”-“HDMI 情報”-“モニター 1”および“モニター 2”で、お使いのモニターが対応している解像度を確認してから設定してください。

ご注意

接続しているモニターによっては、“オート（デュアル）”に設定すると正常に表示されない場合があります。このようなときは、“モニター 1”または“モニター 2”を選んでください。

音声の設定

GUI

音声の再生に関する設定をします。

● メニュー階層 ●

- マニュアル設定
  - 音声の設定
    - 1 外部入力の設定
    - 2 2ch ダイレクト／ステレオ
    - 3 ダウンミックス設定
    - 4 オートサラウンドモード
    - 5 マニュアルEQ
    - 6 バイリンガルモード

1 外部入力の設定

EXT.IN モードで再生するときのスピーカーの各種設定をします。

サラウンドスピーカー

使用するサラウンドスピーカーを選びます。

【選択できる項目】 A　B　A+B

GUI メニューの“スピーカー構成”の設定で、“サラウンド A”および“サラウンド B”が有り（“大”または“小”を選択）のときに設定できます。

サブウーハーレベル

サブウーハーの再生レベルを設定します。
使用するプレーヤーに合わせて選びます。

【選択できる項目】 0dB　+5dB　+10dB　+15dB

“+15dB”に設定することをおすすめします。

2 2ch ダイレクト / ステレオ

2 チャンネルモードで再生するときのスピーカーの各種設定をします。

設定

設定を変更する場合は“変更”を選びます。

【選択できる項目】 基本*　変更

＊：“スピーカーの設定”と同じ設定で再生します。

フロント

フロントスピーカーの大きさを選びます。

【選択できる項目】 大　小

サブウーハー

サブウーハーの有り・無しを選びます。

【選択できる項目】 有り　無し

サブウーハーモード

サブウーハーで再生する低音域信号を選びます。

【選択できる項目】 LFE　LFE+ メイン

クロスオーバー

クロスオーバー周波数を設定します。

【選択できる項目】

40Hz　60Hz　80Hz　90Hz　100Hz　110Hz　120Hz　150Hz　200Hz　250Hz

距離フロント左

リスニングポイントからフロント左スピーカーまでの距離を設定します。

【可変できる範囲】 0.00m ~ 18.00m

距離フロント右

リスニングポイントからフロント右スピーカーまでの距離を設定します。

【可変できる範囲】 0.00m ~ 18.00m

3 ダウンミックス設定

ドルビーデジタルソースをダウンミックスで再生するときのダイナミックレンジの設定をします。

【選択できる項目】 オン **オフ**

- フロントスピーカーの音が歪んで聞こえる場合は、“オン”に設定してください。
- センタースピーカーまたはサラウンドスピーカーを使用しない場合、再生音はダウンミックスしてフロントスピーカーから出力されます。

4 オートサラウンドモード

入力信号の種類ごとにサラウンドモードの設定を記憶します。

【選択できる項目】 **オン** オフ

- オートサラウンドモードは、次の4種類の入力信号に対して、最後に再生したサラウンドモードを記憶させることができます。
  ① アナログや PCM の 2 チャンネル信号
  ② ドルビーデジタルや DTS などの 2 チャンネル信号
  ③ ドルビーデジタルや DTS などのマルチチャンネル信号
  ④ ドルビーデジタルや DTS 以外の PCM や DSD のマルチチャンネル信号
- PURE DIRECT モードで再生中は、入力信号が変化してもサラウンドモードは切り替わりません。

5 マニュアル EQ

グラフィックイコライザーを使って各スピーカーの音色を調節します。

調節チャンネル

スピーカーの調節方法を選びます。

【選択できる項目】 各スピーカー **左右** すべて

マニュアル EQ

スピーカーや周波数帯を選び、レベルを調節します。

【選択できる項目】 63 125 250 500 1k 2k 4k 8k 16k

【可変できる範囲】 -20dB ~ +6dB

カーブコピー

ルーム EQ の“Audyssey Flat”の補正カーブをコピーします。

【選択できる項目】 コピーする コピーしない

“カーブコピー”は、オートセットアップをおこなった後に、表示されます。

初期化

設定を初期値に戻します。

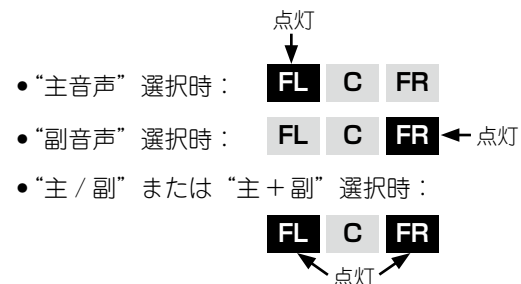
6 バイリンガルモード

AAC ソースやドルビーデジタルソースの二重音声の出力内容を設定します。

【選択できる項目】 **主音声** 副音声 主 / 副 主＋副

- バイリンガルモードは、AAC ソースおよびドルビーデジタルソースで、二重音声の情報がある場合のみ有効です。
- 二重音声の情報があるソースを録音する場合は、プレーヤーまたはチューナー側で録音したい音声に切り替えてください。

AAC ソースまたはドルビーデジタルソースで二重音声の情報を検出した場合

- “主音声”選択時：
- “副音声”選択時： FL C FR ← 点灯
- “主 / 副”または“主＋副”選択時：

※ DTS ソースで二重音声を検出した場合は、バイリンガルモードの設定に関わらず、“FL”と“FR”が点灯します。

※ “MPEG2 AAC”モードの場合、音声はセンタースピーカーより出力されます。フロントスピーカーで再生したい場合は、“STEREO”モードなどを選んでください。

ネットワーク設定

ネットワークに関する設定をします。

● メニュー階層 ●

- マニュアル設定
  - ネットワーク設定
    - 1 ネットワーク設定
    - 2 その他の設定
    - 3 ネットワーク情報

- ブロードバンドルータ（DHCP 機能）をお使いの方は、本機の初期設定で DHCP 機能が“ON”になっていますので、IP アドレスとプロキシの設定は必要ありません。
- DHCP 機能のないネットワークに本機を接続してお使いになるときには、ネットワークの設定をおこなう必要があります。この場合、ネットワークに関する知識が必要となります。詳しくは、ネットワーク管理者などにお問い合わせください。
- インターネットに接続できない場合は、もう一度接続や設定を確認してください（☞22 ページ）。
- インターネットの接続について分からない場合は、ISP（インターネット・サービスプロバイダ）またはパソコン関連販売店にお問い合わせください。

- **DHCP（ダイナミックホストコンフィグレーションプロトコル）：**
  本機やパソコン、ブロードバンドルータのようなネットワーク機器に、自動的に IP アドレスなどのネットワーク設定をおこなう仕組みのこと。
- **DNS（ドメインネームシステム）：**
  ホームページの閲覧時に使用する「www.denon.jp」のようなドメイン名を、実際の通信に使用する IP アドレス（「202.221.192.106」など）に置き換える仕組みのこと。

1 ネットワーク設定

有線 LAN または無線 LAN の設定をします。

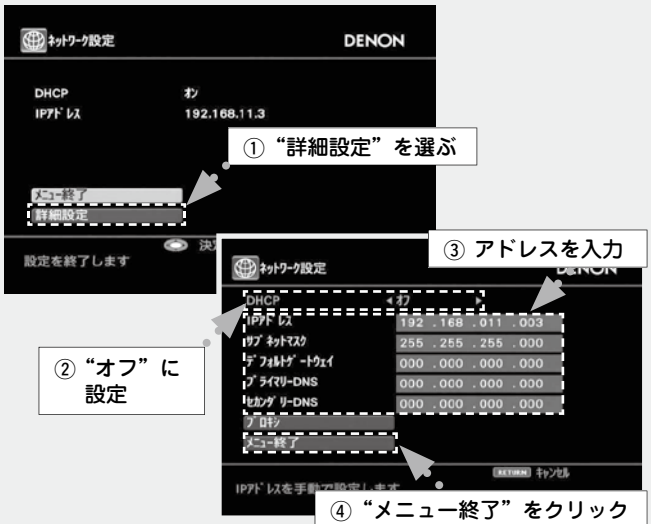
有線 LAN の設定

有線 LAN の設定をします。

1 LAN ケーブルを接続する（☞22 ページ）。

2 本機の電源を入れる（☞50 ページ）。

本機は、DHCP 機能によりネットワークの設定を自動的におこないます。
DHCP 機能のないネットワークに接続する場合のみ、操作 3 の設定をおこなってください。

3 GUI メニューの“マニュアル設定”－“ネットワーク設定”－“ネットワーク設定”で、IP アドレスを設定する。

① “詳細設定”を選び、**ENTER** ボタンを押す。

② ◁ ▷ ボタンで“DHCP”を“OFF”に設定し、▽ ボタンを押す。
DHCP 機能を無効にします。

③ △▽ ▷ ボタンでアドレスを入力し、**ENTER** ボタンを押す。

IP アドレス：
入力する IP アドレスは下記の範囲で設定してください。下記以外の IP アドレスではネットオーディオ機能を使用することができません。
CLASS A：10.0.0.0 ～ 10.255.255.255
CLASS B：172.16.0.0 ～ 172.31.255.255
CLASS C：192.168.0.0 ～ 192.168.255.255

サブネットマスク：
xDSL モデムやターミナルアダプタを直接本機に接続している場合は、プロバイダから書面などで通知されたサブネットマスクを入力します。通常は 255.255.255.0 が入ります。

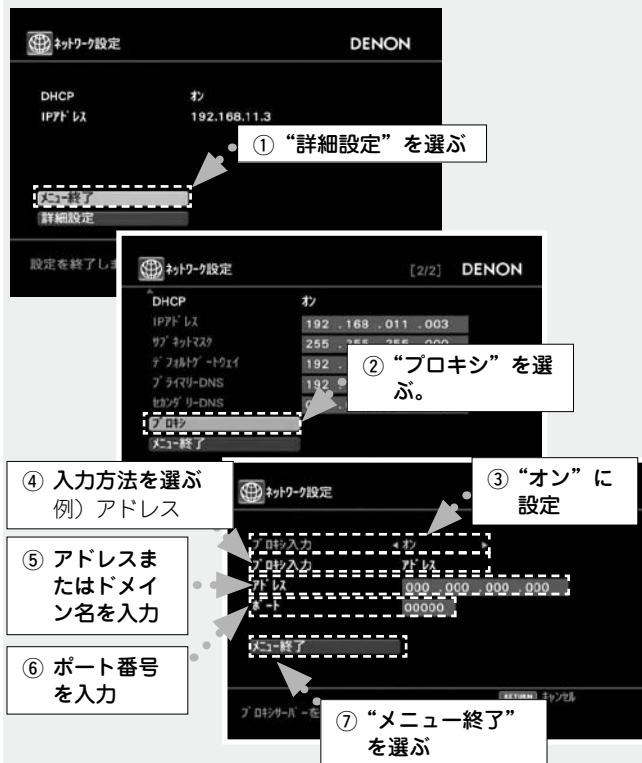
デフォルトゲートウェイ：
ゲートウェイ（ルータ）に接続している場合は、その IP アドレスを入力します。

プライマリー DNS　**セカンダリー DNS**：
プロバイダから書面などで通知された DNS アドレスが 1 つの場合は、“プライマリー DNS”に入力してください。2 つ以上の場合は、1 つを“セカンダリー DNS”に入力してください。

④ ▽ ボタンで“メニュー終了”を選び、**ENTER** ボタンを押す。
設定が完了します。

※プロキシ経由でネットワークに接続している場合は、“プロキシ”を選び、**ENTER** ボタンを押す（☞35 ページ「プロキシの設定」）。

❑ プロキシの設定

インターネットにプロキシサーバーを経由して接続する場合に設定します。

① GUI メニューの “マニュアル設定” - “ネットワーク設定” - “ネットワーク設定” で “詳細設定” を選び、**ENTER** ボタンを押す。

② △▽ ボタンで “プロキシ” を選び、**ENTER** ボタンを押す。

③ ◁ ▷ ボタンで “プロキシ” を “オン” に設定し、▽ ボタンを押す。

プロキシサーバーを有効にします。

④ ◁ ▷ ボタンでプロキシサーバーの入力方法を選び、▽ ボタンを押す。

【選択できる項目】

アドレス ：

アドレスで入力する場合に選びます。

ネーム ：

ドメイン名で入力する場合に選びます。

⑤ △▽ ▷ ボタンでプロキシサーバーのアドレスまたはドメイン名を入力し、**ENTER** ボタンを押す。

操作 ④ で “アドレス” を選んだ場合 : アドレスを入力します。

操作 ④ で “ネーム” を選んだ場合 : ドメイン名を入力します。

【入力できる文字】

A ~ Z **a ~ z** **0 ~ 9**

! “ # % & ’ ( ) * + , - . / : ; < = > ? @ [\ ]（空白）

⑥ △▽ ◁ ▷ ボタンでプロキシサーバーのポート番号を入力し、**ENTER** ボタンを押す。

⑦ ▽ ボタンで “メニュー終了” を選び、**ENTER** ボタンを押す。

設定が完了します。

2 その他の設定

省電力モードやパソコンの言語を設定します。

省電力モード

ネットワークに接続しない場合に設定すると、スタンバイ時の消費電力をおさえることができます。

【選択できる項目】 **オン** **オフ**

ご注意

ネットワークに接続している場合は、安定したネットワーク接続のため、“省電力モード” を “オフ” にしてください。

文字コード

USB で再生する MP3 ID3-Tag の文字コードタイプを設定します。

【選択できる項目】 **オート** **ラテン語** **日本語**

“オート” に設定したときに文字が正しく表示されない場合は、“ラテン語” または “日本語” に設定してください。

PC 言語

パソコンの言語を選びます。

【選択できる項目】

ara **chi (smpl)** **chi (trad)** **cze** **dan** **dut** **eng**
fin **fre** **ger** **gre** **heb** **hun** **ita** **jpn** **kor** **nor**
pol **por** **por (BR)** **rus** **spa** **swe** **tur**

3 ネットワーク情報

ネットワークの情報を表示します。

【選択できる項目】 **DHCP= オンまたはオフ**
IP アドレス **MAC アドレス**

その他の設定

GUI

その他の設定をします。

● メニュー階層 ●

- マニュアル設定
  - その他の設定
    - 1 アンプの割り当て
    - 2 音量の設定
    - 3 使用ソースの選択
    - 4 GUI
    - 5 クイックセレクトネーム
    - 6 トリガーアウト1
    - 7 トリガーアウト2
    - 8 リモコンＩＤ
    - 9 双方向リモコン
    - 10 ディスプレイの明るさ
    - 11 設定の保護
    - 12 メンテナンスモード
    - 13 ファームウェアのアップデート
    - 14 新機能の追加

1 アンプの割り当て

サラウンドバックスピーカーチャンネルのアンプの用途を設定します。

ご使用になる環境にあわせて、サラウンドバック用アンプの使用先を自由に設定することができます。
これにより、フロントスピーカーの高音質再生（バイアンプ）や2チャンネル再生専用のスピーカーを接続してお楽しみいただけます。

【選択できる項目】

7.1ch バイアンプ 2ch

詳しくは、「アンプアサインの設定と接続について」をご覧ください（☞69、70 ページ）。

2 音量の設定

音量の設定をします。

音量の上限

主音量の上限を設定します

【選択できる項目】 **オフ** -20dB -10dB 0dB

電源オン時の音量

電源を入れたときの音量を設定します。

【選択できる項目】 **前回の音量** - - - -80dB ~ 18dB

ミューテイングレベル

ミューティング時の音量の減衰量を設定します。

【選択できる項目】 **消音** -40dB -20dB

3 使用ソースの選択

使用しない入力ソースを消去し、表示しないように設定します。

【選択できる項目】 **使用する** 使用しない

ご注意

- 現在選択中の入力ソースは、削除できません。
- “使用しない”に設定された入力ソースは、GUI メニューの“ソース選択”でも、本体の **SOURCE SELECT** つまみやリモコンの **SOURCE SELECT** ボタンでも選べなくなります。

4 GUI

GUI の表示に関する設定をします。

スクリーンセーバー

スクリーンセーバーの表示を設定します。
スクリーンセーバー機能によりモニター画面の焼き付きを防止します。
“オン”に設定すると、約 3 分間何も操作しないときに、スクリーンセーバーが起動します。

【選択できる項目】 **オン** オフ

壁紙

GUI の背景を変更します。

【選択できる項目】 **ピクチャー** 黒色 灰色 青色

フォーマット

使用するモニターに合わせて出力する映像信号方式を選びます。

【選択できる項目】 **NTSC** PAL

ご注意

接続したモニターの映像方式と異なる方式に設定すると、映像は正しく映りません。このような場合は、以下の操作でビデオフォーマットを切り替えてください。

本体でも設定できます

※ この設定をおこなうときは、GUIメニューは表示されません。

① **STATUS** と **RETURN** ボタンを3秒以上長押しする。
ディスプレイに“Video Format”が表示されます。
② ◁ ▷ ボタンを押して、設定する。
③ **ENTER**、**MENU** または **RETURN** ボタンを押して、設定を終了する。

```
*Video Format
  < NTSC >
```

操作内容の表示

操作内容を表示します。

【選択できる項目】 オン　オフ

主音量表示

主音量を調節するときに主音量レベルを表示します。

【選択できる項目】 オン　オフ

NET/USB / iPod

操作時にオンスクリーン表示する時間を設定します。

【選択できる項目】 常に表示　30s　10s　オフ

5 クイックセレクトネーム

クイックセレクトの名前を変更します。
16 文字まで入力することができます。

【入力できる文字】

A ~ Z　a ~ z　0 ~ 9

! “ # % & ’ ( ) * + , - . / : ; < = > ? @ [\ ] (空白)

6 トリガーアウト 1

入力ソースやサラウンドモードなどに対して、トリガーアウト 1 を出力する条件を選びます。
トリガーアウトについては、23 ページをご覧ください。

7 トリガーアウト 2

“トリガーアウト 1”と同じように、トリガーアウト 2 を出力させる条件を設定します。

【選択できる項目】 オン　- - -

入力ソースに対する設定

入力ソースに対して連動します。

サラウンドモードに対する設定

- “オン”に設定されたサラウンドモードに対して連動します。
- 「入力ソースに対する設定」で“オン”に設定されている入力ソースが選ばれているときに連動します。

モニターに対する設定

- “オン”に設定された HDMI モニターが選ばれたときに連動します。
- 「入力ソースに対する設定」で“オン”に設定されている入力ソースが選ばれているときに連動します。

8 リモート ID

リモコンの ID を設定します。
使用するリモコンと本機の ID を合わせてください。

【選択できる項目】 1　2　3　4

リモート ID を変更する場合は、リモコンの“AMP”、“iPod”、“NET/DTU”モードも同時に変更してください（☞66 ページ）。

9 双方向リモコン

双方向リモコンを使用するか使用しないかを設定します。

【選択できる項目】 使用する　使用しない

双方向リモコン（RC-7000CI や RC-7001RCI、別売り）をご使用になる場合は、“使用する”に設定してください。

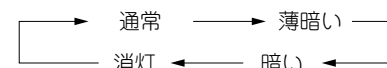
10 ディスプレイの明るさ

本体のディスプレイ表示の明るさを調節します。

【選択できる項目】 通常　薄暗い　暗い　消灯

本体でも設定できます

DIMMER ボタンを押す。

通常 → 薄暗い → 暗い → 消灯 → 通常

⓫ 設定の保護

設定した内容を変更できないように保護します。

【選択できる項目】 **オン** **オフ**

- “設定の保護”を“オン”に設定すると、以下の設定が変更できなくなります。また、関連するボタンを操作すると、ディスプレイに“SETUP LOCKED!”が表示されます。
  - · GUI メニュー操作
  - · RESTORER
  - · ナイトモード
  - · パラメーター
  - · ルーム EQ
  - · チャンネルレベル
  - · オーディオディレイ
- 設定を解除する場合は、**MENU** ボタンを押して再度“設定の保護”画面を表示させ、“オフ”に設定し直してください。

⓬ メンテナンスモード

DENON サービスおよびインストーラによるメンテナンス機能の設定をします。

DENON サービスおよびインストーラが、本機にインターネット経由で接続し、本機の状態の確認や設定をおこなうための機能です。

ご注意

DENON サービスまたはインストーラからの指示があった場合のみ使用してください。

⓭ ファームウェアのアップデート

ファームウェアをアップデートします。

アップデートの確認

ファームウェアが最新かどうかの確認ができます。また、アップデートする場合のおよそのアップデート時間を確認できます。

スタート

アップデートの処理を実行します。
アップデートを開始すると、電源表示が赤色に点灯し、GUI 画面はシャットダウンします。ディスプレイには経過時間を表示します。
アップデートが完了すると、本機は通常の状態に戻ります。

※ ディスプレイに次の表示がされたときは、設定やネットワーク環境を確認してから、再びアップデートしてください。

ディスプレイ	説　明
Updating failed	アップデートに失敗しました。
Login failed	サーバーへのログインに失敗しました。
Server is busy	サーバーが混雑しています。しばらく時間をおいてから、やり直してください。
Connection fail	サーバーへの接続に失敗しました。

⓮ 新機能の追加

新機能（有償）をダウンロードして、本機をアップグレードします。

新機能の購入後に、ユーザー情報が登録されると、このメニューに“登録完了”と表示され、アップグレードが可能になります。

新機能の追加の画面で“--------”が表示されている場合は、アップグレードできません。
アップグレードを利用する場合は、DENON website でアップグレードパッケージを購入してください。
ご購入の際には、この画面に表示されている ID ナンバーが必要になります。
<▷> と **<STATUS>** ボタンを 3 秒以上長押しすると、ID 番号をディスプレイに表示させることができます。

アップグレード

アップグレードの処理を実行します。
アップグレードを開始すると、電源表示が赤色に点灯し、GUI 画面はシャットダウンします。ディスプレイには経過時間を表示します。
アップグレードが完了すると、本機は通常の状態に戻ります。

※ アップグレードができなかった場合には、ディスプレイに“ファームウェアのアップデート”と同様の表示をします。設定やネットワーク環境を確認してから、再びアップグレードしてください。

アップグレードステータス

アップグレードによって追加された機能の一覧を表示します。

“ファームウェアのアップデート”および“新機能の追加”をおこなったときのご注意

- これらの機能を使用するためには、インターネットブロードバンドに接続できる環境と設定が必要です。
- アップデート / アップグレードが終わるまで、絶対に電源を切らないでください。
- アップデート / アップグレードが完了するまでには、ブロードバンド接続で 1 時間程度の時間がかかります。
  一旦アップデート / アップグレードを開始すると、本機は完了するまで通常の操作ができなくなります。
- アップデート / アップグレードをおこなうと、本機に設定したパラメーターなどのバックアップデータが初期化される場合があります。

「ファームウェアのアップデート」および「新機能の追加」に関する情報は、その計画が明らかになるたびに、当社ホームページなどで告知をする予定です。

言語の設定

GUI

表示画面に使用する言語を設定します。

Aa

● メニュー階層 ●

マニュアル設定
└ 言語の設定

【選択できる項目】

日本語	English	Deutsch	Français
Italiano	Español	Nederlands	Svenska

本体でも設定できます

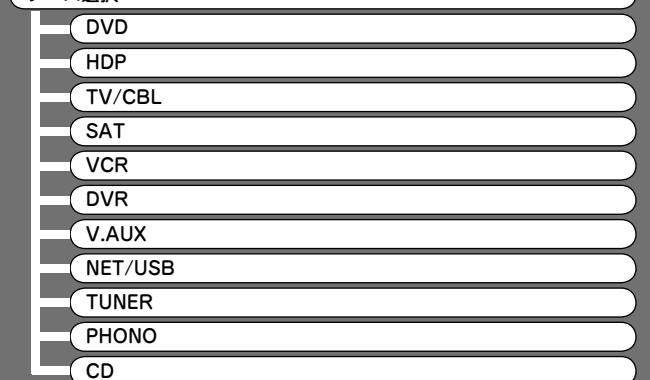
※ この設定をおこなうときは、GUIメニューは表示されません。

① **STATUS** と **RETURN** ボタンを3秒以上長押しする。
　ディスプレイに“Video Format”が表示されます。
② △▽ を押して、“GUI Language”を選ぶ。
③ ◁ ▷ を押して、設定する。
④ **ENTER**、**MENU** または **RETURN** ボタンを押して、設定を終了する。

```
*GUI Language
 < JAPANESE >
```

ソース選択

入力ソースの選択や入力ソースの再生に関する設定をします。

入力ソースの選択

本体やリモコンでも操作できます

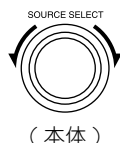
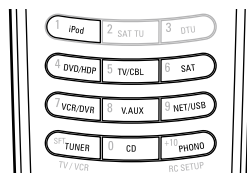
【本体での操作】

SOURCE SELECT を回す。

※ “REC SELECT” や “VIDEO SELECT” モードを選んでいる場合は、**SOURCE** ボタンを押してから **SOURCE SELECT** つまみを回してください。

【リモコンでの操作】

SOURCE SELECT ボタンを押す。

お好みの入力ソースをダイレクトに選ぶことができます。

（本体）

（リモコン）

リモコンで操作するときは、あらかじめリモコンをアンプモードにしてからお使いください（☞62 ページ「リモコン操作」）。

入力ソースの再生に関する設定

＊：“プレイ” および “再生モード（iPod）” は、“iPod dock” を割り当てた入力ソースに対して表示されます。

1 プレイ

再生画面を表示します。

【入力ソース】 NET/USB （iPod）

2 入力モード

このソースの入力モードとデコードモードを設定します。選択できる入力モードは、入力ソースや “端子の割り当て” の設定によって異なります（☞42 ページ）。

入力モード

このソースの入力モードを設定します。

【入力ソース】 PHONO （iPod）

【選択できる項目】 アナログ　EXT. IN

【入力ソース】 NET/USB

【選択できる項目】 オート　EXT. IN

【入力ソース】

DVD　HDP　TV/CBL　SAT　VCR　DVR　V.AUX　TUNER　CD

【選択できる項目】

オート　HDMI　デジタル　アナログ　EXT. IN

- デジタル信号が正しく入力されると、ディスプレイの “DIG.” 表示が点灯します。“DIG.” 表示が点灯しない場合は、デジタル入力端子の割り当てや接続を確認してください。
- 入力モードが “EXT. IN” の場合は、サラウンドモードの設定ができません。

本体やリモコンでも操作できます

本体の **INPUT MODE** ボタンまたはリモコンの **INPUT** ボタンを押す。

＊1：GUI メニューの “端子の割り当て” の設定で “HDMI 端子” を割り当てている入力ソースに対して選べます（☞42 ページ）。CD および TUNER は除きます。

＊2：GUI メニューの “端子の割り当て” の設定で “デジタル端子” を割り当てている入力ソースに対して選べます（☞42 ページ）。

デコードモード

このソースのデコードモードを設定します。

【入力ソース】 DVD HDP TV/CBL SAT VCR DVR V.AUX TUNER CD

【選択できる項目】 オート PCM DTS

- GUI メニューの“端子の割り当て”の設定で“HDMI 端子”または“デジタル端子”を割り当てている入力ソースに対して選ぶことができます（☞42 ページ）。
- “PCM”や“DTS”は、それぞれの入力信号を再生するときのみ設定してください。

3 入力名の変更

このソースの表示名を変更します。
8 文字まで入力することができます。

【入力できる文字】

A ~ Z a ~ z 0 ~ 9

! “ # % & ’ ( ) * + , - . / : ; < = > ? @ [\ ] (空白)

4 その他の設定

入力ソースに関するその他の設定をします。

ビデオセレクト

音声を聴きながら映像の入力ソースを切り替えます。

【選択できる項目】 DVD HDP TV/CBL SAT VCR DVR V.AUX SOURCE

本体でも操作できます

VIDEO SELECT ボタンを押して、好きな映像が出るまで **SOURCE SELECT** つまみを回す。

※解除する場合は、**VIDEO SELECT** ボタンを押してから **SOURCE SELECT** つまみを回して、“SOURCE”を選んでください。

ご注意

- HDMI の入力信号は選べません。
- HDMI を再生中、HDMI モニターアウトに他の入力ソースは出力できません。
- “使用ソースの選択”で“使用しない”に設定した入力ソースは選択できません。

ビデオコンバート

映像入力信号をモニター出力に自動的に変換します。

【入力ソース】 DVD HDP TV/CBL SAT VCR DVR V.AUX

【選択できる項目】 オン オフ

ご注意

ゲーム機などの非標準ビデオ信号を入力した場合、ビデオコンバージョン機能が動作しない場合があります。
このようなときはビデオコンバートを“オフ”に設定してください。

ソースレベル

選んだ入力ソースの音声入力の再生レベルを補正します。

【可変できる範囲】 -12dB ~ 0dB ~ +12dB

GUI メニューの“端子の割り当て”の設定で“HDMI 端子”または“デジタル端子”を割り当てている入力ソースに対しては、アナログ入力レベルとデジタル入力レベルを別々に調節することができます。

5 再生モード（iPod）

iPod の再生の設定をします。

リピート

リピートモードの設定をします。

【入力ソース】 DVD HDP TV/CBL SAT VCR DVR V.AUX TUNER CD

【選択できる項目】 すべて 1 曲 オフ

シャッフル

シャッフルモードの設定をします。

【入力ソース】 DVD HDP TV/CBL SAT VCR DVR V.AUX TUNER CD

【選択できる項目】 曲 アルバム オフ

“iPod dock”の設定で iPod dock を割り当てた入力ソースに対して設定できます。

6 端子の割り当て

このソースに割り当てる入力端子を選びます。

HDMI 端子

このソースに割り当てる HDMI 入力端子を選びます。

【入力ソース】 DVD HDP TV/CBL SAT VCR DVR V.AUX

【選択できる項目】 1 2 3 無し

入力ソース	DVD	HDP	TV/CBL	SAT	VCR	DVR	V.AUX
初期設定	**HDMI1**	**HDMI2**	無し	無し	無し	**HDMI3**	無し

- HDMI では、映像信号と音声信号を同時に伝送します。HDMI を入力ソースに割り当てると、映像とともに音声も HDMI になります。デジタル音声入力端子を割り当ててご使用になる場合は、GUI メニューの“入力モード”を“デジタル”に設定してください（☞40 ページ）。
- 本機とテレビを HDMI ケーブルで接続したとき、テレビが HDMI 音声の再生に対応していない場合は、映像信号のみをテレビに出力します。
- アナログ端子、デジタル端子および EXT.IN 端子から入力された音声信号は、テレビには出力されません。

ご注意

“iPod dock”が割り当てられている入力ソースには、設定できません。

デジタル端子

このソースに割り当てるデジタル入力端子を選びます。

【入力ソース】 DVD HDP TV/CBL SAT VCR DVR V.AUX TUNER CD

【選択できる項目】 COAXIAL1 ~ 3 OPTICAL1 ~ 4 DENON LINK * 無し

入力ソース	DVD	HDP	TV/CBL	SAT	VCR	DVR	V.AUX	CD	TUNER
初期設定	**COAXIAL 1**	無し	**COAXIAL 2**	**OPTICAL 1**	**OPTICAL 3**	**OPTICAL 2**	**OPTICAL 4**	**COAXIAL 3**	無し

*: 本機と当社の DVD プレーヤーを、DENON LINK で接続した場合に設定できます。

ご注意

- “iPod dock”が割り当てられている入力ソースには、設定できません。
- “DENON LINK”を割り当てた入力ソースを選んでいる場合は、デジタル入力端子から入力された PCM 信号、ネットワークオーディオ（インターネットラジオ、ミュージックサーバーおよび USB）信号をアナログ REC OUT 端子から出力することができません。

コンポーネントビデオ端子

このソースに割り当てるコンポーネントビデオ（D）入力端子を選びます

【入力ソース】 DVD HDP TV/CBL SAT VCR DVR V.AUX

【選択できる項目】 1 2 3 無し

入力ソース	DVD	HDP	TV/CBL	SAT	VCR	DVR	V.AUX
初期設定	**1**	**2**	**3**	無し	無し	無し	無し

ご注意

“iPod dock”が割り当てられている入力ソースには、設定できません。

iPod dock

このソースに iPod dock を割り当てます。

【入力ソース】 DVD HDP TV/CBL SAT VCR DVR V.AUX TUNER CD

【選択できる項目】 割り当てる 割り当てない

- 初期設定では、iPod 用コントロールドックを VCR（iPod）端子に接続して、お使いいただけます。
- “iPod dock”を“割り当てる”に設定していても、本機と iPod 用コントロールドックが接続されていなければ、その入力ソースは通常の入力ソースとしてお使いいただけます。

7 再生モード

“NET/USB”の再生の設定をします。

【入力ソース】 NET/USB

USB 端子の選択

使用する USB 端子を選びます。

【選択できる項目】 前面 背面

お使いになる方のUSB端子に設定してください。

リピート

リピートモードの設定をします。

【選択できる項目】 すべて 1曲 オフ

ランダム

ランダムモードの設定をします。

【選択できる項目】 オン オフ

サラウンドモード

スタンダード再生

プログラムソースに合わせて、サラウンド再生を楽しむスタンダードなモードです。

2 チャンネルのソースをサラウンド再生する場合

これらのサラウンドモードを選ぶ場合は、本体の **STANDARD** ボタンまたはリモコンの **STD** ボタンを押してください。ボタンを押すたびに、モードが切り替わります。

- サラウンドバックスピーカーを使用している場合

【選択できる項目】 **DOLBY PLⅡx** **DTS NEO:6**

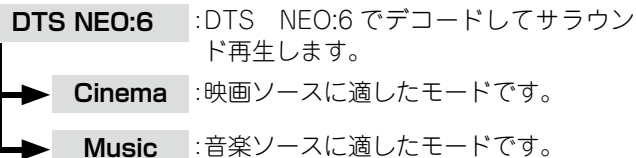
- サラウンドバックスピーカーを使用していない場合

【選択できる項目】 **DOLBY PLⅡ** **DTS NEO:6**

DOLBY PLⅡx または DOLBY PLⅡ :DOLBY PLⅡx または DOLBY PLⅡ でデコードして、サラウンド再生します。

- **Cinema** :映画ソースに適したモードです。
- **Music** :音楽ソースに適したモードです。
- **Game** :ゲームに適したモードです。
- **Pro Logic** :プロロジック再生モードです。PLⅡ デコーダーで再生する場合に選べます。このモードを選ぶと、表示は“DOLBY PL”になります。

DTS NEO:6 :DTS NEO:6 でデコードしてサラウンド再生します。

- **Cinema** :映画ソースに適したモードです。
- **Music** :音楽ソースに適したモードです。

“Cinema”、“Music”、“Game”、“Pro Logic”モードは、GUIメニューの“パラメーター”-“音声”“サラウンドパラメーター”-“モード”で選んでください。

マルチチャンネルのソースを再生する場合（Dolby Digital, DTS, AAC など）

【選択できる項目】

STANDARD :

入力信号のフォーマットに応じてデコードし、サラウンド再生するモードです。
STANDARDモードを選んだときの表示は、入力信号やサラウンドバック出力の再生モードによって変わります。

入力信号		ディスプレイ表示
Dolby Digital ソース	DOLBY DIGITAL（2ch 以外）/ DOLBY DIGITAL EX	DOLBY DIGITAL
		DOLBY DIGITAL EX
		DOLBY DIGITAL+PLⅡx CINEMA
		DOLBY DIGITAL+PLⅡx MUSIC
	DOLBY DIGITAL Plus	DOLBY DIGITAL +
	DOLBY TrueHD	DOLBY TrueHD
DTS Surround ソース	DTS（5.1ch）/ DTS-ES Discrete 6.1 / DTS-ES Matrix 6.1 / DTS 96/24	DTS SURROUND
		DTS+PLⅡx CINEMA
		DTS+PLⅡx MUSIC
		DTS+NEO:6
		DTS ES MTRX6.1（＊1）
		DTS ES DSCRT6.1（＊2）
		DTS 96/24（＊3）
	DTS-HD High Resolution Audio	DTS-HD HI RES
	DTS-HD Master Audio	DTS-HD MSTR
MPEG-2 AAC	MPEG-2 AAC（5.1ch）	MPEG2 AAC
		AAC + Dolby EX
		AAC + PLⅡx CINEMA
		AAC + PLⅡx MUSIC
	MPEG-2 AAC（1 + 1ch）	MPEG2 AAC
DVD-Audio, SACD	PCM（multi ch）/ DSD（multi ch）	MULTI CH IN
		MULTI IN+PLⅡx CINEMA
		MULTI IN+PLⅡx MUSIC
		MULTI CH IN 7.1

＊1：入力信号が“DTS-ES Matrix 6.1”で、本機の“AFDM”の設定が“オン”のときに表示されます。
＊2：入力信号が“DTS-ES Discrete 6.1”のときに表示されます。
＊3：入力信号が“DTS 96/24”のときに表示されます。

詳しくは、77、78 ページをご覧ください。

MPEG-2 AAC について

- AAC 放送再生中に再生チャンネル数などの放送内容が切り替わった場合、音声が途中で途切れることがあります。
- テレビやデジタルチューナーなどによっては、AAC 出力が“オフ”になっていたり、AAC 信号を PCM 信号に変換する設定になっている場合があります。
  テレビやデジタルチューナーなどの設定画面で、デジタル音声や AAC 出力の設定をご確認ください。詳しくはそれぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。

❏ **入力信号チャンネル表示について**
プログラムソースにより、入力信号チャンネル表示が点灯します。

- **2チャンネルソース**

LFE
FL C FR
SL S SR
SBL SB SBR

本体の **STANDARD** ボタンまたはリモコンの **STD** ボタンを押すと、“DOLBY PLIIx”モードと“DTS NEO:6”モードを切り替えることができます。

- **5.1チャンネルソース**

LFE
FL C FR
SL S SR
SBL SB SBR

本体の **STANDARD** ボタンまたはリモコンの **STD** ボタンを押すと、5.1 チャンネル再生ができます。
5.1 チャンネルで再生しているときは、“MPEG2 AAC”を表示します。

- **モノラルソース**

本体の **STANDARD** ボタンまたはリモコンの **STD** ボタンを押すと、“MPEG2 AAC”が表示されます。
音声は、センタースピーカーより出力されます。
フロントスピーカーで再生したい場合は、サラウンドモード（“STEREO”など）を選択してください。

- **二重音声ソース**

FL C FR

FL C FR

二重音声の情報がある AAC ソースを再生する場合は、主音声や副音声などの出力内容を選択できます。
詳しくは、「バイリンガルモード」（☞33 ページ）をご覧ください。

DSP シミュレーション再生

10 通りの DENON オリジナルサラウンドの中から、プログラムソースや視聴するシチュエーションに応じてお好みのモードを選ぶことができます。
サラウンドパラメーター（☞43 ～ 45 ページ）を調節することで、よりリアルでパワフルな音場を再現することができます。

【選択できる項目】

7CH STEREO :ステレオサウンドをすべてのスピーカーで楽しむモードです。

WIDE SCREEN :大きなスクリーンで映画を見ているような雰囲気を楽しむモードです。

SUPER STADIUM :スポーツプログラムの観戦に適したモードです。

ROCK ARENA :アリーナのライブコンサートの雰囲気を楽しむモードです。

JAZZ CLUB :ライブハウスでのライブコンサートの雰囲気を楽しむモードです。

CLASSIC CONCERT :クラシックコンサートプログラムの鑑賞に適したモードです。

MONO MOVIE ＊:モノラルの映画ソースをサラウンド再生するモードです。

VIDEO GAME :ビデオゲームのサラウンドに適したモードです。

MATRIX :ステレオの音楽ソースに広がり感を加えて楽しむモードです。

VIRTUAL :フロントスピーカーやヘッドホンでサラウンド効果を楽しむモードです。

＊:“MONO MOVIE”モードでモノラル録音ソースを再生する場合、片チャンネル（左または右）では音が片寄るため、両チャンネルに入力してください。

- 本体の **DSP SIMULATION** ボタンやリモコンの **SIMU** ボタンを押してサラウンドモードを切り替えることもできます。
- 再生するプログラムソースによっては、十分な効果が得られない場合があります。このような場合は、各モードを試してお好みの音場でお楽しみください。

ステレオ再生

【選択できる項目】

STEREO :

音質調節ができるステレオ再生用のモードです。
フロント左/右スピーカーとサブウーハーから音声が出力されます。

本体の **DIRECT/STEREO** ボタンまたはリモコンの **D/ST** ボタンを押すたびに、DIRECT モードと STEREO モードを切り替えることができます。

ダイレクト再生

【選択できる項目】

DIRECT :

音質調節回路を通さず、高音質で再生するモードです。
入力信号のチャンネルのまま音声を出力します。
DIRECTモードを選んだときの表示は、入力信号によって変わります。
また、マルチチャンネルの場合、サラウンドバック出力の再生モードによって変わります。

入力信号	ディスプレイ表示
アナログ信号 PCM (2ch) DOLBY DIGITAL ソース DTS ソース その他の 2ch のデジタル信号	DIRECT
DSD (2ch)	DSD DIRECT (＊)
PCM (multi ch)	MULTI CH DIRECT
	M DIRECT + PLIIx CINEMA
	M DIRECT + PLIIx MUSIC
	M DIRECT 7.1
DSD (multi ch)	DSD MULTI DIRECT (＊)

＊:オーディオパラメーターやスピーカーの設定で DSD 信号が PCM 信号に変換される場合は、“DIRECT”や“MULTI CH DIRECT”の表示になります。

詳しくは、77、78 ページをご覧ください。

ピュアダイレクトモード再生

原音に最も忠実で、極めて高品質な再生ができます。

本体の PURE DIRECT またはリモコンの PURE ボタンを押す。

- 解除するときは、もう一度 **PURE DIRECT** ボタンまたは **PURE** ボタンを押してください。
- PURE DIRECT モード中は GUI 画面は表示されません。また、本体のディスプレイが消灯します。
- HDMI 入力端子を選択すると、PURE DIRECT モードでも映像を出力します。
- PURE DIRECT モード時のチャンネルレベルおよびサラウンドパラメーターは、DIRECT モードと共通になります。

パラメーター

リモコンの **PARA** ボタンを押すと、ダイレクトにパラメーターを呼び出すことができます。

1 サラウンドパラメーター

音場効果を調節します。
調節できるパラメーターは、各サラウンドモードごとに異なります（☞75、76 ページ）。

モード

再生するソースに合わせてモードを選びます。

【選択できる項目】

PLIIx または PLII モード時：**Cinema** **Music** **Game** **Pro Logic** ＊

DTS NEO:6 モード時：**Cinema** **Music**

＊：PLIIモードのときに選べます。

“Music”モードは、ステレオ音楽成分を多く含む映画ソースにも効果的です。

シネマＥＱ

映画のセリフの高域成分をやわらげ、聴きやすくします。

【選択できる項目】 **オン** **オフ**

DRC

ダイナミックレンジ（静かな音と大きな音のレベル差）を適度に圧縮します。

【選択できる項目】 **オート** **弱** **標準** **強** **オフ**

DOLBY TrueHD のときに設定することができます。

ダイナミックレンジ圧縮

ダイナミックレンジ（静かな音と大きな音のレベル差）を適度に圧縮します。

【選択できる項目】 **オフ** **弱** **標準** **強**

DTS ソースを再生する場合は、対応するソフトのみ表示されます。

LFE

低域信号（LFE）レベルの調節をします。

【可変できる範囲】 **-10dB** ~ **0dB**

各プログラムソースを正しく再生するために、次の値に設定することをおすすめします。
- ドルビーデジタルソース：“0dB”
- DTS の映画ソース：“0dB”
- DTS の音楽ソース：“–10dB”

センターイメージ

センターチャンネルの音声を左右に振り分け、前方の音場イメージを広げます。

【可変できる範囲】 0.0 ～ 0.3 ～ 1.0

パノラマ

フロント左右チャンネルの音場をサラウンドチャンネルまで拡大し、前方の音場イメージを広げます。

【選択できる項目】 オン　オフ

ディメンション

音場イメージの中心を前方または後方にシフトし、再生バランスを調節します。

【可変できる範囲】 0 ～ 3 ～ 6

センター幅

センターチャンネルの音声を左右に振り分け、前方の音場イメージを広げます。

【可変できる範囲】 0 ～ 3 ～ 7

ディレイタイム

遅延時間を調節し、音場イメージの大きさを広げます。

【可変できる範囲】 0 ms ～ 30 ms ～ 300 ms

エフェクト

マルチサラウンドスピーカーの効果を持つエフェクト信号を切り替えます。

【選択できる項目】 オン　オフ

エフェクトレベル

エフェクト信号の大きさを調節します。

【可変できる範囲】 1 ～ 10 ～ 15

サラウンド信号の定位感や位相感が不自然に感じる場合は、低いレベルに設定してください。

ルームサイズ

音場の広がり感のイメージを選びます。

【選択できる項目】 小　やや小　標準　やや大　大

ご注意

“ルームサイズ”は、再生する部屋の大きさを表わすものではありません。

AFDM

ソースの識別信号を検出して自動的にサラウンドモードを設定します。
専用の識別信号が記録されたソフトのみに働きます。
再生するソフトがドルビーデジタル EX または DTS-ES で記録されている場合は、6.1 チャンネルで再生し、記録されていない場合は、5.1 チャンネルで再生します。

【選択できる項目】 オン　オフ

【例】ドルビーデジタルソフト（EX フラグあり）の再生

- “AFDM”を“オン”に設定すると、サラウンドモードは自動的に“DOLBY D + PLIIx C”モードになります。
- DOLBY DIGITAL EX モードで再生する場合は、“AFDM”を“オフ”、“サラウンドバック”を“MTRX ON”に設定してください。

ドルビーデジタル EX ソースには、EX フラグが含まれていないものがあります。“AFDM”を“オン”に設定していても、再生モードが自動的に切り替わらない場合は、“サラウンドバック”を“MTRX ON”または“PLIIx CINEMA”に設定してください。

サラウンドバック（マルチチャンネルソースの場合）

サラウンドバックチャンネルの再生方法を選びます。

【選択できる項目】

NON MTRX　MTRX ON　PLIIx CINEMA＊1　PLIIx MUSIC＊2　ES MTRX＊3　ES DSCRT＊4　DSCRT ON　オフ

＊1: GUI メニューの“スピーカー構成”の設定で、“サラウンドバック”が“2 台”のときに選べます（☞29 ページ）。
＊2: GUI メニューの“スピーカー構成”の設定で、“サラウンドバック”が“2 台”または“1 台”のときに設定できます。
＊3: DTS ソースを再生しているときに選べます。
＊4: ディスクリート 6.1 チャンネルの信号の識別信号が含まれている DTS ソースを再生しているときに選べます。

サラウンドバックスピーカーを使用しているときに STANDARD を押すと、“サラウンドバック”の設定を変えることができます。

サラウンドバック（2 チャンネルソースの場合）

サラウンドバックスピーカーを使うか使わないかを設定します。

【選択できる項目】 オン　オフ

サブウーハーアッテネーター

外部入力（EXT.IN）端子使用時のサブウーハーチャンネルのレベルを抑えます。

【選択できる項目】 オン　オフ

スーパーオーディオ CD を再生したときに、サブウーハーチャンネルのレベルが大きいと感じる場合は、“オン”に設定してください。

サブウーハー

サブウーハー出力をするかしないかを設定します。

【選択できる項目】 **オン** **オフ**

初期化

設定を初期化します。

2 トーンコントロール

トーンを調節します。

トーンデフィート

トーンの調節をおこなわない場合に設定します。

【選択できる項目】 **オン** **オフ**

DIRECT モード中は、トーンの調節ができません。

低音

低音のトーンを調節します。

【可変できる範囲】 -6dB ～ +6dB

高音

高音のトーンを調節します。

【可変できる範囲】 -6dB ～ +6dB

“低音”および“高音”は、“トーンデフィート”の設定が“オフ”のときに設定できます。

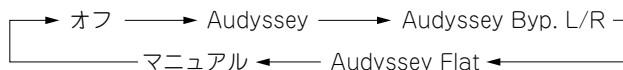
3 ルーム EQ

視聴環境に合わせて、お好みのルームイコライザーの補正効果を選びます。

【選択できる項目】

Audyssey	：すべてのスピーカーの周波数特性を最適に補正します。
Audyssey Byp. L/R	：フロントスピーカー以外のスピーカーの周波数特性を最適に補正します。
Audyssey Flat	：すべてのスピーカーの周波数特性が均一になるように補正します。
マニュアル	：“マニュアル EQ”で調節された周波数特性を適用します（☞33 ページ）。
オフ	：イコライザーを使用しません。

本体やリモコンでも操作できます

本体の **ROOM EQ** ボタンまたはリモコンの **EQ** ボタンを押す。

- “Audyssey”を選んだときには“AUDYSSEY MULTEQ XT”表示が点灯します。
- “Audyssey Byp. L/R”または“Audyssey Flat”を選んだとき、またはオートセットアップの測定結果を変更したときには、“AUDYSSEY MULTEQ XT”表示が点灯します。

- オートセットアップをおこなった後に、“Audyssey”、“Audyssey Byp. L/R”および“Audyssey Flat”を選ぶことができます。
- “オートセットアップ”で“無し”と判定されたスピーカーの設定を変更した場合は、“Audyssey”、“Audyssey Byp. L/R”および“Audyssey Flat”を選ぶことはできません。再度測定してください。
- ヘッドホン使用時、“ルーム EQ”は“オフ”になります。

4 RESTORER

圧縮音声を圧縮前の状態に復元し、低域の量感を補正して豊かに再生します。

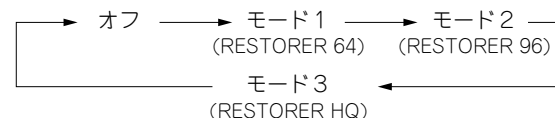
【選択できる項目】

オフ	
モード1	（RESTORER 64）
モード2	（RESTORER 96）
モード3	（RESTORER HQ）

“NET/USB”と“iPod”の初期値は、“モード 3”です。その他は、すべて“オフ”に設定されています。

本体やリモコンでも操作できます

再生中に、本体の **RESTORER** ボタンまたはリモコンの **RSTR** ボタンを押す。

“OFF”以外に設定すると、“RESTORER”表示が点灯します。

RESTORER機能について

- MP3、WMA（Windows Media Audio） や MPEG-4 AAC などの圧縮オーディオフォーマットは、人間の耳には聞こえにくい部分の信号を省いてデータ量を減らしています。RESTORER は、圧縮処理をするときに省かれた信号を生成し、圧縮する前の音に近い状態に復元する機能です。同時に低音域の量感の補正もおこないますので、圧縮オーディオ信号をより豊かに再生することができます。
- 入力ソースが“NET/USB”のとき、またはアナログ入力や PCM 信号（fs = 44.1/48kHz）が入力されたときに GUI メニューに表示され、設定することができます。

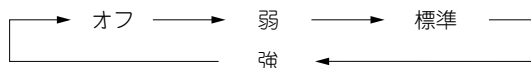
5 ナイトモード

夜間に小音量で音声を聞くときに設定します。

【選択できる項目】 オフ　弱　標準　強

本体やリモコンでも操作できます

本体の **NIGHT** ボタンまたはリモコンの **NGT** ボタンを押す。
“弱”“標準”“強”を選んだときに、“NIGHT”表示が点灯します。

オフ → 弱 → 標準 → 強 → オフ

6 オーディオディレイ

映像と音声の再生タイミングのずれを補正します。

音声を遅らせる時間を設定します。

【可変できる範囲】 0 ms ～ 200 ms

本体やリモコンでも操作できます

① 本体の **AUDIO DELAY** ボタンまたはリモコンの **A. DL** ボタンを押す。
② ◁▷ ボタンを押して、設定する。

- “EXT.IN”、“DIRECT”および“STEREO”モード（フロント：“大”、トーンデフィート：“オン”、ルーム EQ：“オフ”）で再生しているときは、調節できません。
- オートリップシンク補正機能が働いているときは、0 ～ 100ms の範囲で設定できます。

1 コントラスト

映像の明暗の差を調節します。

【可変できる範囲】 -6 ～ 0 ～ +6

2 ブライトネス

映像の明るさを調節します。

【可変できる範囲】 0 ～ +12

3 クロマレベル

色の濃さを調節します。

【可変できる範囲】 -6 ～ 0 ～ +6

4 色合い

緑色と赤色のバランスを調節します。

【可変できる範囲】 -6 ～ 0 ～ +6

- “コントラスト”、“ブライトネス”、“クロマレベル”および“色合い”を設定しても、HDMI 入力信号には効果がありません。
- “色合い”は、コンポジットビデオ、S ビデオ、コンポーネントビデオ 480i/576i の信号に対して調整ができます。
- 設定した値は、入力ソースごとに記憶されます。

【確認できる項目】

選択ソース　ネーム　サラウンドモード　入力モード　端子の割り当て　ルーム E Q　ビデオセレクト　ソースレベル　Rec Select　ナイトモード　RESTRER など

音声入力信号

音声入力信号の情報を表示します。

● メニュー階層 ●

情報
　音声入力信号

【確認できる項目】

サラウンドモード	:設定されているサラウンドモードを表示します。
信号	:入力信号の種類を表示します。
fs	:入力信号のサンプリング周波数を表示します。
フォーマット	:入力信号のチャンネル数（フロント / サラウンド /LFE の有無）を表示します。
オフセット	:ダイアログノーマライゼーションの補正値を表示します。
フラグ	:入力信号がマトリックス処理されている場合は“MATRIX”、ディスクリート処理されている場合は“DISCRETE”を表示します。

ダイアログノーマライゼーション機能について

ドルビーデジタルソースの再生中に、自動的に動作します。
この機能は、プログラムソースごとに異なる標準信号レベルを自動的に補正します。
補正値は、本体の **STATUS** ボタンでも確認できます。

数字は、標準レベルに補正した場合の補正値です。

HDMI情報

HDMIの入出力信号やモニターの情報を表示します。

● メニュー階層 ●

情報
　HDMI情報
　　1 信号情報
　　2 モニター1
　　3 モニター2

1 信号情報

HDMI の入出力信号の情報を表示します。

【確認できる項目】 **解像度** **カラースペース** **ビット数**

2 モニター 1

本機に接続された HDMI モニター 1 の情報を表示します。

3 モニター 2

本機に接続された HDMI モニター 2 の情報を表示します。

【確認できる項目】 **インターフェース** **対応解像度**

オートサラウンドモード

オートサラウンドモードに記憶されている内容を表示します。
入力信号の種類ごとに、ラストメモリーされているサラウンドモードが表示されます。

● メニュー階層 ●

情報
　オートサラウンドモード

【確認できる項目】

アナログ／PCM 2ch **デジタル 2ch** **デジタル 5.1ch** **マルチチャンネル**

クイックセレクト

クイックセレクトに記憶している内容を表示します。

【確認できる項目】

選択ソース **入力モード** **ルームＥＱ** **オートサラウンドモード** **音量レベル** **ネーム**

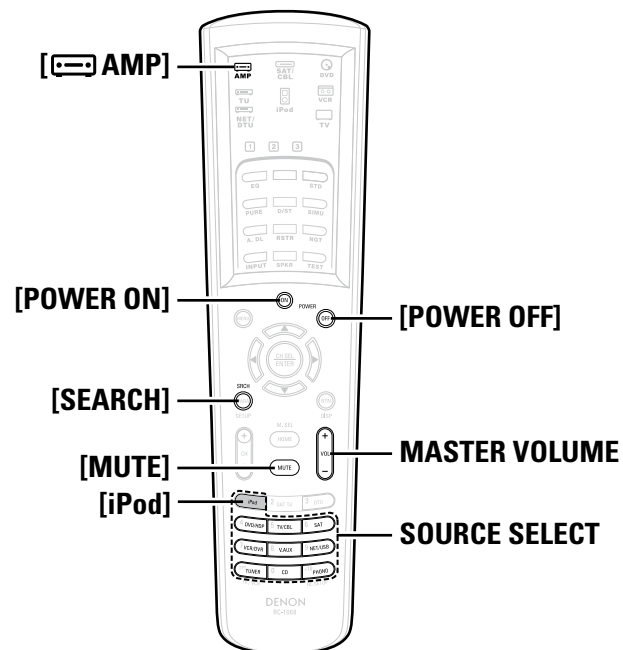
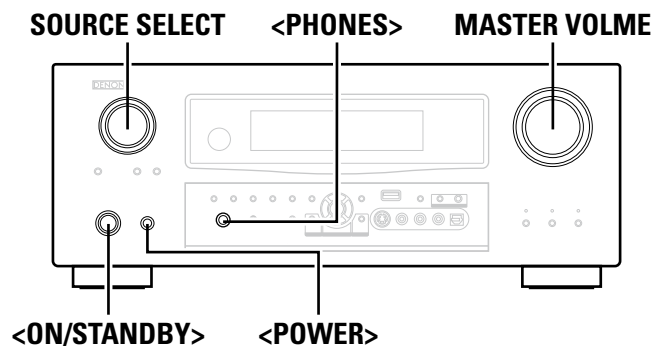
クイックセレクト 1 ～ 3 への記憶のしかたは、60 ページをご覧ください。

プリセットチャンネル

プリセットステーションを表示します。

【入力ソース】 **NET/USB**

【選択できる項目】 **A1 ～ G8**

本体の **STATUS** ボタンを押しても、本機の状態を確認することができます。

操作説明のボタン名について

<　　　>：本体のボタン
[　　　]：リモコンのボタン
ボタン名のみ：本体とリモコンのボタン

再生のしかた

準備

電源を入れる

1 **<POWER> を押す。**
電源表示が赤色に点灯して、電源がスタンバイ状態になります。

2 **<ON/STANDBY> または [POWER ON] を押す。**
電源表示が緑色に点滅して、電源が入ります。

本機をリモコンで操作する場合は、リモコンをアンプモードにしてください（☞62 ページ「リモコン操作」）。

電源を切る

① **<ON/STANDBY>** または **[POWER OFF]** を押す。
電源がスタンバイ状態になります。
② **<POWER>** を押す。
電源表示が消灯して、電源が切れます。

ご注意

電源をスタンバイ状態にしても、一部の回路は通電しています。長期間の外出やご旅行の場合は、**<POWER>** を押して電源を切るか、電源プラグをコンセントから抜いてください。

再生中にできる操作

主音量の調節

<MASTER VOLUME> を回すか、[MASTER VOLUME] を押す。

一時的に音を消す（ミューティング）

[MUTE] を押す。

解除するときは、もう一度 **[MUTE]** を押してください。（主音量を調節しても解除することができます。）

ヘッドホンで音を聴く

<PHONES> に、ヘッドホンのプラグを差し込む。
自動的にスピーカーおよびプリアウト端子から音が出なくなります。

ご注意

ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げ過ぎないようにご注意ください。

映像機器や音声機器の再生

基本操作

1 準備をする。

① DVD や CD などのソフトをセットする。
（☞ 各機器の取扱説明書）
② 映像機器を再生する場合は、モニターの入力を切り替える。
（☞ モニターの取扱説明書）

2 リモコンで操作する場合は、リモコンをアンプモードにする。
（☞62 ページ「リモコン操作」）

3 SOURCE SELECT を使って、本機の入力ソースを切り替える。

GUI ：**"ソース選択"** （☞40ページ）

4 再生をはじめる。
（☞ 各機器の取扱説明書）

iPod® を再生する

iPod 用コントロールドック（ASD-1R、別売り）を使用することにより、iPod の音楽を再生することができます。また、GUI 画面を見ながら、本体やリモコンボタンからも操作することができます。

Made for iPod　iPodは、米国およびその他の国々で登録されたApple Inc.,の商標または登録商標です。

※ iPod は、著作権のないコンテンツまたは法的に複製、再生を許諾されたコンテンツを個人が私的に複製、再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。

基本操作

1 準備をする。

① DENON 製 iPod 用コントロールドックに、iPod をセットする。
（☞iPod 用コントロールドックの取扱説明書）
② iPod dock の入力を割り当てる。

GUI ：**"ソース選択"－"(入力ソース)"－"端子の割り当て"－"iPod dock"** （☞42ページ）

2 <SOURCE SELECT> を回すか、[iPod]（アンプモード）を押して、操作 1-②で割り当てた入力ソースを選ぶ。

（iPod の画面 ）

※ 上記の画面が表示されない場合は、iPodが正しく接続されていない可能性があります。再度接続をやり直してください。

GUI ：**"ソース選択"－"(入力ソース)"－"プレイ"** （☞40ページ）

3 リモコンで操作する場合は、リモコンをiPodモードにする。
（☞62ページ「リモコン操作」）

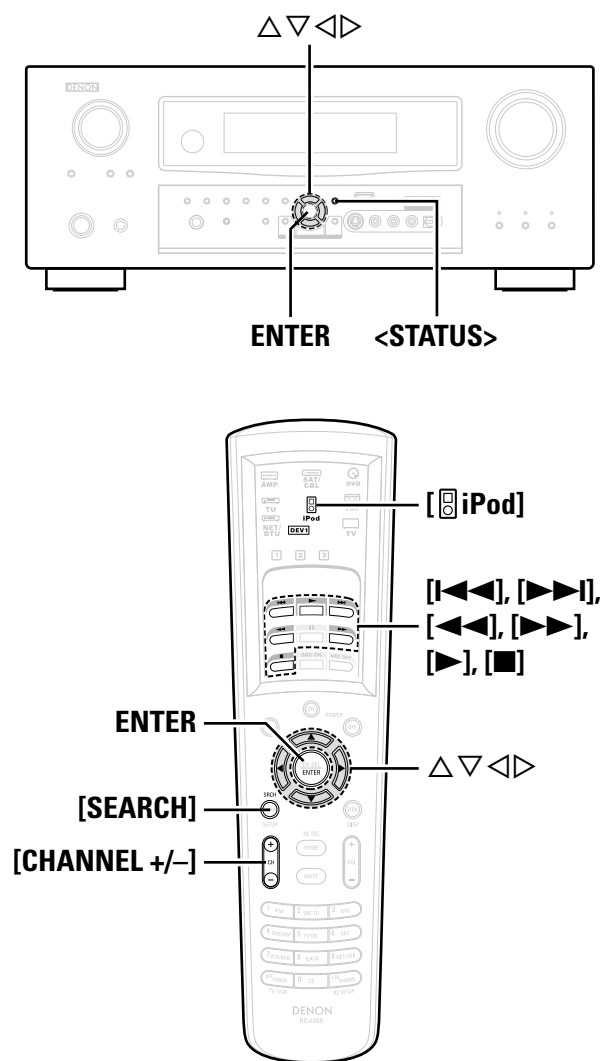
4 [SEARCH] を 2 秒以上長押しして、表示モードを選ぶ。
長押しするたびに、モードが切り替わります。
リモートモードのときには、"Remote" が表示されます。

【表示モード】		ブラウズモード	リモートモード
表示するディスプレイ		本機のディスプレイ	iPod のディスプレイ
再生できるファイル	音声ファイル	○	○
	映像ファイル	×	○ ＊
操作できるボタン	本機のリモコン	○	○
	iPod	×	○

＊：ASD-1RとiPodの組み合わせによっては、映像が出力されない場合があります。

- お買い上げ時は、iPod 用コントロールドックを VCR（iPod）端子に接続してお使いいただけます。
- 圧縮オーディオの低域や高域を拡張してより豊かな再生をするには、RESTORER モードをおすすめします（☞47 ページ）。お買い上げ時は"モード 3"になっています。
- iPod は、**<ON/STANDBY>** で本機の電源をスタンバイ状態にしてから、取り外してください。iPod dock の入力を割り当てていない入力ソースに切り替えても取り外すことができます。

ご注意

- iPod の種類またはソフトウェアのバージョンによっては、機能の一部が動作しない場合があります。
- 万一、iPod のデータが消失または損傷しても、当社は一切責任を負いません。

操作説明のボタン名について

<　　　>	本体のボタン
[　　　]	リモコンのボタン
ボタン名のみ	本体とリモコンのボタン

音楽を聴く

1 △▽ でメニューを選び、ENTER または ▷ で再生したい音楽ファイルを選ぶ。

2 ENTER または ▷ を押す。
再生がはじまります。

一時停止するには

再生中に **ENTER** または **[▶]** を押す。
もう一度押すと、再生を再開します。

早送りや早戻しするには

再生中に △（早戻し）または ▽（早送り）を長押しするか、**[◀◀]** または **[▶▶]** を押す。

頭出しするには

再生中に △（前の曲の頭出し）または ▽（次の曲の頭出し）を押すか、**[I◀◀]** または **[▶▶I]** を押す。

停止するには

再生中に **ENTER** を長押しするか、**[■]** を押す。

リピート再生するには

[CHANNEL –] を押す。

【選択できる項目】 すべて　1 曲　オフ

GUI ： “ソース選択” - “(入力ソース)” - “再生モード (iPod)” - “リピート”（☞41ページ）

シャッフル再生するには

[CHANNEL +] を押す。

【選択できる項目】 アルバム　曲　オフ

GUI ： “ソース選択” - “(入力ソース)” - “再生モード (iPod)” - “シャッフル”（☞41ページ）

ページを切り替えるには

[SEARCH] を押してから、◁（ページダウン）または ▷（ページアップ）を押す。

- 解除する場合は、△▽ または **[SEARCH]** を押してください。

Browse モードと Remote モードを切り替えるには

[SEARCH] を長押しする。

- 再生中に **<STATUS>** を押すと、タイトル名、アーティスト名およびアルバム名を確認できます。
- 本機は、フォルダ名とファイル名をタイトルのように表示することができます。ディスプレイ表示に対応していない文字は、“.（ピリオド）”に置き換えて表示します。
- GUI メニューの “マニュアル設定” - “その他の設定” - “GUI” - “iPod”（☞37 ページ）で、GUI メニューの表示時間を設定することができます。

iPod の静止画像やビデオを見る

iPod に保存してある写真やビデオのデータをモニターで見ることができます。（スライドショーやビデオ機能がある iPod のみ）

1 [SEARCH] を長押しして、Remoteモードにする。
“Remote iPod” が本機のディスプレイに表示されます。

2 iPodの画面を見ながら △▽ を押して、“写真” または “ビデオ” を選ぶ。

3 再生したい画像が表示されるまで、ENTERを押す。

- iPod の写真データやビデオデータをモニターに映し出すには、iPod の “スライドショー設定” または “ビデオ設定” の “TV 出力” を “オン” に設定する必要があります。詳しくは、iPod の取扱説明書をご覧ください。
- リモコンで操作できない場合は、iPod 本体で操作してください。

ネットワークオーディオや USB メモリーデバイスを再生する

インターネットラジオやパソコンまたは USB メモリーデバイスに保存されている音楽ファイルを再生することができます。

❑インターネットラジオ機能について

- インターネットラジオとは、インターネット上に配信されているラジオ放送です。世界中のインターネットラジオ放送を聴くことができます。
  本機には、次のインターネットラジオ機能があります。
  - ジャンル別、地域別に選べます。
  - 最大 56 曲のインターネットラジオ局をプリセット登録できます。
  - MP3 や WMA（Windows Media Audio）フォーマットのインターネットラジオ放送を聴くことができます。
  - パソコン上の Web ブラウザから当社のインターネットラジオ用の URL にアクセスすると、お気に入りのラジオ局を登録することができます。
    ※お客様の機器ごとに管理をしますので、MAC アドレスや E-mail アドレスの登録が必要になります。
    専用 URL：http://www.radiodenon.com
    ※ラジオ局データベースサービスは、予告なく停止する場合があります。
- 本機のインターネットラジオ局リストは、ラジオ局データベースサービス（vTuner）を利用しています。このデータベースサービスは、本機用に編集および作成されたリストです。

❑ミュージックサーバー機能について

ネットワークを経由して、本機と接続されたパソコン（ミュージックサーバー）に保存された音楽ファイルまたはプレイリスト（m3u、wpl）を再生することができます。
本機のネットワークオーディオ再生機能には、次の技術を利用してサーバーに接続できます。
- Windows Media Player Network Sharing Service
- Windows Media DRM10

“Windows Media Player ver.11”のインストール方法

① Windows XP Service Pack 2 のインストールが終了していない場合は、マイクロソフト社から無料のダウンロードをおこなうか、Windows アップデートインストーラを経由しておこないます。
② マイクロソフト社から直接、または Windows アップデートインストーラを使用して、Windows Media Player ver.11 の最新版をダウンロードします。
※ Windows Vista をご使用の場合は、新たにダウンロードする必要はありません。

❑USB メモリーデバイスについて

本機の USB 端子に USB メモリーデバイスを接続することで、USB メモリーデバイスや USB ハードディスクドライブに保存された音楽や静止画像ファイルを再生することができます。
- 本機は、マスストレージクラスおよび MTP（Media Transfer Protocol）に対応している USB メモリーデバイスのみ再生できます。
- USB メモリーデバイスのフォーマットは、FAT16 または FAT32 に対応しています。

【再生可能なフォーマット】

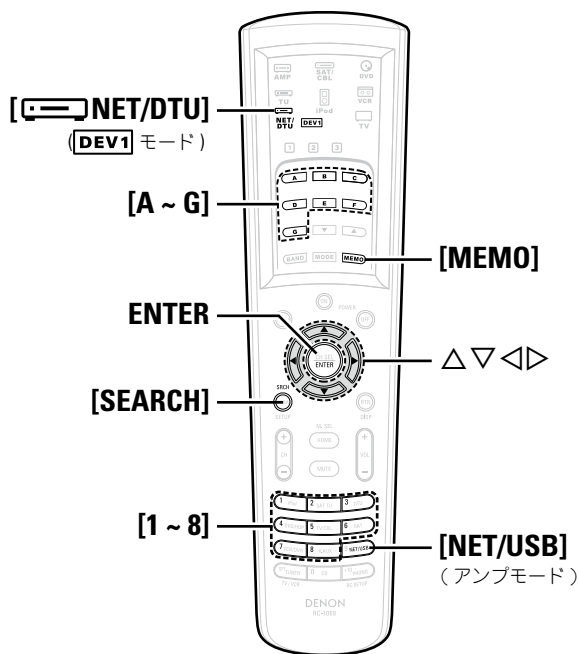
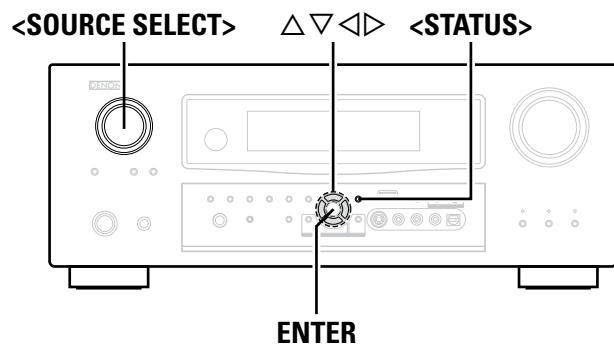
	インターネットラジオ	ミュージックサーバー ※	USB ※
WMA（Windows Media Audio）	○	○	○*
MP3（MPEG-1 Audio Layer-3）	○	○	○
WAV	–	○	○
MPEG-4 AAC	–	○*	○*
FLAC（Free Lossless Audio Codec）	–	○	○

ネットワーク経由での音楽ファイルの再生には、そのフォーマットの配信に対応したサーバまたはサーバソフトウェアが必要です。

*: 著作権保護の無いファイルのみ再生できます。
インターネット上の有料音楽サイトからのダウンロードコンテンツには著作権保護がかかっています。また、パソコンで CD などからリッピングする際に WMA でエンコードすると、パソコンの設定により著作権保護がかかる場合があります。

※ミュージックサーバーと USB メモリーデバイスについて
- WMP3 ID3-Tag（Ver.2）に対応しています。
- WMA META タグに対応しています。

	サンプリング周波数	ビットレート	拡張子
WMA（Windows Media Audio）	32/44.1/48 kHz	48 ～ 192 kbps	.wma
MP3（MPEG-1 Audio Layer-3）	32/44.1/48 kHz	32 ～ 320 kbps	.mp3
WAV	32/44.1/48 kHz	–	.wav
MPEG-4 AAC	32/44.1/48 kHz	16 ～ 320 kbps	.aac/.m4a/.mp4
FLAC（Free Lossless Audio Codec）	32/44.1/48 kHz	–	.flac

WAV フォーマットの量子化ビット数は、16 ビットです。

操作説明のボタン名について

<　　　>：本体のボタン
[　　　]：リモコンのボタン
ボタン名のみ：本体とリモコンのボタン

基本操作

1 準備をする。

① ネットワーク環境を確認してから、本機の電源を入れる。（☞22ページ「ネットワークオーディオ」）
② 設定が必要な場合は、“ネットワーク設定”をおこなう。（☞34、35ページ「ネットワーク設定」）
③ パソコンの準備をする。（☞パソコンの取扱説明書）
・“Windows Media Player ver.11”をインストールする。（☞53ページ「“Windows Media Player ver.11”のインストール方法」）

2 <SOURCE SELECT> を回すか、[NET/USB]（アンプモード）を押して、本機の入力ソースを“NET/USB”に切り替える。

GUI：“ソース選択”-“NET/USB”-“プレイ”（☞40ページ）

3 リモコンで操作する場合は、リモコンの操作モードを“NET/DTU”（DEV1）にする。
（☞62ページ「リモコン操作」）

4 △▽でメニューを選び、ENTER または ▷で再生したい音楽ファイルを選ぶ。

5 ENTER または ▷を押す。
再生がはじまります。

一時停止するには

再生中に **ENTER** を押す。
- もう一度押すと、再生を再開します。

停止するには

再生中や一時停止中に、**ENTER** を長押しする。

ページを切り替えるには

[SEARCH] を押してから、◁（ページダウン）または ▷（ページアップ）を押す。
- 解除する場合は、△▽ または **[SEARCH]** を押してください。

頭文字で検索するには

インターネットラジオやパソコンに保存されたファイルのメニュー画面から、項目を選ぶ場合に便利です。
① メニュー画面が表示されているときに、**[SEARCH]** を 2 回押す。
② ◁ ▷ で検索したい頭文字を選ぶ。
- 選んだ頭文字ではじまる項目が複数ある場合には、アルファベット順に表示します。
- 検索できないリストの場合は、“Unsorted list...”を表示します。

- 圧縮オーディオの低域や高域を拡張してより豊かな再生をするには、RESTORER モードをおすすめします（☞47 ページ）。お買い上げ時は、“モード 3”に設定されています。
- GUI メニューの“マニュアル設定”-“その他の設定”-“GUI”-“NET/USB”で、GUI の表示時間を設定することができます（☞37 ページ）。
- **<STATUS>** でタイトル名、アーティスト名およびアルバム名を切り替えて表示することができます。
- 曲の表示順は、サーバーの仕様によって異なります。サーバーの仕様によって、曲の表示順がアルファベット順にならない場合は、頭文字での検索が正しく動作しないことがあります。

インターネットラジオを聴く

1 **△▽を押して“Internet Radio”を選び、ENTER または ▷ を押す。**

2 **△▽を押して再生したい項目を選び、ENTER または ▷ を押す。**
ステーションリストを表示します。

3 **△▽を押して放送局を選び、ENTER または ▷ を押す。**
バッファリングが“100%”表示になると、再生がはじまります。

- インターネット上には数多くのインターネットラジオ局があり、各ラジオ局から配信される放送や楽曲のビットレートには高低様々なものがあります。
  一般的に、ビットレートが高いほど高音質になりますが、通信回数やサーバーの混雑具合によってはストリーミングしている音楽や音声が途切れやすくなります。
  逆にビットレートが低ければ音質は低下しますが、途切れにくくなります。
- 放送局が混雑している場合や放送されていない場合に、“Server Full”または“Connection Down”を表示します。
- 本機ではフォルダ名とファイル名をタイトルのように表示することができます。ディスプレイ表示に対応していない文字は、“.（ピリオド）”に置き換えて表示します。

最近再生したインターネットラジオ局

トップメニューの “Recently Played” から、最近再生したインターネットラジオ局を 選ぶことができます。

1 **△ ▽ で“Recently Played” を 選 び、ENTER または ▷ を押す。**

2 **△ ▽ で最近再生したインターネットラジオ局を選び、ENTER または ▷ を押す。**

最大 20 局まで“Recently Played”へ自動的に記憶することができます。

インターネットラジオ局をプリセット登録する

インターネットラジオ局をダイレクトに選ぶことができます。

1 **登録したいインターネットラジオ局を再生中に、[MEMO] を押す。**

2 **△▽で“プリセット”を選び、ENTER を押す。**

3 **[A ~ G] を押した後に [1 ~ 8] を押して、プリセット番号を選ぶ。**
インターネットラジオ局を登録します。

ご注意

すでにプリセットされている番号に登録すると、前に登録されていた内容は消去されます。

登録したインターネットラジオ局を聴く

入力ソースが“NET/USB”のとき、[A ~ G] を押した後に [1 ~ 8] を押して、登録したプリセット番号を選ぶ。
自動的にインターネットに接続して、再生をはじめます。

インターネットラジオ局をお気に入りに登録する

お気に入りはメニュー画面の先頭にリストアップされますので、登録すると選局が容易にできます。

1 **登録したいインターネットラジオ局を再生中に、[MEMO]を押す。**

2 **△▽で“お気に入り”を選び、ENTER を押す。**

3 **◁ を押して、“登録”を選ぶ。**
インターネットラジオ局を登録します。
登録しない場合は、▷ を押してください。

お気に入りに登録したインターネットラジオ局を聴く

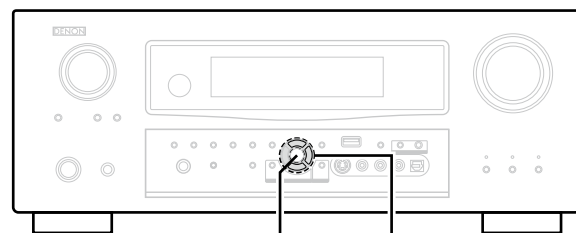
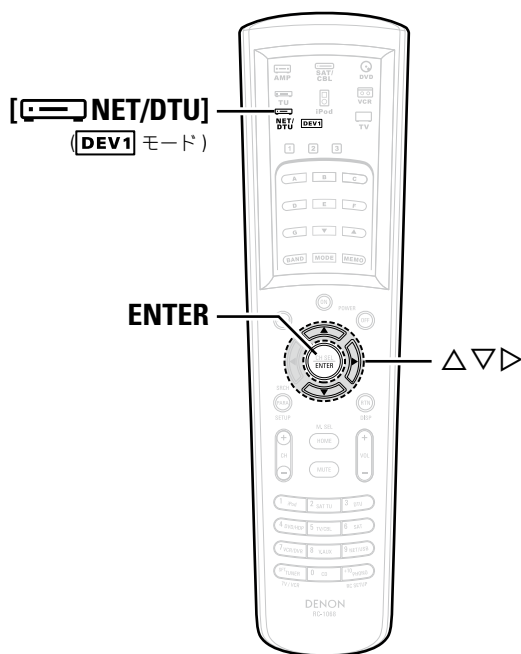
1 **△▽で“Favorites”を選び、ENTER または ▷ を押す。**

2 **△▽でお好みのインターネットラジオ局を選び、ENTER または ▷ を押す。**
自動的にインターネットに接続して、再生をはじめます。

お気に入りに登録したインターネットラジオ局を削除する

1 **△▽で“Favorites”を選び、ENTER または ▷ を押す。**

2 **△ ▽ で削除したいインターネットラジオ局を選び、[MEMO] を押す。**

3 **◁ を押して、“削除”を選ぶ。**
選ばれたインターネットラジオ局を削除します。
削除を取り消す場合は、▷ ボタンを押してください。

操作説明のボタン名について
< >：本体のボタン
[ ]：リモコンのボタン
ボタン名のみ：本体とリモコンのボタン

パソコンに保存されている音楽ファイルを再生する

音楽ファイルやプレイリストを再生することができます。

1 **△▽で再生したいファイルのあるパソコンのホスト名を選び、ENTER または ▷ を押す。**

2 **△▽で検索項目またはお好みのフォルダを選び、ENTER または ▷ を押す。**

3 **△▽でお好みのファイルを選び、ENTER または ▷ を押す。**
バッファリングが“100%”表示になると、再生がはじまります。

曲を選ぶには

再生中に △（前の曲）または ▽（次の曲）を押す。

- 音楽ファイルの再生には、必要なシステムとの接続および設定が必要です（☞22、34、35 ページ）。
- あらかじめパソコンのサーバーソフトを起動し、ファイルをサーバーコンテンツとして設定してください。詳しくは、サーバーソフトの取扱説明書をご覧ください。

プリセットやお気に入りに登録して再生する

音楽ファイルについてもインターネットラジオと同様の操作で、プリセットやお気に入りに登録して再生することができます。

ご注意

- プリセットに登録した内容は、上書きをして消去します。
- 下記の操作をおこなうと、ミュージックサーバーのデータベースが更新され、プリセットやお気に入りに登録した音楽ファイルが再生できなくなる場合があります。
  - ミュージックサーバーを停止し、再起動した場合
  - ミュージックサーバーで音楽ファイルを削除または追加した場合

USB メモリーデバイスに保存されているファイルを再生する

本機は、マスストレージクラスおよび MTP（Media Transfer Protocol）に対応している USB メモリーデバイスのみ再生することができます。

基本操作

1 **準備する。**
- 使用するUSB端子を設定する。

GUI：**“ソース選択”-“NET/USB”-“再生モード”-“USB 端子の選択”**（☞42ページ）

- USBメモリーデバイスを設定したUSB端子に接続する。

2 **△▽で“USB”を選び、ENTER または ▷ を押す。**

3 **△▽で検索項目またはお好みのフォルダを選び、ENTER または ▷ を押す。**

4 **△▽でお好みのファイルを選び、ENTER または ▷ を押す。**
バッファリングが“100%”表示になると、再生がはじまります。

リピート再生するには

【選択できる項目】 **すべて** **1 曲** **オフ**

GUI ： "ソース選択" - "NET/USB" - "再生モード" - "リピート"（☞42ページ）

ランダム再生するには

【選択できる項目】 **オン** **オフ**

GUI ： "ソース選択" - "NET/USB" - "再生モード" - "ランダム"（☞42ページ）

曲を選ぶには

再生中に △（前の曲）または ▽（次の曲）を押す。

- お買い上げ時は前面の USB 端子が設定されています。
- USB メモリーデバイスが複数のパーティションに分かれている場合は、先頭のパーティションのみ選べます。
- 本機で対応している MP3 ファイルの規格は、「MPEG-1 Audio Layer-3」です。

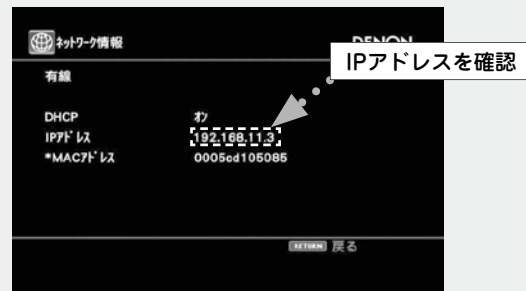
ご注意

- 本機は、前面と背面に USB 端子を 1 つずつ備えています。両方同時に接続して使用することはできません。"ソース選択" – "NET/USB" – "再生モード" – "USB 端子の選択" で、お使いになりたい方の端子に設定してください（☞42 ページ）。
- USB メモリーデバイスを本機と接続して使用しているときに、万一 USB メモリーデバイスのデータが消失または損傷した場合、当社は一切責任を負いません。
- USB メモリーデバイスは USB ハブ経由では動作しません。
- すべての USB メモリーデバイスに対して、動作および電源の供給を保証するものではありません。USB 接続タイプのポータブル HDD で、AC アダプターを接続して電源が供給できるタイプのものをお使いになる場合は、AC アダプターのご使用をおすすめします。
- 本機の USB 端子とパソコンを USB ケーブルで接続して使用することはできません。
- 本機は、iPod Shuffle には対応していません。

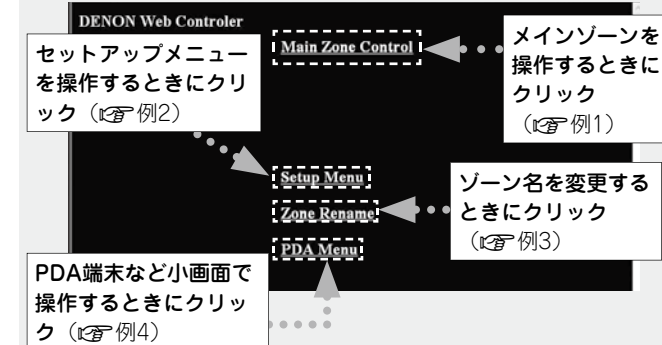
ブラウザを使用して本機を操作する（ウェブコントロール）

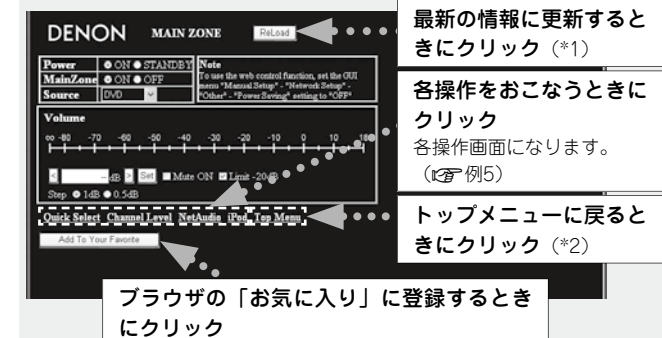
インターネットエクスプローラを使用して、本機を操作することができます。

1 GUIメニューの "マニュアル設定" - "ネットワーク設定" - "その他の設定" - "省電力モード" の設定を "オフ" にする（☞35ページ）。

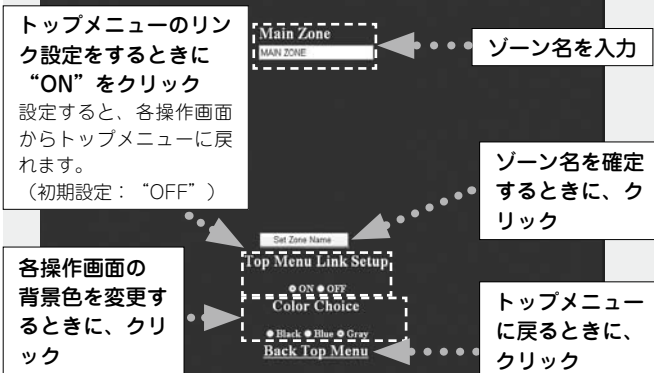
2 GUIメニューの "マニュアル設定" - "ネットワーク設定" - "ネットワーク情報" で、本機のIPアドレスを確認する（☞35ページ）。

3 インターネットエクスプローラのアドレスに、本機のIPアドレスを入力する。

例えば、本機のIPアドレスが "192.168.11.3" の場合は、"http://192.168.11.3" と入力してください。

4 トップメニューが表示されたら、操作したいメニューをクリックする。

5 操作する。

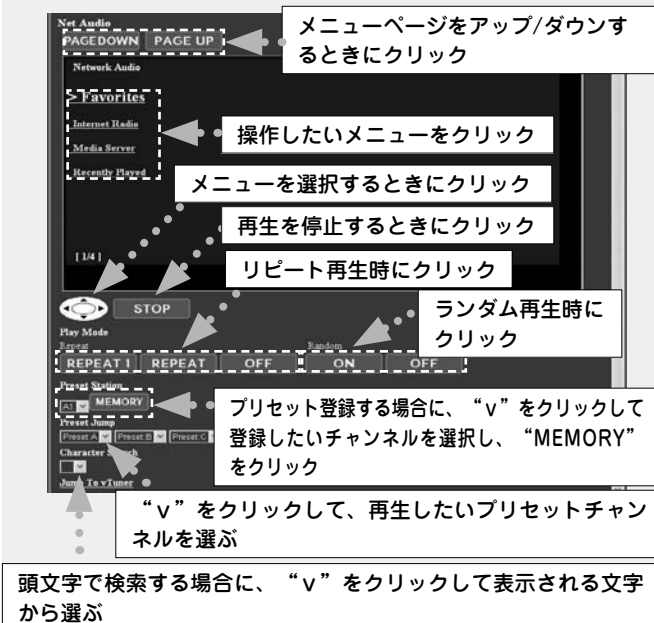
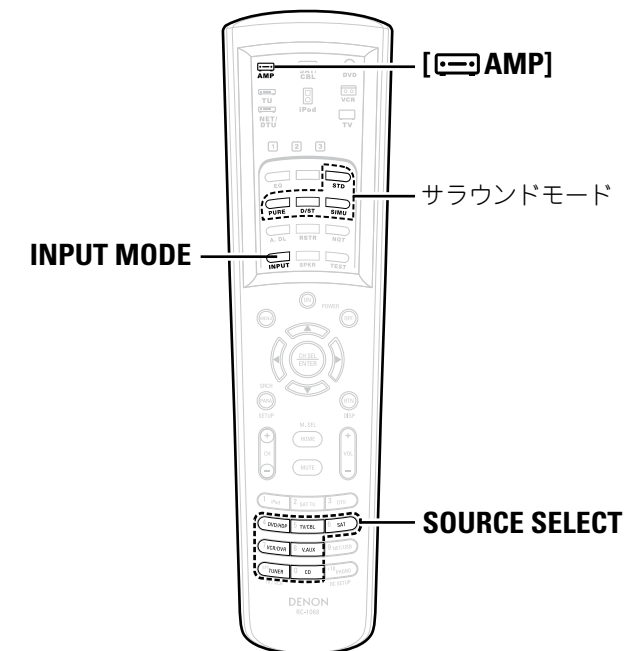
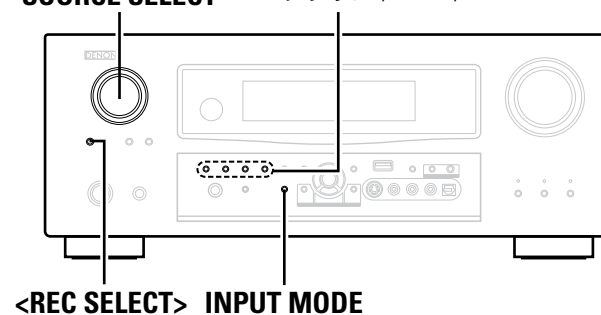
【例 1】メインゾーンコントロール画面

*1：通常は操作するたびに、最新の情報に切り替わります。本体側で操作された場合は、画面は更新されませんので、クリックしてください。

*2：【例3】で "Top Menu Link Setup" を "ON" に設定すると、表示されます。

【例 2】セットアップメニュー画面

【例 4】PDA メニュー画面

ご注意

PDA メニュー画面では、セットアップメニュー操作やゾーン名の変更はできません。

【例 5】Net Audio 操作画面

操作説明のボタン名について

<　　　>：本体のボタン
[　　　]：リモコンのボタン
ボタン名のみ：本体とリモコンのボタン

その他の操作や機能

その他の操作

スーパーオーディオ CD の再生

1 **“デジタル端子”や“HDMI 端子”の設定（☞42ページ）で“DENON LINK”または“HDMI”を割り当てる。**

2 **<SOURCE SELECT> を回すか、[SOURCE SELECT] を押して、操作1で割り当てた入力ソースを選ぶ。**
ディスプレイの“D.LINK”または“HDMI”表示が点灯します。

3 **INPUT MODE で“オート”を選ぶ（☞40ページ）。**
入力モードは、録音するプログラムソースに合わせて選んでください。

4 **サラウンドモードを選ぶ（☞43~45ページ）。**
DIRECTモードでの再生をおすすめします。

5 **スーパーオーディオCDを再生する。**
ディスプレイの“DSD”表示が点灯します。
操作のしかたは、機器の取扱説明書をご覧ください。

- DSD 信号を DIRECT モードや PURE DIRECT モードで再生する場合は、DSD 信号のままアナログ変換されます。それ以外のサラウンドモードで再生する場合は、DSD 信号を一度 PCM 変換してからアナログ変換されます。
- DSD の 2 チャンネル信号を DIRECT モードで再生すると、ディスプレイに“DSD DIRECT”と表示されます。また、DSD マルチチャンネル信号を DIRECT モードで再生すると、ディスプレイに“DSD MULTI DIRECT”と表示されます。

外部機器での録音 / 録画（REC OUT モード）

再生中の曲を聴きながら、別のプログラムソースを録音 / 録画することができます。

1 **<REC SELECT> を押す。**
ディスプレイに“RECOUT SOURCE”が表示されます。

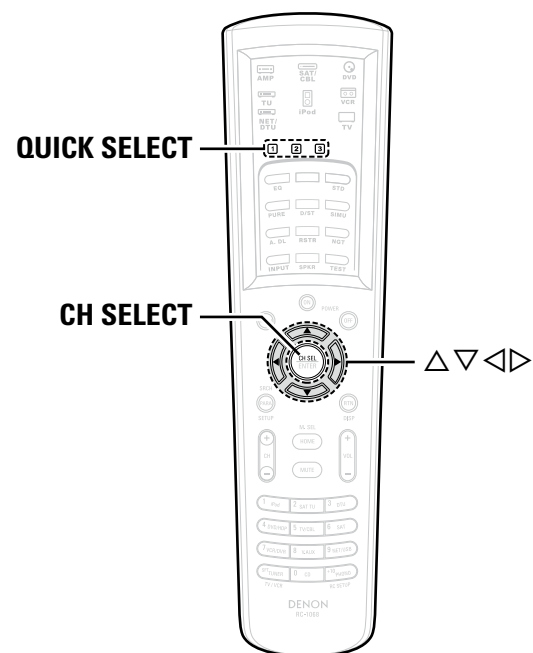
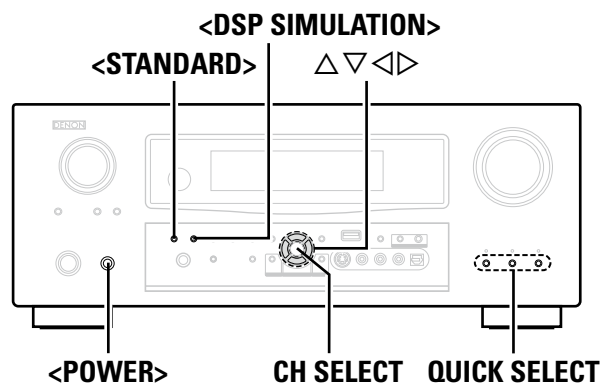
2 **<SOURCE SELECT> を回し、録音/録画したい入力ソースを選ぶ。**
“REC”表示が点灯します。

3 **プログラムソースを再生する。**
操作のしかたは、機器の取扱説明書をご覧ください。

4 **録音/録画をはじめる。**
操作のしかたは、機器の取扱説明書をご覧ください。

- 解除する場合は、**<REC SELECT>** を押してから、ディスプレイに“RECOUT SOURCE”が表示されるまで、**<SOURCE SELECT>** を回してください。
- 録音 / 録画する前に、あらかじめ「試し録音」や「試し録画」をおこなってください。
- デジタル入力端子（OPTICAL/COAXIAL）から入力されたデジタル信号が PCM（2 チャンネル）の場合のみ、アナログ REC OUT 端子に出力されます。
- DENON LINK 端子や HDMI 端子から入力されたデジタル音声信号は、REC OUT 端子に出力されないため、OPTICAL 端子や COAXIAL 端子を使用して接続してください。
- Network Audio（インターネットラジオ、ミュージックサーバー、USB）信号に著作権保護があるデジタル音声は出力されません。

ご注意

- あなたが録音したものは、個人で楽しむ場合以外は、著作権者に無断で使用することはできません。
- “DENON LINK”を割り当てた入力ソースを選んでいる場合は、デジタル入力端子から入力された PCM 信号やネットワークオーディオ（インターネットラジオ , ミュージックサーバーおよび USB）信号をアナログ REC OUT 端子から出力することができません。
- “使用ソースの選択”で“使用しない”に設定した入力ソースは選択できません。

操作説明のボタン名について

<　　　>：本体のボタン
[　　　]：リモコンのボタン
ボタン名のみ：本体とリモコンのボタン

便利な機能

チャンネルレベルの調節

再生するプログラムソースまたはお好みに合わせて、各チャンネルレベルの調節をおこなってください。

1 **CH SELECT を押す。**

2 **△▽ または CH SELECT でスピーカーを選ぶ。**
ボタンを押すたびにスピーカーが切り替わります。

3 **◁ ▷ で音量を調節する。**
サブウーハーの音量は、“-12dB”に設定されているときに、◁ を押すと“オフ”に設定することができます。

フェーダー機能

フロント側またはリア側のスピーカーの音量をまとめて調節（減衰）します。

1 **CH SELECT を押す。**

2 **△▽ または CH SELECT で、“フェーダー”を選ぶ。**

3 **◁ ▷ でスピーカーの音量を調節する。**
（◁：フロント側、▷：リア側）

- フェーダー機能は、サブウーハーには働きません。
- 一番小さい値に調節されているスピーカーの音量が、-12dB になるまで調節できます。

クイックセレクト機能

現在再生中の入力ソースや入力モード、サラウンドモード、ルーム EQ、音量を記憶させます。

1 **入力ソースや入力モード、サラウンドモード、ルームEQ、音量を記憶させたい状態にする。**

2 **クイックセレクト表示が点灯するまで、QUICK SELECT を長押しする。**

【お買い上げ時の設定】

	入力ソース	音量
クイックセレクト1	DVD	-40 dB
クイックセレクト2	TV/CBL	-40 dB
クイックセレクト3	VCR	-40 dB

- 設定を呼び出すときは、呼び出したい設定が記憶されている **QUICK SELECT** を押してください。
- クイックセレクトの名前を変更することができます（☞37 ページ）。

ご注意

GUI メニューの“マニュアル設定”-“その他の設定”-“使用ソースの選択”（☞36 ページ）で、クイックセレクトに記憶させている入力ソースを削除すると、そのクイックセレクトの設定も削除されます。この場合は、再度記憶させてください。

パーソナルメモリープラス機能

最後に選ばれた入力モードやサラウンドモードの設定を、入力ソースごとに設定します。
入力ソースに切り替えると、自動的に前回使用されたときの設定になります。

サラウンドパラメーター、トーンコントロール、ルーム EQ の設定および各スピーカーの音量は、サラウンドモードごとに記憶します。

ラストファンクションメモリー

スタンバイにする直前の各種設定を記憶します。
再び電源を入れると、スタンバイにする直前の設定になります。

バックアップメモリー

電源を切ったり、電源コードを抜いた場合でも、各種設定をバックアップして約 1 週間保持します。

マイコンの初期化

表示が正しくない場合や操作ができない場合などにおこないます。
マイコンを初期化すると、各種ボタンの設定内容がすべてお買い上げ時の設定になります。

1 **<POWER> を押して電源を切る。**

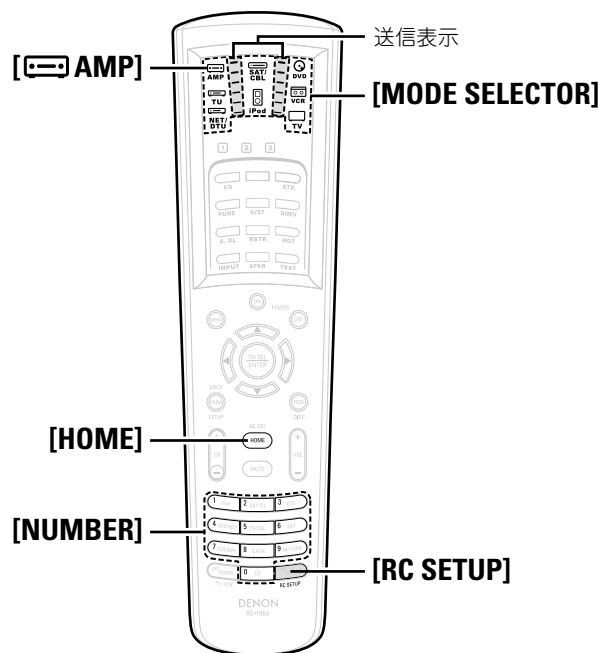
2 **<STANDARD> と <DSP SIMULATION> を同時に押しながら、<POWER> を押す。**

3 **ディスプレイ表示が約1秒間隔で点滅したら、2つのボタンから指を離す。**

操作 3 でディスプレイ表示が約 1 秒間隔で点滅しない場合は、もう一度操作 1 からやり直してください。

リモコン操作

リモコンの操作

- リモコンは、操作する機器やモードに応じて表示が切り替わります。
- iPod 以外のモードは、**[MODE SELECTOR]** を押すたびに、“DEV1” および “DEV2” が切り替わります。
- “AMP”、“NET/DTU” および “iPod” モードに、リモートID を設定すると、DENON 製アンプが複数台ある環境でも、本機を単独で使用することができます。

お手持ちの機器の形式や年式によって、操作できないボタンがあります。

ご注意

設定中は、デバイスモード（“DEV1” または “DEV2”）の切り替えはできません。

DENON 製オーディオ機器を操作する

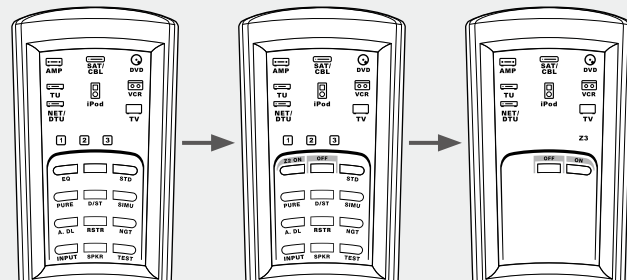
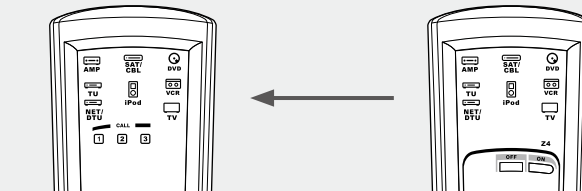
1 操作する機器の [MODE SELECTOR] を押す。

操作する機器の表示が点滅します。

- AMP：アンプ / ゾーン 2/ ゾーン 3/ ゾーン 4/ システムコール
- TU：チューナー（FM/AM）
- NET/DTU：ネットワーク /USB/ デジタルチューナー
- SAT/CBL：サテライトレシーバー / ケーブルテレビ
- iPod：iPod
- DVD：DVD プレーヤー（レコーダー）/ CD プレーヤー（レコーダー）
- VCR：ビデオデッキ / テープデッキ
- TV：モニター

※ TUNER と SAT/CBL（DEV1 および DEV2）、NET/DTU（DEV2）は本機では使用しません。66 ページを参照し、学習させてお使いください。

※ **[AMP]** を押すたびに、次のように切り替わります。

【アンプモード】→【ゾーン 2 モード】→【ゾーン 3 モード】→【ゾーン 4 モード】→【システムコールモード】→【アンプモード】

※ ゾーン 2、ゾーン 3 およびゾーン 4 モードは本機では操作できません。

2 機器を操作する。

※ 詳しくは各機器の取扱説明書をご覧ください。

[HOME] を押すと、アンプ以外のモードから、アンプモード（“アンプ”、“ゾーン 2”、“ゾーン 3”、“ゾーン 4” または “システムコール”）に戻ります。

プリセット登録する

付属のリモコンにプリセット登録すると、各社の機器の操作ができるようになります。

1 プリセット登録する機器の [MODE SELECTOR] を押す。

2 [RC SETUP] を 3 秒以上長押しする。

送信表示が 2 回点滅します。

3 [NUMBER] でプリセットコード表（☞ 巻末）からプリセット登録する機器のメーカーの番号（5 桁）を入力する。

登録されると、送信表示が 2 回点滅します。

プリセットコード送信時は、そのコードが属する機器のモード表示が点滅します。

※ 10 秒間何も操作しないと、設定モードが解除されます。

メーカーによってはプリセットコードを数種類持っています。動作しない場合は別のコードを入力してください。

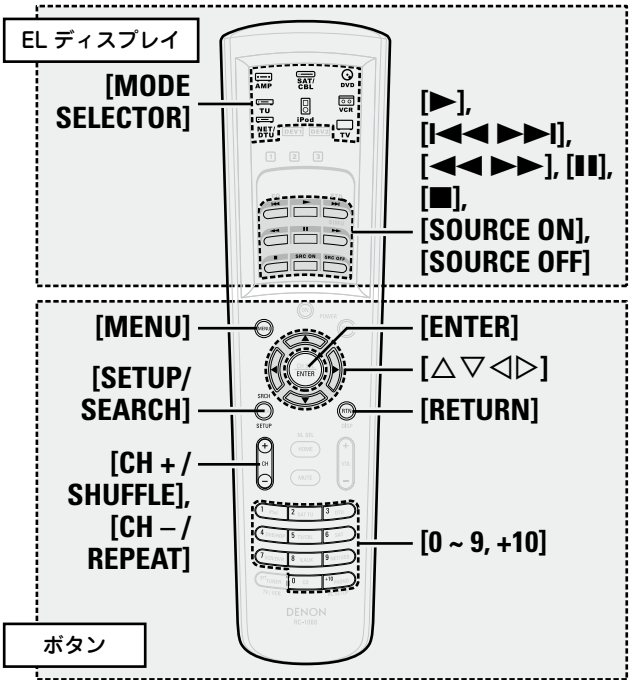
プリセット登録した機器を操作する

1 操作する機器の [MODE SELECTOR] を押す。

操作する機器の表示が点滅します。

2 機器を操作する。

※ 詳しくは各機器の取扱説明書をご覧ください。

機器ボタンごとのボタンのはたらき

EL ディスプレイ							
操作機器	DVD				VCR		iPod
デバイスモード	DEV1		DEV2		DEV1	DEV2	DEV1
MODE SELECTOR	DVD（初期設定）	DVD Recorder	CD（初期設定）	CD Recorder	VCR	TAPE	iPod
▶	再生	再生	再生	再生	再生	再生	再生 / 一時停止
I◀◀ ▶▶I	オートサーチ（頭出し）	オートサーチ（頭出し）	オートサーチ（頭出し）	オートサーチ（頭出し）	オートサーチ（頭出し）	オートサーチ（頭出し）	オートサーチ（頭出し）
◀◀ ▶▶	マニュアルサーチ（早戻し / 早送り）	マニュアルサーチ（早戻し / 早送り）	マニュアルサーチ（早戻し / 早送り）	マニュアルサーチ（早戻し / 早送り）	マニュアルサーチ（早戻し / 早送り）	マニュアルサーチ（早戻し / 早送り）	マニュアルサーチ（早戻し / 早送り）
❚❚	一時停止	一時停止	一時停止	一時停止	一時停止	一時停止	–
■	停止	停止	停止	停止	停止	停止	停止
SOURCE ON	電源オン	電源オン	–	–	電源オン	–	–
SOURCE OFF	電源オフ	電源オフ	–	–	電源オフ	–	–
ボタン							
MENU	メニュー / ガイド	メニュー / ガイド	–	–	メニュー / ガイド	–	メニュー
△ ▽ ◁ ▷	カーソル	カーソル	–	–	カーソル	–	カーソル
ENTER	確定	確定	–	–	確定	–	確定
SETUP / SEARCH	セットアップ	セットアップ	–	–	セットアップ	–	ページサーチ / Browse/ Remote モード切り替え（長押し）
RETURN	リターン	リターン	–	–	キャンセル	–	リターン
CH + / SHUFFLE	–	–	–	–	チャンネルの切り替え	–	1 曲 / アルバムシャッフル再生
CH - / REPEAT	–	–	–	–	チャンネルの切り替え	–	1 曲 / 全曲リピート再生
0 ~ 9, +10	トラックの選択	トラックの選択	曲の選択	曲の選択	–	–	–
特記事項	①、②		①		①	①	–

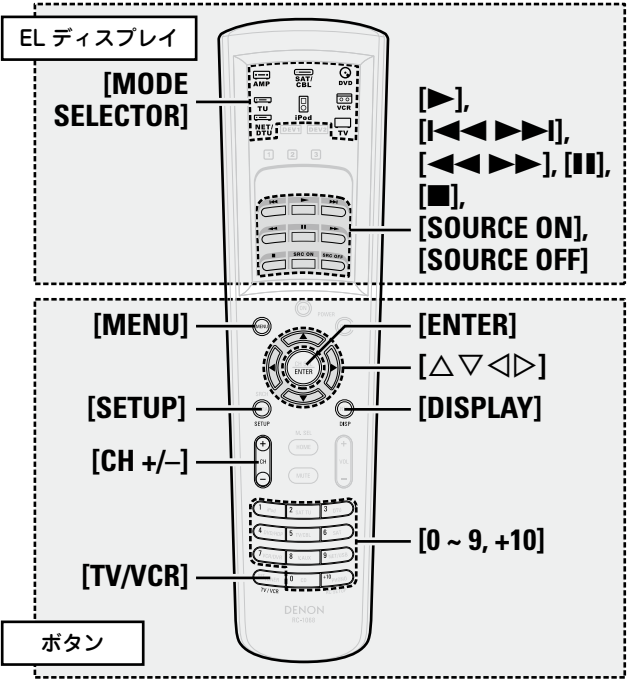
【特記事項】

① それぞれのモードには、一つの機器しかプリセット登録することができません。また、新しいコードをプリセット登録すると、前のコードは自動的に消去されます。

② DVD のリモコンボタンは、メーカーによって機能名が異なる場合がありますので、あらかじめご確認ください。

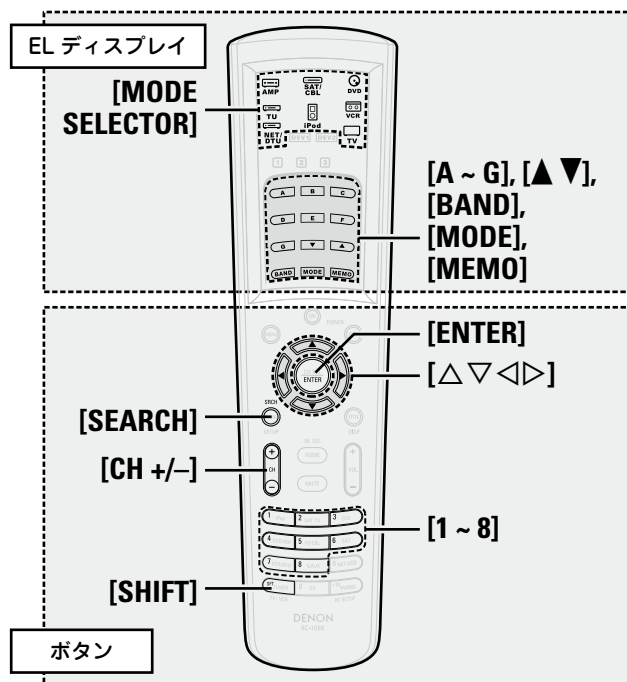
ご注意

“DVD” の “DEV1” モードには、DVD プレーヤーまたは DVD レコーダーをプリセット登録してください。また、“DVD” の “DEV2” モードには、CD プレーヤーまたは CD レコーダーをプリセット登録してください。

“VCR” の “DEV1” モードには、VCR をプリセット登録してください。また、“VCR” の “DEV2” モードには、テープデッキをプリセット登録してください。

EL ディスプレイ				
操作機器	TV		Satellite Receiver / Cable TV	
デバイスモード	DEV1	DEV2	DEV1	DEV2
MODE SELECTOR	TV (HITACHI)	TV (SONY)	SAT	SAT
▶	パンチスルー	パンチスルー	パンチスルー	パンチスルー
I◀◀ ▶▶I				
◀◀ ▶▶				
II				
■				
SOURCE ON	電源オン	電源オン	電源オン	電源オン
SOURCE OFF	電源オフ	電源オフ	電源オフ	電源オフ
ボタン				
MENU	メニュー / ガイド	メニュー / ガイド	メニュー / ガイド	メニュー / ガイド
△ ▽ ◁ ▷	カーソル	カーソル	カーソル	カーソル
ENTER	設定の確定	設定の確定	設定の確定	設定の確定
SETUP	セットアップ	セットアップ	セットアップ	セットアップ
DISPLAY	ディスプレイ	ディスプレイ	ディスプレイ	ディスプレイ
CH + / –	チャンネルの切り替え	チャンネルの切り替え	チャンネルの切り替え	チャンネルの切り替え
0 ~ 9, +10	チャンネルの選択	チャンネルの選択	チャンネルの選択	チャンネルの選択
TV/VCR	入力切り替え	入力切り替え	–	–
特記事項	①, ③	①, ③	①, ③	①, ③

【特記事項】

① それぞれのモードには、一つの機器しかプリセット登録することができません。また、新しいコードをプリセット登録すると前のコードは自動的に消去されます。

③ TV と SAT/CBL モードには、CD、VCR、DVD のいずれかのボタンを割り当てることができます（☞67 ページ「パンチスルー機能」）。

EL ディスプレイ		
操作機器	TU	NET / DTU
デバイスモード	DEV1	DEV1
MODE SELECTOR	Analog Tuner	NET / USB
A ~ G	–	プリセットメモリーブロックの選択
▲ ▼	選局 + / –	選局 + / –
BAND	AM/FM 切り替え	–
MODE	サーチモードの切り替え	–
MEMO	プリセットメモリー登録	お気に入り / プリセットメモリー登録
ボタン		
△ ▽ ◁ ▷	–	カーソル
ENTER	–	確定
SEARCH	–	サーチ
CH + / –	プリセットチャンネルの選択	プリセットチャンネルの選択
1 ~ 8	プリセットチャンネルの選択	プリセットチャンネルの選択
SHIFT	メモリーブロックの切り替え	–

リモート ID を設定する

同じ部屋で DENON 製 AV レシーバーを複数台ご使用の場合に、操作する機器以外の AV レシーバーが動作しないように設定します。

1 **[AMP] を押して、リモコンをアンプモードにする。**

2 **[RC SETUP] を3秒以上長押しする。**
送信表示が2回点滅します。

3 **右表を参照して、変更するリモートIDに対応する番号（5桁）を [NUMBER] で入力する。**
送信表示が2回点滅します。

4 **[iPod] または [NET/DTU] で、設定するモードを選ぶ。**

5 **操作2～4をくり返して、すべてのモードのリモートIDを設定する。**

モード切り替えボタン / リモート ID	AMP（アンプ）	iPod	NET/DTU DEV1（ネットオーディオ / USB）
1（初期値）	81001	72815	62865
2	82001	72816	62837
3	83001	72817	62838
4	84001	72818	62839

ご注意

- 設定を変更する場合は、必ず本体と同じリモート ID に設定してください（☞37 ページ「リモート ID」）。
- アンプモードのリモート ID を変更する場合は、“iPod”および“NET/DTU”のリモート ID も変更してください。

学習機能

お手持ちの AV 器機が DENON 以外の製品の場合やプリセットメモリーで操作できない場合は、他機のリモコン信号を本機のリモコンに記憶させてご使用ください。

1 **設定する機器の [MODE SELECTOR] を押す。**

2 **[RC SETUP] を 3 秒以上長押しする。**
送信表示が 2 回点滅します。

3 **[9]、[7]、[5] の順に押す。**
送信表示が 2 回点滅し、学習機能モードになります。

4 **設定するボタンを押す。**
表示が消え、学習待機モードになります。

※ 学習できないボタンを押した場合は、送信表示が点灯し設定が解除されます。

5 **リモコンをまっすぐに向かい合わせ、学習させる他機のリモコンボタンを長押しする。**
正常に学習機能が終了すると表示が点灯し、送信表示が 2 回点滅します。

※ 他にも学習させたいボタンがある場合は、操作 4、5 をくり返しおこなってください。
※ **[MODE SELECTOR]** を押すと、モードを切り替えることができます。
※ 学習できなかった場合は、送信表示が 1 回長く点灯します。

6 **[RC SETUP] を 3 秒以上長押しする。**
送信表示が 2 回点滅し、設定が終了します。

- リモコンによっては学習できない場合や、学習しても機器が正常に動作しない場合があります。この場合は、機器の専用リモコンをご使用ください。
- 学習したボタンはプリセットメモリーよりも優先されます。不要の場合は学習内容を消去してください（☞68 ページ）。

ご注意

- **[RC SETUP]** には学習させないでください。
- **[HOME]** は学習できません。
- アンプ、ゾーン 2、ゾーン 3、ゾーン 4 およびシステムコールモードには学習できません。

システムコール機能

連続した操作を 1 つのボタンに登録させることができます。
この機能により、1 回のボタン操作でアンプの電源オン、入力ソースの選択、モニターの電源オン、ソース機器の電源オン、再生などの一連の操作ができます。
[SYSTEM CALL]（**1**、**2** または **3**）にそれぞれ 32 個までの信号を登録することができます。

登録する

1 **システムコールに登録する機器の [MODE SELECTOR] を押す。**

2 **[RC SETUP] を 3 秒以上長押しする。**
送信表示が 2 回点滅します。

3 **[9]、[7]、[8] の順に押す。**
送信表示が 2 回点滅し、システムコール登録モードになります。

4 **登録したい [SYSTEM CALL]（1、2 または 3）を押す。**

5 **登録させたい操作ボタンを操作順に続けて押す。**
ボタンを押すと、送信表示が点灯します。

【例】 **[ON]** を押す。
↓
[MODE SELECTOR] の **[CD]** を押す。
↓
[▶] を押す。

※ **[MODE SELECTOR]** を押すと、モードを切り替えることができます。
※ 登録させたいすべてのボタンの登録をおこないます。

6 **[RC SETUP] を 3 秒以上長押しする。**
送信表示が 2 回点滅し、設定が終了します。

呼び出す

1 **[AMP] でシステムコールモードにする。**

2 **登録した [SYSTEM CALL]（1、2 または 3）を押す。**
登録した信号を連続して送信します。

パンチスルー機能

TV モードおよび SAT/CBL モードの空きボタンに、CD、DVD および VCR モードのいずれかのボタンを割り当てることができます。
例えば、TV モードに DVD モードのボタンを割り当てると、TV モードのまま DVD の操作ができます。

1 **パンチスルーしたい機器（CD、DVD または VCR）の [MODE SELECTOR] を押す。**

2 **[RC SETUP] を 3 秒以上長押しする。**
送信表示が 2 回点滅します。

3 **[9]、[8]、[4] の順に押す。**
送信表示が 2 回点滅し、パンチスルー設定モードになります。

4 **パンチスルーさせたいボタン（▶、■、◀◀、▶▶、I◀◀、▶▶I または II）を押す。**

5 **パンチスルーしたい機器（TV または SAT/CBL）の [MODE SELECTOR] を押す。**

6 **[RC SETUP] を 3 秒以上長押しする。**
送信表示が 2 回点滅し、設定が終了します。

バックライトの点灯時間を設定する

1 **[RC SETUP] を 3 秒以上長押しする。**
送信表示が 2 回点滅します。

2 **[9]、[7]、[3] の順に押す。**
送信表示が 2 回点滅し、バックライト点灯時間の設定モードになります。

3 **点灯時間を設定する。**
送信表示が 2 回点滅します。

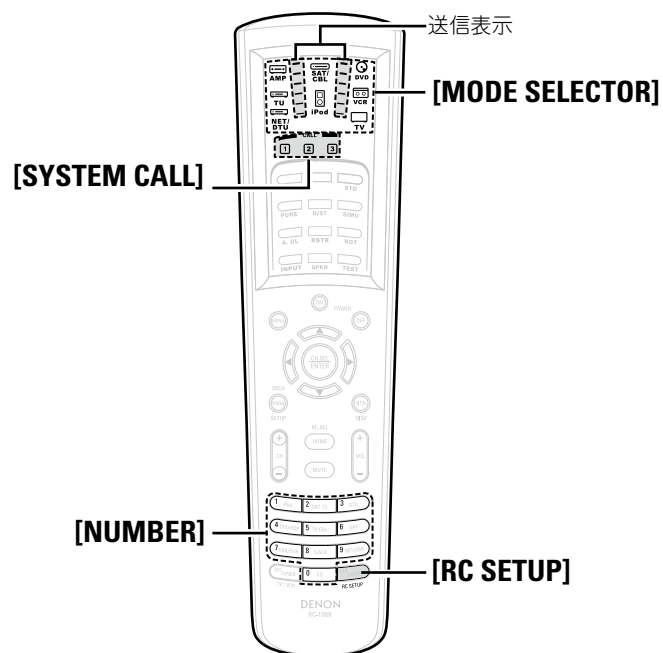
【点灯時間】 **[1]**：5 秒
[2]：10 秒（お買い上げ時）
[3]：15 秒
[4]：20 秒
[5]：25 秒

バックライトの明るさを調節する

表示の明るさを 5 段階で調節することができます。
（初期設定：3 段階）

1 **[RC SETUP] を 3 秒以上長押しする。**
送信表示が 2 回点滅します。

2 **[CHANNEL +] または [CHANNEL –] を押す。**
[+] を押すと、1 段階明るくなります。
[–] を押すと、1 段階暗くなります。

3 **[RC SETUP] を押して、設定を終了する。**

リモコンを初期化する

学習機能を初期化する

❑ ボタン毎に初期化する

1 初期化したい機器の [MODE SELECTOR] を押す。

2 [RC SETUP] を 3 秒以上長押しする。
送信表示が 2 回点滅します。

3 [9]、[7]、[6] の順に押す。
送信表示が 2 回点滅します。

4 初期化したいボタンを 2 回押す。
送信表示が 2 回点滅します。

❑ 機器のモード毎に初期化する

1 初期化したい機器の [MODE SELECTOR] を押す。

2 [RC SETUP] を 3 秒以上長押しする。
送信表示が 2 回点滅します。

3 [9]、[7]、[6] の順に押す。
送信表示が 2 回点滅します。

4 初期化したい機器の [MODE SELECTOR] を 2 回押す。
送信表示が 2 回点滅します。

システムコール機能を初期化する

1 [RC SETUP] を 3 秒以上長押しする。
送信表示が 2 回点滅します。

2 [9]、[7]、[8] の順に押す。
送信表示が 2 回点滅します。

3 初期化したい [SYSTEM CALL]（1、2 または 3）を押す。

4 [RC SETUP] を 3 秒以上押す。
送信表示が 2 回点滅します。

パンチスルー機能を初期化する

1 初期化したい機器（TV または SAT/CBL）の [MODE SELECTOR] を押す。

2 [RC SETUP] を 3 秒以上長押しする。
送信表示が 2 回点滅します。

3 [9]、[8]、[4] の順に押す。
送信表示が 2 回点滅します。

4 [RC SETUP] を 3 秒以上長押しする。
送信表示が 2 回点滅します。

全設定を初期化する

1 [RC SETUP] を 3 秒以上長押しする。
送信表示が 2 回点滅します。

2 [9]、[8]、[1] の順に押す。
送信表示が 4 回点滅します。
すべての設定が初期値に戻ります。

アンプアサインの設定と接続について

本機は、次の再生に対応しています。

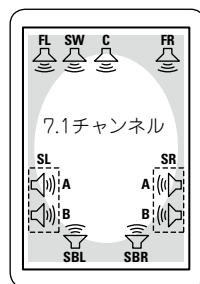
- **バイアンプ再生（フロントスピーカー）**
- **5.1 チャンネル ←→ 2 チャンネル自動切り替え**

「設定１」〜「設定３」の中からお好みの再生環境を選び、“マニュアル設定”-“その他の設定”-“アンプの割り当て”で該当するアンプアサインモードを設定してください。
また、各設定におけるスピーカーの接続は「スピーカーの接続」の通りにおこなってください。

ご注意

- バイアンプ再生には、バイアンプ接続対応の端子を持つスピーカーをお使いください。
- バイアンプ接続のときは、スピーカー端子の短絡板または短絡用ワイヤーを外してください。

設定 1:

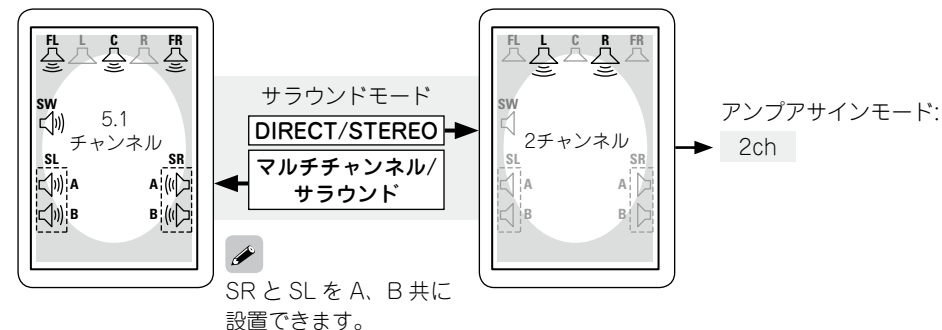
● 7.1 チャンネル再生

❏ スピーカーの接続

スピーカー端子	FRONT		CENTER	SURR-A		SURR-B		SURR. BACK/ AMP ASSIGN	
	R	L		R	L	R	L	R	L
接続するスピーカー	FR	FL	C	SR-A	SL-A	SR-B	SL-B	SBR	SBL

❏ 各スピーカー端子に出力されるチャンネル

スピーカー端子 / アンプアサインモード	FRONT		CENTER	SURR-A		SURR-B		SURR. BACK/ AMP ASSIGN	
	R	L		R	L	R	L	R	L
7.1ch	FR	FL	C	SR-A	SL-A	SR-B	SL-B	SBR	SBL

設定 2: 次の再生を切り替えておこなうことができます。

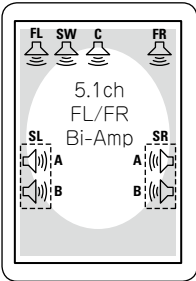
● 5.1 チャンネル再生 ←→ 2 チャンネル再生
切り替え……………サラウンドモードの切り替え

❏ スピーカーの接続

スピーカー端子	FRONT		CENTER	SURR-A		SURR-B		SURR. BACK/ AMP ASSIGN	
	R	L		R	L	R	L	R	L
接続するスピーカー	FR	FL	C	SR-A	SL-A	SR-B	SL-B	R	L

❏ 各スピーカー端子に出力されるチャンネル

スピーカー端子 / アンプアサインモード	状態	FRONT		CENTER	SURR-A		SURR-B		SURR. BACK/ AMP ASSIGN	
	サラウンドモード	R	L		R	L	R	L	R	L
2ch	DIRECT/ STEREO	–	–	–	–	–	–	–	R	L
	マルチチャンネル/ サラウンド	FR	FL	C	SR-A	SL-A	SR-B	SL-B	–	–

設定 3:

●フロント左 / 右チャンネルをバイアンプ接続して 5.1 チャンネル再生をする場合

アンプアサインモード:
バイアンプ

SR と SL を A、B 共に設置できます。

❏ スピーカーの接続

スピーカー端子	FRONT		CENTER	SURR-A		SURR-B		SURR. BACK/ AMP ASSIGN	
	R	L		R	L	R	L	R	L
接続するスピーカー	FR	FL	C	SR-A	SL-A	SR-B	SL-B	FR FL/FR バイアンプ接続	FL

❏ 各スピーカー端子に出力されるチャンネル

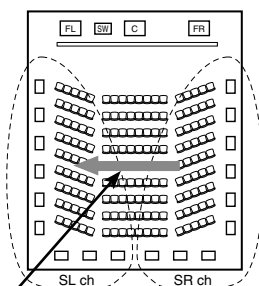
スピーカー端子 / アンプアサインモード	FRONT		CENTER	SURR-A		SURR-B		SURR. BACK/ AMP ASSIGN	
	R	L		R	L	R	L	R	L
バイアンプ	FR	FL	C	SR-A	SL-A	SR-B	SL-B	FR FL/FR バイアンプ接続	FL

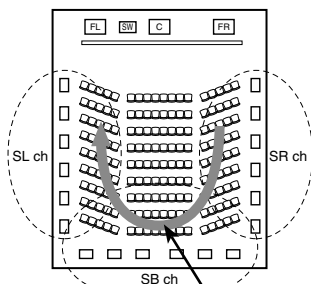
その他の情報

スピーカーの設置について

サラウンドバックスピーカーについて

5.1 チャンネルシステムにサラウンドバックスピーカーを追加することにより、真後ろへの定位を容易に実現できます。同時に側方から後方にかけての音像が絞られ、側方から後方へ回り込む音、正面から真後ろへ移動する音など、サラウンド信号の表現力が大幅に向上しました。

5.1ch システムによる定位・音像の変化

SR → SL と移動する音像の動き

6.1ch システムによる定位・音像の変化

SR → SB → SL と移動する音像の動き

また、6.1 チャンネルで録音されたソースだけでなく、従来の 2 ～ 5.1 チャンネルソースでもよりサラウンド効果を高めることができます。

サラウンドバックスピーカーの本数について

2 本のスピーカーを使用することをおすすめします。
特にダイポール特性のスピーカーを使用する場合は、必ず 2 本使用してください。

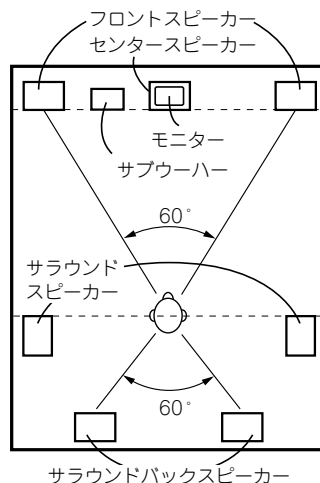
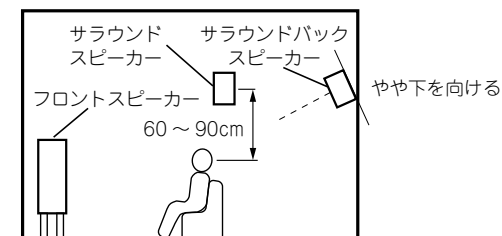
サラウンドバックスピーカーを使用する場合のサラウンド L、R チャンネルの設置について

サラウンド L、R チャンネルのスピーカーをやや前寄りに設置することをおすすめします。

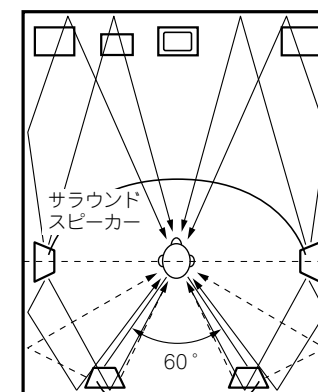
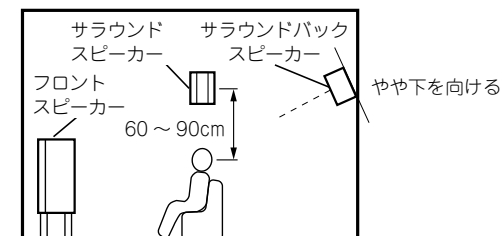
スピーカーの設置例

次にスピーカーの配置例をご紹介します。これらを参考に、お手持ちのスピーカーを種類や用途に合わせて配置してください。

【1】 サラウンドバックスピーカーを使用する場合

① 主に映画再生をおこなう場合
ご使用になるサラウンドスピーカーがシングルウェイまたは 2 ウェイスピーカーの場合におすすめします。

【上面から見た図】

【側面から見た図】

② 映画再生をメインにおこない、サラウンドスピーカーに拡散型スピーカーを使用する場合
映画再生をより効果的におこなうために、サラウンドスピーカーにダイポール特性やトライポール特性などを持つ、拡散音場型のスピーカーを用いる場合は、サラウンドスピーカーの設置場所を①に比べてやや前寄りにします。

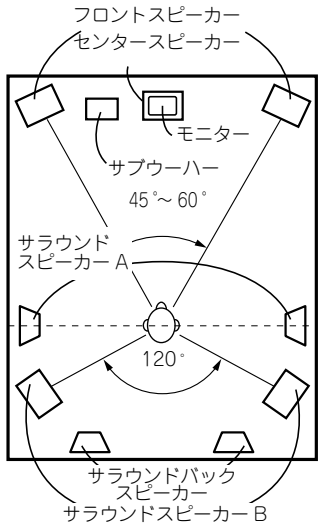
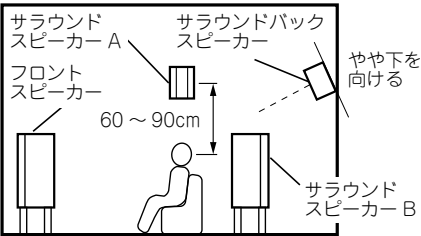
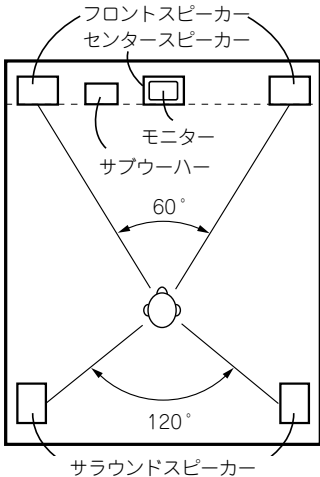
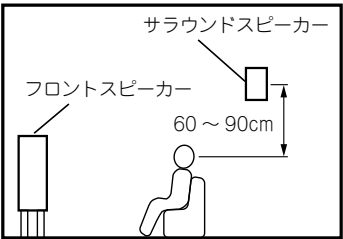
サラウンド音の視聴ポイントに到達するイメージ

【上面から見た図】

【側面から見た図】

③映画再生または音楽再生のサラウンドスピーカーを使用する場合

【上面から見た図】

【側面から見た図】

【2】サラウンドバックスピーカーを使用しない場合

【上面から見た図】

【側面から見た図】

サラウンドについて

本機に内蔵のデジタル信号処理回路のはたらきにより、プログラムソースを映画館と同じ臨場感でサラウンド再生をお楽しみいただけます。

ドルビーサラウンド

ドルビーデジタル

ドルビーデジタルは、ドルビーラボラトリーズにより開発されたマルチチャンネルデジタル信号フォーマットです。
再生チャンネルは、フロント 3 チャンネル（FL、FR、C）とサラウンド 2 チャンネル（SL、SR）、低音域専用の LFE チャンネルの合計 5.1 チャンネルで構成されています。
このため、チャンネル間のクロストークもなく、音の遠近感、移動感、定位感など立体感のある音場をリアルに再現することができます。
AV ルームでの映画ソフト再生においても、リアルで圧倒的な臨場感を生み出します。

ドルビーデジタルプラス

ドルビーデジタルプラスはドルビーデジタルを改良した信号フォーマットで、最大 7.1ch のデジタルディスクリート音声対応とともに、データビットレートに余裕を持たせることにより音質の向上が図られています。従来のドルビーデジタルに対して上位互換であるため、ソース信号や再生機器の状況に応じて、より柔軟性の高い運用が可能となっています。

ドルビー TrueHD

ドルビー TrueHD はドルビーラボラトリーズの高精細音声技術で、ロスレス符号化技術を用いることによりマスター音声の忠実な再現を可能としています。
サンプリング周波数とチャンネルも最大 96kHz/7.1ch に対応し、特に音質を重視したアプリケーションに採用されています。

ドルビープロロジックⅡ

ドルビープロロジックⅡは、ドルビーラボラトリーズにより開発されたマトリクスデコード技術です。
CDのような通常の音楽は5チャンネルの信号にエンコードし、優れた立体音域効果を発揮します。
サラウンドチャンネルはステレオ化、フルバンド化（周波数特性20Hz～20kHz以上）し、あらゆるステレオ音源を臨場感豊かな立体音像でお楽しみいただけます。

ドルビープロロジックⅡx

ドルビープロロジックⅡxは、ドルビープロロジックⅡをさらに改良したマトリクスデコード技術です。
2チャンネルで記録された音声をデコードし、自然な最大7.1チャンネルの音声を再生できます。
音楽再生に適した「Music」モードと映画再生に適した「Cinema」モード、ゲームをお楽しみになるときに最適な「Game」モードがあります。

※ ドルビーサラウンド録音されたソースについて
ドルビーサラウンド録音されたソースには以下のロゴマークが表示されています。
ドルビーサラウンド対応マーク：DOLBY SURROUND

ドルビーデジタルEX

ドルビーデジタルEXは、ドルビー研究所とルーカスフィルム社が共同で開発した音響フォーマット“DOLBY DIGITAL SURROUND EX”を、家庭で楽しむためにドルビー研究所が提案した6.1chのサラウンドフォーマットです。
サラウンドバックチャンネルを含めた6.1chでの音場再生により、空間表現力、定位感が向上します。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー、Pro LogicおよびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。

DTSサラウンド

DTSデジタルサラウンド

DTSデジタルサラウンドはDTS社の標準デジタルサラウンドフォーマットで、サンプリング周波数が44.1kHzまたは48kHz、再生チャンネル数が最大5.1chのデジタルディスクリートサラウンド音声フォーマットです。

DTS-HD High Resolution Audio

DTS-HDハイレゾリューションオーディオは従来のDTS、DTS-ES、DTS96/24フォーマットを改良した信号フォーマットで、サンプリング周波数の96kHz/48kHz対応に加えて最大7.1chのデジタルディスクリート音声に対応しています。余裕あるデータビットレートによって高音質化を図るとともに、従来のDTSデジタルサラウンド5.1chのデータも含むため従来製品との完全な互換性を有しています。

DTS-HD Master Audio

DTS-HDマスターオーディオはDTS社のロスレス音声フォーマットで、最大96kHz/7.1chに対応し、さらにロスレス音声符号化技術によってマスター音声の忠実な再現を可能としています。また、従来のDTSデジタルサラウンド5.1chのデータも含むため従来製品との完全な互換性を有しています。

DTS-ES™ Discrete 6.1

DTS-ES™ディスクリート6.1は、DTSデジタルサラウンド音声に加えてSBチャンネルを追加した6.1chのデジタルディスクリート音声フォーマットです。デコーダーに応じて従来の5.1ch音声としてデコードすることも可能です。

DTS-ES™ Matrix 6.1

DTS-ES™マトリクス6.1は、DTSデジタルサラウンド音声にSBチャンネルをマトリクスエンコードにて挿入した6.1ch音声フォーマットです。デコーダーに応じて従来の5.1ch音声としてデコードすることも可能です。

DTS NEO:6™ サラウンド

DTS NEO:6™は、2チャンネルソースを6.1チャンネルのサラウンド再生するマトリクスデコード技術です。映画再生に適した「DTS NEO:6 CINEMA」と、音楽再生に適した「DTS NEO:6 MUSIC」があります。

DTS 96/24

DTS 96/24は、DVD-Video上でサンプリング周波数96kHz/量子化ビット数24bitの高音質再生を可能としたデジタル音声フォーマットです。チャンネル数は5.1chとなります。

本機はDTS, Inc.からのライセンス契約に基づき製造されています。米国特許第5,451,942号、5,956,674号、5,974,380号、5,978,762号、6,226,616号、6,487,535号その他、米国内および国外特許もしくは特許出願物。DTSのロゴ、シンボル、DTS-HDおよびDTS-HD Master Audioは、DTS, Inc.の商標です。

Audyssey MultEQ® XT

Audyssey MultEQ® XT は、リスニングエリア内の複数のリスナーを対象に、最適なリスニング環境を提供することを目的とした技術であり、複数のリスニングポイントで収集されたテストデータを総合的に分析し、リスニングエリア全体の音質を向上するイコライジング処理をおこないます。
Audyssey MultEQ は広いリスニングエリアの周波数特性の問題を補正するだけでなく、全自動サラウンドシステムセットアップも遂行します。
詳しくは、26 ページをご覧ください。

AUDYSSEY MULTEQ XT

HDCD® デコーダー

HDCD® は、従来の CD フォーマットとの互換性を保ちながら、デジタルレコーディング時に起こる歪みを大幅に低減するエンコーディング・デコーディング技術で、ダイナミックレンジの拡大とハイレゾリューションを実現できます。
通常の CD と HDCD 対応 CD とを自動的に判別して、それぞれに適応したデジタル処理をおこなっています。

DENON LINK

DENON LINK は、高速伝送素子を用いたバランス伝送タイプのデジタルリンクであり、専用端子を持った DENON の DVD プレーヤーと 1 本の専用ケーブルで接続することで、信号劣化の少ない高速・高品位なデジタルオーディオ伝送を可能にし、高音質再生を実現する DENON 独自のデジタルインターフェースです。DVD オーディオの 192kHz/24bit の 2ch デジタル信号や PCM によるマルチチャンネル信号などのデジタル伝送を実現します。また、DENON LINK 3rd Edition 搭載のプレーヤーを接続することにより、スーパーオーディオ CD のオーディオコンテンツをフルスペックでデジタル伝送することが可能です。

AL24 Processing Plus

AL24 Processing Plus は、DVD 規格の最高スペックであるDVD オーディオのサンプリング周波数 192kHz にも対応するアナログ波形再現技術で、その音が自然界に存在したはずのアナログ波形に近付け、ホールに吸込まれるような残響音などの小音量時の音楽再生能力を高めます。
本機では、全チャンネルに採用しています。

MPEG-2 AAC について

MPEG-2　AAC（Advanced Audio Coding） は、MPEG（Moving Picture Experts Group）により開発されたマルチチャンネル音声フォーマットです。
高音質・高圧縮率を確保できることが特長です。
MPEG-2　AAC により地上デジタル放送や BS デジタル放送などで配信される高音質音楽番組やマルチチャンネル音声の映画など、臨場感あふれるサラウンド再生が楽しめます。

❑ MPEG-2　AAC のスペック（概要）

- アルゴリズム：MAINプロファイル
  LC（Low Complexity）プロファイル
  SSR（Scalable Sampling Rate）プロファイル
- サンプリング周波数：
  8kHzから96kHzまで対応
- チャンネル数：最大48チャンネルのマルチチャンネル伝送に対応
- その他の機能：LFE（Low Frequency Effect）サポート
  マルチリンガル（複数言語）サポート

❑ 米国におけるパテントナンバー

08/937,950	5 297 236	5,481,614	5,490,170
5848391	4,914,701	5,592,584	5,264,846
5,291,557	5,235,671	5,781,888	5,268,685
5,451,954	07/640,550	08/039,478	5,375,189
5 400 433	5,579,430	08/211,547	5,581,654
5,222,189	08/678,666	5,703,999	05-183,988
5,357,594	98/03037	08/557,046	5,548,574
5 752 225	97/02875	08/894,844	08/506,729
5,394,473	97/02874	5,299,238	08/576,495
5,583,962	98/03036	5,299,239	5,717,821
5,274,740	5,227,788	5,299,240	08/392,756
5,633,981	5,285,498	5,197,087	

HDMI（High-Definition Multimedia Interface）

HDMIとは、DVI（Digital Visual Interface）をベースに、民生機器用に機能を最適化した次世代テレビ向けのデジタルインターフェース規格です。
非圧縮のデジタル映像と、マルチチャンネルオーディオの転送が1つの接続でおこなえます。
また、DVIと同様にデジタル画像信号の暗号化方式である著作権保護技術のHDCP（High-bandwidth Digital Content Protection）にも対応しています。

Deep Color

微小な映像データを増やすことで、色の変化をより滑らかにして、異なる色彩間の微妙なグラデーションを表現することが可能になります。また、黒と白の間に従来よりもより多くのグレーを表現することが可能になります。

xvYCC

次世代の色空間 “xvYCC” は現行のハイビジョンテレビの1.8倍の色情報を再現することができます。
色の表現がより正確になり、自然で生き生きとした映像を表現することが可能になります。

Lip Sync

HDMI 1.3対応機器には、自動的に映像と音声の同期を行う機能を内蔵しており、正確な同期処理を行うことができます。

サラウンドモードとパラメーター一覧表

サラウンドモード	信号と調節可能なモード									
	チャンネル出力					パラメーター　※（　）内は初期値				
	フロント 左 / 右	センター	サラウンド 左 / 右	サラウンド バック 左 / 右	サブウーハー	ダイナミック レンジ圧縮 *1	DRC *2	LFE *3	AFDM *1	サラウンド バック
PURE DIRECT, DIRECT	○	×	×	×	◎	○（オフ）	○（オート）	○ (0 dB)	×	×
DSD DIRECT	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×
DSD MULTI DIRECT	○	◎	◎	◎	◎	×	×	○ (0 dB)	×	○
MULTI CH DIRECT	○	◎	◎	◎	◎	×	×	○ (0 dB)	○（オン）	○
STEREO	○	×	×	×	◎	○（オフ）	○（オート）	○ (0 dB)	×	×
EXT.IN	○	◎	◎	◎	◎	×	×	×	×	×
MULTI CH IN	○	◎	◎	◎	◎	×	×	○ (0 dB)	○（オン）	○
WIDE SCREEN	○	◎	◎	◎	◎	○（オフ）	○（オート）	○ (0 dB)	×	○
DOLBY PRO LOGIC IIx	○	◎	◎	◎	◎	○（オフ）	○（オート）	×	×	○
DOLBY PRO LOGIC II	○	◎	◎	×	◎	○（オフ）	○（オート）	×	×	○
DTS NEO:6	○	◎	◎	◎	◎	○（オフ）	○（オート）	×	×	○
DOLBY DIGITAL	○	◎	◎	◎	◎	○（オフ）	×	○ (0 dB)	○（オン）	○
DOLBY DIGITAL Plus	○	◎	◎	◎	◎	○（オフ）	×	○ (0 dB)	○（オン）	○
DOLBY TrueHD	○	◎	◎	◎	◎	×	○（オート）	○ (0 dB)	○（オン）	○
DTS SURROUND	○	◎	◎	◎	◎	○（オフ）	×	○ (0 dB)	○（オン）	○
DTS 96 / 24	○	◎	◎	◎	◎	○（オフ）	×	○ (0 dB)	○（オン）	○
DTS-HD	○	◎	◎	◎	◎	○（オフ）	×	○ (0 dB)	○（オン）	○
MPEG2 AAC	○	◎	◎	◎	◎	×	×	○ (0 dB)	○（オン）	○
7CH STEREO	○	◎	◎	◎	◎	○（オフ）	○（オート）	○ (0 dB)	×	○
SUPER STADIUM	○	◎	◎	◎	◎	○（オフ）	○（オート）	○ (0 dB)	×	○
ROCK ARENA	○	◎	◎	◎	◎	○（オフ）	○（オート）	○ (0 dB)	×	○
JAZZ CLUB	○	◎	◎	◎	◎	○（オフ）	○（オート）	○ (0 dB)	×	○
CLASSIC CONCERT	○	◎	◎	◎	◎	○（オフ）	○（オート）	○ (0 dB)	×	○
MONO MOVIE	○	◎	◎	◎	◎	○（オフ）	○（オート）	○ (0 dB)	×	○
VIDEO GAME	○	◎	◎	◎	◎	○（オフ）	○（オート）	○ (0 dB)	×	○
MATRIX	○	◎	◎	◎	◎	○（オフ）	○（オート）	○ (0 dB)	×	○
VIRTUAL	○	×	×	×	◎	○（オフ）	○（オート）	○ (0 dB)	×	×

○：信号有り / 制御可能
×：信号無し / 制御不可能
◎：スピーカー有り無しの設定により、ON/OFF 可能
*1：ドルビーデジタルおよび DTS 信号再生時
*2：ドルビー TrueHD 信号再生時
*3：ドルビーデジタル、DTS、DVD オーディオおよびスーパーオーディオ CD 再生時

サラウンドモード	信号と調節可能なモード														
	パラメーター　※（　）内は初期値														
	シネマ EQ.	モード	ルームサイズ	エフェクトレベル	ディレイタイム	サブウーハーオン / オフ	PRO LOGIC II/IIx MUSIC モードのみ			NEO:6 MUSIC モードのみ	EXT. IN のみ	トーンコントロール	ナイトモード	ルーム EQ	RESTORER
							パノラマ	ディメンション	センター幅	センターイメージ	サブウーハーアッテネーター				
PURE DIRECT, DIRECT	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	○（オフ）	○（注 5）	○
DSD DIRECT	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×
DSD MULTI DIRECT	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
MULTI CH DIRECT	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○（オフ）	○（注 5）	×
STEREO	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○ (0 dB)	○（オフ）	○（オフ）	○
EXT.IN	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×
MULTI CH IN	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○ (0 dB)	○（オフ）	○（オフ）	×
WIDE SCREEN	○（オフ）	×	×	○（オン、10）	×	×	×	×	×	×	×	○ (0 dB)	○（オフ）	○（オフ）	○
DOLBY PRO LOGIC IIx	○（注 1）	○（Cinema）	×	×	×	×	○（オフ）	○ (3)	○ (3)	×	×	○ (0 dB)	○（オフ）	○（オフ）	○
DOLBY PRO LOGIC II	○（注 2）	○（Cinema）	×	×	×	×	○（オフ）	○ (3)	○ (3)	×	×	○ (0 dB)	○（オフ）	○（オフ）	○
DTS NEO:6	○（注 1）	○（Cinema）	×	×	×	×	×	×	×	○ (0.3)	×	○ (0 dB)	○（オフ）	○（オフ）	○
DOLBY DIGITAL	○（オフ）	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○ (0 dB)	○（オフ）	○（オフ）	×
DOLBY DIGITAL Plus	○（オフ）	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○ (0 dB)	×	○（オフ）	×
DOLBY TrueHD	○（オフ）	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○ (0 dB)	×	○（オフ）	×
DTS SURROUND	○（オフ）	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○ (0 dB)	○（オフ）	○（オフ）	×
DTS 96 / 24	○（オフ）	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○ (0 dB)	○（オフ）	○（オフ）	×
DTS-HD	○（オフ）	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○ (0 dB)	×	○（オフ）	×
MPEG2 AAC	○（オフ）	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○ (0 dB)	○（オフ）	○（オフ）	○
7CH STEREO	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○ (0 dB)	○（オフ）	○（オフ）	○
SUPER STADIUM	×	×	○（標準）	○ (10)	×	×	×	×	×	×	×	○（注 3）	○（オフ）	○（オフ）	○
ROCK ARENA	×	×	○（標準）	○ (10)	×	×	×	×	×	×	×	○（注 4）	○（オフ）	○（オフ）	○
JAZZ CLUB	×	×	○（標準）	○ (10)	×	×	×	×	×	×	×	○ (0 dB)	○（オフ）	○（オフ）	○
CLASSIC CONCERT	×	×	○（標準）	○ (10)	×	×	×	×	×	×	×	○ (0 dB)	○（オフ）	○（オフ）	○
MONO MOVIE	×	×	○（標準）	○ (10)	×	×	×	×	×	×	×	○ (0 dB)	○（オフ）	○（オフ）	○
VIDEO GAME	×	×	○（標準）	○ (10)	×	×	×	×	×	×	×	○ (0 dB)	○（オフ）	○（オフ）	○
MATRIX	×	×	×	×	○ (30 ms)	×	×	×	×	×	×	○ (0 dB)	○（オフ）	○（オフ）	○
VIRTUAL	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○ (0 dB)	○（オフ）	○（オフ）	○

○：信号有り / 制御可能
×：信号無し / 制御不可能
注 1：“Cinema” モードのみ。
注 2：“Cinema”、“Pro Logic” モードのみ。
注 3：低音 +6 dB、高音 0 dB
注 4：低音 +6 dB、高音 +4 dB
注 5：“ダイレクトモード” の設定により使用できます。

入力信号に対するサラウンドモード表示

ボタン	注	入力信号																						
サラウンドモード		アナログ	リニア PCM / WAV	WMA (Windows Media Audio) / MP3 / MPEG-4 AAC / FLAC	DTS-HD		DTS				DOLBY		DOLBY DIGITAL					MPEG−2 AAC			DVD-AUDIO		スーパーオーディオ CD	
					DTS-HD Master Audio	DTS-HD High Resolution Audio	DTS ES DSCRT（フラグ有り）	DTS ES MTRX（フラグ有り）	DTS (5.1ch)	DTS 96/24	DOLBY TrueHD	DOLBY DIGITAL Plus	DOLBY DIGITAL EX（フラグ有り）	DOLBY DIGITAL EX（フラグ無し）	DOLBY DIGITAL (5.1/5/4ch)	DOLBY DIGITAL (4/3ch)	DOLBY DIGITAL (2ch)	AAC (5.1ch)	AAC (2ch)	AAC (1 + 1ch)	DVD-Audio (multi ch)	DVD-Audio (2ch)	DSD (multi ch)	DSD (2ch)
STANDARD																								
DTS SURROUND																								
DTS-HD MSTR		×	×	×	●	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
DTS-HD HI RES		×	×	×	×	●	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
DTS ES DSCRT6.1	*1	×	×	×	×	×	● ◎	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
DTS ES MTRX6.1	*1	×	×	×	×	×	×	● ◎	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
DTS SURROUND		×	×	×	×	×	○	○	●	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
DTS 96 / 24		×	×	×	×	×	×	×	×	●	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
DTS (−HD) + PLIIx CINEMA	*2	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
DTS (−HD) + PLIIx MUSIC	*1	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
DTS (−HD) + NEO:6	*1	×	×	×	○	○	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
DTS NEO:6 CINEMA		○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×	×	○	×	○
DTS NEO:6 MUSIC		○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×	×	○	×	○
DOLBY SURROUND																								
DOLBY TrueHD		×	×	×	×	×	×	×	×	×	●	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
DOLBY DIGITAL+		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	●	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
DOLBY DIGITAL EX	*1	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×
DOLBY (D+) (HD) +EX	*1	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
DOLBY DIGITAL		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	●	●	●	×	×	×	×	×	×	×	×
DOLBY (D) (D+) (HD) +PLIIx CINEMA	*2	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	● ◎	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×
DOLBY (D) (D+) (HD) +PLIIx MUSIC	*1	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×
DOLBY PRO LOGIC IIx CINEMA		○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×	×	○	×	○
DOLBY PRO LOGIC IIx MUSIC		○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×	×	○	×	○
DOLBY PRO LOGIC IIx GAME		○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×	×	○	×	○
DOLBY PRO LOGIC II CINEMA		○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×	×	○	×	○
DOLBY PRO LOGIC II MUSIC		○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×	×	○	×	○
DOLBY PRO LOGIC II GAME		○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×	×	○	×	○
DOLBY PRO LOGIC		○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×	×	○	×	○
AAC																								
AAC + DOLBY EX		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	●	×	×	×	×	×	×
AAC + PLIIx CINEMA		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×
AAC + PLIIx MUSIC		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×
MPEG2 AAC		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	●	×	×	×	×
MULTI CH IN																								
MULTI CH IN		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	●	×	●	×
MULTI IN + PLIIx CINEMA	*2	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×
MULTI IN + PLIIx MUSIC	*1	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×
MULTI IN + Dolby EX	*1	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×
MULTI CH IN 7.1		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	● ◎ (7.1)	×	×	×

注

*1: サラウンドバックスピーカーを“無し”に設定している場合は、選択できません。
*2: サラウンドバックスピーカーを“1 台”または“無し”に設定している場合は、選択できません。

●：初期状態で選ばれるモード
◎：“AFDM”が“オン”に設定されているときに固定されるモード
○：選択可能なモード
×：選択不可能なモード

ボタン		入力信号																						
					DTS-HD		DTS				DOLBY		DOLBY DIGITAL					MPEG–2 AAC			DVD-AUDIO		スーパーオーディオ CD	
サラウンドモード	注	アナログ	リニア PCM / WAV	WMA (Windows Media Audio) / MP3/ MPEG-4 AAC / FLAC	DTS-HD Master Audio	DTS-HD High Resolution Audio	DTS ES DSCRT （フラグ有り）	DTS ES MTRX （フラグ有り）	DTS (5.1ch)	DTS 96/24	DOLBY TrueHD	DOLBY DIGITAL Plus	DOLBY DIGITAL EX （フラグ有り）	DOLBY DIGITAL EX （フラグ無し）	DOLBY DIGITAL (5.1/5/4ch)	DOLBY DIGITAL (4/3ch)	DOLBY DIGITAL (2ch)	AAC (5.1ch)	AAC (2ch)	AAC (1 + 1ch)	DVD-Audio (multi ch)	DVD-Audio (2ch)	DSD (multi ch)	DSD (2ch)
DIRECT																								
DIRECT		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○
DSD DIRECT		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○
DSD MULTI DIRECT		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×
MULTI CH DIRECT		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×
M DIRECT + PLIIx CINEMA	*2	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×
M DIRECT + PLIIx MUSIC	*1	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×
M DIRECT + Dolby EX	*1	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×
M DIRECT 7.1		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○ (7.1)	×	×	×
PURE DIRECT																								
PURE DIRECT		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○
DSD PURE DIRECT		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○
DSD MULTI PURE		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×
MULTI CH PURE DIRECT		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×
M PURE D + PLIIx CINEMA	*2	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×
M PURE D + PLIIx MUSIC	*1	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×
M PURE D + Dolby EX	*1	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×
M CH PURE DIRECT 7.1		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○ (7.1)	×	○	×
DSP SIMULATION																								
7CH STEREO	*3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
WIDE SCREEN		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
SUPER STADIUM		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ROCK ARENA		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
JAZZ CLUB		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
CLASSIC CONCERT		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
MONO MOVIE		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
VIDEO GAME		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
MATRIX		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
VIRTUAL		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
STEREO																								
STEREO		●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	●	○	●

注

*1: サラウンドバックスピーカーを“無し”に設定している場合は、選択できません。
*2: サラウンドバックスピーカーを“1 台”または“無し”に設定している場合は、選択できません。
*3: サラウンドバックスピーカーを“無し”に設定している場合は、“5CH STEREO”を表示します。

●：初期状態で選ばれるモード
○：選択可能なモード
×：選択不可能なモード

ネットワークについて

Windows Media Player ver.11

マイクロソフト社が無料で提供しているメディアプレーヤーです。
Windows Media Player ver.11 で作成されたプレイリストや WMA、DRM WMA、MP3、WAV ファイルなどが再生可能です。

vTuner

インターネットラジオの有料オンラインコンテンツサービスです。
本サービスに関するお問い合せは、下記 vTuner のサイトまでお願い致します。
vTuner Web サイト : http://www.radiodenon.com

本製品は、Nothing Else Matters Software and BridgeCo の知的財産権により保護されています。当該技術の本製品以外での使用または配布は、Nothing Else Matters Software and BridgeCo の許諾がない限り禁止されています。

DLNA

- DLNA および DLNA CERTIFIED は Digital Living Network Alliance（デジタルリビングネットワークアライアンス）の商標 / サービスマークです。
- コンテンツには DLNA CERTIFIED™ 製品と適合しないものがある可能性があります。

Windows Media DRM

マイクロソフト社が開発した著作権保護技術です。

- Windows Vista および Windows のロゴは Microsoft 企業グループの商標です。
- PlaysForSure ロゴ、Windows Media、Windows ロゴは米国、その他の国で、米国 Microsoft Corporation の登録商標または商標になっています。
- コンテンツプロバイダーは、自らのコンテンツ（"セキュアコンテンツ"）の完全性を保護するために、本デバイス（"WM-DRM"）に内蔵された Windows Media 用デジタル権管理技術を使用し、当該コンテンツに対する自らの知的財産権（著作権を含む）が悪用されないようにしています。本デバイスは、セキュアコンテンツを再生するため、WM-DRM ソフトウェア（"WM-DRM ソフトウェア"）を使用しています。本デバイス内の WM-DRM ソフトウェアのセキュリティがあやうくなった場合、セキュアコンテンツの所有者（"セキュアコンテンツオーナー"）は、マイクロソフト社が、セキュアコンテンツをコピー・表示・再生する新たなライセンスを得る WM-DRM ソフトウェアの権利を取り消すよう要請することができます。この取り消しは、保護されていないコンテンツを再生する WM-DRM ソフトウェアの能力には影響がありません。インターネットまたはパソコンからセキュアコンテンツのライセンスをダウンロードするときはいつも、取り消された WM-DRM ソフトウェアのリストがデバイスに送られます。マイクロソフト社は、セキュアコンテンツオーナーに代わって、当該ライセンスとともに、取り消された WM-DRM ソフトウェアのリストをデバイスにダウンロードすることができます。

映像信号とモニター出力の関係

ビデオコンバート		入力信号				モニター出力				モニター出力（GUI メニュー表示時）			
		HDMI	COMPONENT	S-VIDEO	VIDEO	HDMI	COMPONENT	S-VIDEO	VIDEO	HDMI	COMPONENT	S-VIDEO	VIDEO
オン		×	×	×	×	※				※ *3	*3	*3	*3
		×	×	×	○	※ VIDEO*1	VIDEO*1	VIDEO*1	VIDEO*1	※ VIDEO*2	VIDEO*2	VIDEO*2	VIDEO*2
		×	×	○	×	※ S-VIDEO*1	S-VIDEO*1	S-VIDEO*1	S-VIDEO*1	※ S-VIDEO*2	S-VIDEO*2	S-VIDEO*2	S-VIDEO*2
		×	×	○	○	※ S-VIDEO*1	S-VIDEO*1	S-VIDEO*1	S-VIDEO*1	※ S-VIDEO*2	S-VIDEO*2	S-VIDEO*2	S-VIDEO*2
		×	○ (1080p)	×	×	×	COMPONENT	×	×	※ *3	*3	*3	*3
		×	○ (480p ~ 720p)	×	×	※ COMPONENT*1	COMPONENT*1	×	×	※ COMPONENT*2	COMPONENT*2	×	×
		×	○ (480i/576i)	×	×	※ COMPONENT*1	COMPONENT*1	COMPONENT*1	COMPONENT*1	※ COMPONENT*2	COMPONENT*2	COMPONENT*2	COMPONENT*2
		×	○ (1080p)	×	○	※ VIDEO*1	COMPONENT	VIDEO*1	VIDEO*1	※ VIDEO*2	VIDEO*2	VIDEO*2	VIDEO*2
		×	○ (480p ~ 720p)	×	○	※ COMPONENT*1	COMPONENT*1	×	VIDEO	※ COMPONENT*2	COMPONENT*2	×	VIDEO
		×	○ (480i/576i)	×	○	※ COMPONENT*1	COMPONENT*1	COMPONENT*1	COMPONENT*1	※ COMPONENT*2	COMPONENT*2	COMPONENT*2	COMPONENT*2
		×	○ (1080p)	○	×	※ S-VIDEO*1	COMPONENT	S-VIDEO*1	S-VIDEO*1	※ S-VIDEO*2	S-VIDEO*2	S-VIDEO*2	S-VIDEO*2
		×	○ (480p ~ 720p)	○	×	※ COMPONENT*1	COMPONENT*1	S-VIDEO	S-VIDEO	※ COMPONENT*2	COMPONENT*2	S-VIDEO	S-VIDEO
		×	○ (480i/576i)	○	×	※ COMPONENT*1	COMPONENT*1	COMPONENT*1	COMPONENT*1	※ COMPONENT*2	COMPONENT*2	COMPONENT*2	COMPONENT*2
		×	○ (1080p)	○	○	※ S-VIDEO*1	COMPONENT	S-VIDEO*1	S-VIDEO*1	※ S-VIDEO*2	S-VIDEO*2	S-VIDEO*2	S-VIDEO*2
		×	○ (480p ~ 720p)	○	○	※ COMPONENT*1	COMPONENT*1	S-VIDEO	S-VIDEO	※ COMPONENT*2	COMPONENT*2	S-VIDEO	S-VIDEO
		×	○ (480i/576i)	○	○	※ COMPONENT*1	COMPONENT*1	COMPONENT*1	COMPONENT*1	※ COMPONENT*2	COMPONENT*2	COMPONENT*2	COMPONENT*2
	HDMI MONITOR あり	○	×	×	×	HDMI	×	×	×	HDMI*2	×	×	×
		○	×	×	○	HDMI	VIDEO*1	VIDEO*1	VIDEO*1	HDMI*2	VIDEO	VIDEO	VIDEO
		○	×	○	×	HDMI	S-VIDEO*1	S-VIDEO*1	S-VIDEO*1	HDMI*2	S-VIDEO	S-VIDEO	S-VIDEO
		○	×	○	○	HDMI	S-VIDEO*1	S-VIDEO*1	S-VIDEO*1	HDMI*2	S-VIDEO	S-VIDEO	S-VIDEO
		○	○ (1080p)	×	×	HDMI	COMPONENT	×	×	HDMI*2	COMPONENT	×	×
		○	○ (480p ~ 720p)	×	×	HDMI	COMPONENT*1	×	×	HDMI*2	COMPONENT	×	×
		○	○ (480i/576i)	×	×	HDMI	COMPONENT*1	COMPONENT*1	COMPONENT*1	HDMI*2	COMPONENT	COMPONENT	COMPONENT
		○	○ (1080p)	×	○	HDMI	COMPONENT	VIDEO*1	VIDEO*1	HDMI*2	COMPONENT	VIDEO	VIDEO
		○	○ (480p ~ 720p)	×	○	HDMI	COMPONENT*1	×	VIDEO	HDMI*2	COMPONENT	×	VIDEO
		○	○ (480i/576i)	×	○	HDMI	COMPONENT*1	COMPONENT*1	COMPONENT*1	HDMI*2	COMPONENT	COMPONENT	COMPONENT
		○	○ (1080p)	○	×	HDMI	COMPONENT	S-VIDEO*1	S-VIDEO*1	HDMI*2	COMPONENT	S-VIDEO	S-VIDEO
		○	○ (480p ~ 720p)	○	×	HDMI	COMPONENT*1	S-VIDEO	S-VIDEO	HDMI*2	COMPONENT	S-VIDEO	S-VIDEO
		○	○ (480i/576i)	○	×	HDMI	COMPONENT*1	COMPONENT*1	COMPONENT*1	HDMI*2	COMPONENT	COMPONENT	COMPONENT
		○	○ (1080p)	○	○	HDMI	COMPONENT	S-VIDEO*1	S-VIDEO*1	HDMI*2	COMPONENT	S-VIDEO	S-VIDEO
		○	○ (480p ~ 720p)	○	○	HDMI	COMPONENT*1	S-VIDEO	S-VIDEO	HDMI*2	COMPONENT	S-VIDEO	S-VIDEO
		○	○ (480i/576i)	○	○	HDMI	COMPONENT*1	COMPONENT*1	COMPONENT*1	HDMI*2	COMPONENT	COMPONENT	COMPONENT
	HDMI MONITOR 無し または 電源オフ	○	×	×	×	×	×	×	×	×	*3	*3	*3
		○	×	×	○	×	VIDEO*1	VIDEO*1	VIDEO*1	×	VIDEO*2	VIDEO*2	VIDEO*2
		○	×	○	×	×	S-VIDEO*1	S-VIDEO*1	S-VIDEO*1	×	S-VIDEO*2	S-VIDEO*2	S-VIDEO*2
		○	×	○	○	×	S-VIDEO*1	S-VIDEO*1	S-VIDEO*1	×	S-VIDEO*2	S-VIDEO*2	S-VIDEO*2
		○	○ (1080p)	×	×	×	COMPONENT	×	×	×	*3	*3	*3
		○	○ (480p ~ 720p)	×	×	×	COMPONENT*1	×	×	×	COMPONENT*2	×	×
		○	○ (480i/576i)	×	×	×	COMPONENT*1	COMPONENT*1	COMPONENT*1	×	COMPONENT*2	COMPONENT*2	COMPONENT*2
		○	○ (1080p)	×	○	×	COMPONENT	VIDEO*1	VIDEO*1	×	VIDEO*2	VIDEO*2	VIDEO*2
		○	○ (480p ~ 720p)	×	○	×	COMPONENT*1	×	VIDEO	×	COMPONENT*2	×	VIDEO
		○	○ (480i/576i)	×	○	×	COMPONENT*1	COMPONENT*1	COMPONENT*1	×	COMPONENT*2	COMPONENT*2	COMPONENT*2
		○	○ (1080p)	○	×	×	COMPONENT	S-VIDEO*1	S-VIDEO*1	×	S-VIDEO*2	S-VIDEO*2	S-VIDEO*2
		○	○ (480p ~ 720p)	○	×	×	COMPONENT*1	S-VIDEO	S-VIDEO	×	COMPONENT*2	S-VIDEO	S-VIDEO
		○	○ (480i/576i)	○	×	×	COMPONENT*1	COMPONENT*1	COMPONENT*1	×	COMPONENT*2	COMPONENT*2	COMPONENT*2
		○	○ (1080p)	○	○	×	COMPONENT	S-VIDEO*1	S-VIDEO*1	×	S-VIDEO*2	S-VIDEO*2	S-VIDEO*2
		○	○ (480p ~ 720p)	○	○	×	COMPONENT*1	S-VIDEO	S-VIDEO	×	COMPONENT*2	S-VIDEO	S-VIDEO
		○	○ (480i/576i)	○	○	×	COMPONENT*1	COMPONENT*1	COMPONENT*1	×	COMPONENT*2	COMPONENT*2	COMPONENT*2

○ : 信号あり
× : 信号なし
480p 〜 720p : 480p/576p/1080i/720p

× : 出力無し
*1 : 画質調整が可能
（濃い灰色）: 壁紙または設定した背景色を表示
※ : "解像度"の設定（☞31 ページ）に従って出力します（i/p スケーラー："アナログ -HDMI"時）。
（薄い灰色）: "解像度"の設定に従って出力します（i/p スケーラー："HDMI-HDMI"時）。

× : 出力無し
*2 : 映像信号に重ねて表示
*3 : **MENU** ボタンを押したときのみ表示
（薄い網掛け）: GUI メニュー表示無し

- 入力信号がコンポーネント 1080p の信号である場合は、HDMI へのアップコンバートをおこないません。
- xvYCC 信号やコンポーネントビデオの 1080p の信号およびコンピューター解像度（例：VGA）が入力された場合は、GUI をスーパーインポーズできません。

ビデオコンバート	入力信号				モニター出力（通常時）				モニター出力（GUI メニュー表示時）			
	HDMI	COMPONENT	S-VIDEO	VIDEO	HDMI	COMPONENT	S-VIDEO	VIDEO	HDMI	COMPONENT	S-VIDEO	VIDEO
オフ	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○
	×	×	×	○	×	×	×	○ (VIDEO)	○	○	○	○
	×	×	○	×	×	×	○ (S-VIDEO)	×	○	○	○	○
	×	×	○	○	×	×	○ (S-VIDEO)	○ (VIDEO)	○	○	○	○
	×	○	×	×	×	○ (COMPONENT)	×	×	○	○	○	○
	×	○	×	○	×	○ (COMPONENT)	×	○ (VIDEO)	○	○	○	○
	×	○	○	×	×	○ (COMPONENT)	○ (S-VIDEO)	×	○	○	○	○
	×	○	○	○	×	○ (COMPONENT)	○ (S-VIDEO)	○ (VIDEO)	○	○	○	○
	○	×	×	×	○ (HDMI)	×	×	×	○ (HDMI)*2	×	×	×
	○	×	×	○	○ (HDMI)	×	×	○ (VIDEO)	○ (HDMI)*2	×	×	×
	○	×	○	×	○ (HDMI)	×	○ (S-VIDEO)	×	○ (HDMI)*2	×	×	×
	○	×	○	○	○ (HDMI)	×	○ (S-VIDEO)	○ (VIDEO)	○ (HDMI)*2	×	×	×
	○	○	×	×	○ (HDMI)	○ (COMPONENT)	×	×	○ (HDMI)*2	×	×	×
	○	○	×	○	○ (HDMI)	○ (COMPONENT)	×	○ (VIDEO)	○ (HDMI)*2	×	×	×
	○	○	○	×	○ (HDMI)	○ (COMPONENT)	○ (S-VIDEO)	×	○ (HDMI)*2	×	×	×
	○	○	○	○	○ (HDMI)	○ (COMPONENT)	○ (S-VIDEO)	○ (VIDEO)	○ (HDMI)*2	×	×	×

○：信号あり
×：信号なし

○　：出力あり
×　：出力無し
*2 ：映像信号に重ねて表示

HDMI モニターに GUI メニューを表示させる場合は、480p/576p の解像度で出力します。

故障かな？と思ったら

❑ **各接続は正しいですか**
❑ **取扱説明書に従って正しく操作していますか**
❑ **スピーカーやプレーヤーは正しく動作していますか**

本機が正常に動作しないときは、次の表に従ってチェックしてみてください。
なお、この表の各項にも該当しない場合は本機の故障とも考えられますので、お買い上げの販売店にご相談ください。
もし、お買い上げの販売店でお分かりにならない場合は、当社のお客様相談窓口またはお近くの修理相談窓口にご連絡ください。

【共通】

症 状	原 因	対 策	関連ページ
電源が入らない。または、入れてもすぐに切れる。	●電源コードの差し込みが不完全である。	●本機のリアパネルおよび電源コンセントへの電源プラグの差し込みを点検してください。	23
スピーカーから音が出ない。	●入力機器との接続またはスピーカーケーブルの接続が不完全である。	●接続を確認してください。	12 〜 23
	●再生したい機器と入力ソースが合っていない。	●接続を確認して、適切な入力ソースを選んでください。	40
	●主音量が小さすぎる。	●主音量を適切な大きさに調節してください。	50
	●消音（ミューティング）モードになっている。	●消音（ミューティング）モードを解除してください。	50
	●ヘッドホンを接続している。	●ヘッドホンを外してください。ヘッドホンを接続していると、スピーカーやプリアウト端子から音が出なくなります。	50
	●デジタル信号が入力されていない。	●接続を確認し、デジタル入力の設定をした入力ソースを選んでください。	42
ディスプレイの表示が消える。	●ディマー機能で、本機のディスプレイ表示を“消灯”にしている。	●“消灯”以外の設定にしてください。	37
	●PIRE DIRECT モードになっている。	●PIRE DIRECT モード中は、ディスプレイは消灯します。	45
突然電源が切れ、電源表示が赤色で点滅している。	●機器内部の温度上昇により、保護回路が働いている。	●一度電源を切って、本体の温度が十分下がってから、電源を入れ直してください。	12
		●本機を風通しの良い場所に設置し直してください。	12
	●スピーカーケーブルの芯線どうしが接触していたり、芯線が端子から外れて本機のリアパネルに接触したため、保護回路が働いている。	●電源コードを抜き、芯線をしっかりとより直すか、端末処理をするなどした後で、もう一度接続し直してください。	12
	●指定されたインピーダンス以下のスピーカーを使用している。	●スピーカーは、指定のインピーダンスのものを使用してください。	12
	●本機が故障している。	●電源を切り、当社の修理相談窓口までご連絡ください。	—

【リモコン】

症 状	原 因	対 策	関連ページ
リモコンを操作しても、正常に動作しない。	●乾電池が消耗している。	●新しい乾電池と交換してください。	6
	●本体から離れすぎているか、角度が良くない。	●リモコンは、本機から約 7 メートルおよび 30°以内の範囲で操作してください。	6
	●本機とリモコンの間に障害物がある。	●障害物を取り除いてください。	6
	●乾電池の ⊕ と ⊖ が正しくセットされていない。	●正しい極性でセットしてください。	6
	●本機のリモコン受光部に強い光（直射日光、インバータ式蛍光灯の光など）が当たっている。	●受光部に強い光が当たらない場所に設置してください。	6
	●本体とリモコンのリモート ID が合っていない。	●リモート ID を同じにしてください。	37、66

【オーディオ】

症 状	原 因	対 策	関連ページ
センタースピーカーから音が出ない。	●テレビやAM放送などのモノラル音源を、"STANDARD"（Dolby/DTS Surround）モードで再生している。	●モノラル音源を再生する場合は、"STANDARD"（Dolby/DTS Surround）以外のサラウンドモードを選んでください。	44
サラウンドスピーカーから音が出ない。	●サラウンドモードが、2チャンネル再生用（"STEREO"、"DIRECT"または"PURE DIRECT"のいずれか）になっている。	●サラウンド再生用のモードにしてください。	43、44
サラウンドバックスピーカーから音が出ない。	●サラウンドバックスピーカーの設定が"無し"になっている。	●サラウンドバックスピーカーを"無し"以外に設定してください。	29
	●6.1/7.1チャンネル再生用のサラウンドモードになっていない。	●サラウンド再生用のモードを選んでください。	43、44
	●サラウンドバックスピーカーのパワーアンプの割り当てをおこなっている。	●サラウンドバックスピーカーからは音声が出力されません。設定を変更してください。	36
サブウーハーから音が出ない。	●サブウーハーの電源が入っていない。	●サブウーハーの電源を入れてください。	—
	●オートセットアップでサブウーハーが検出されなかったか、スピーカーの設定で、サブウーハーを"無し"にしている。	●サブウーハーの設定を"有り"にしてください。	29
	●サブウーハーの出力が正しく接続されていない。	●接続を確認してください。	12
	●サブウーハーのチャンネルレベルが"オフ"になっている。	●サブウーハーのチャンネルレベルを上げてください。	60
リモコンの**TEST TONE**ボタンを押しても、テストトーンが出力されない。	●サラウンドモードが"STANDARD"（Dolby/DTS Surround）モードになっていない。	●サラウンドモードを"STANDARD"（Dolby/DTS Surround）モードにしてください。	43
DTS音声が出力されない。	●DVDプレーヤーの音声出力の設定が、ビットストリームになっていない。	●DVDプレーヤーの設定をしてください。詳しくは、ご使用のプレーヤーの取扱説明書をご覧ください。	—
	●DVDプレーヤーがDTS音声の再生に対応していない。	●DTS対応のプレーヤーをご使用ください。	—
	●本機のデコードモードの設定が、"PCM"になっている。	●デコードモードを"オート"または"DTS"にしてください。	41

症 状	原 因	対 策	関連
HDMIオーディオ信号がスピーカーに出力されない。	●HDMIオーディオ信号の出力先の設定が合っていない。	●HDMIオーディオ信号をスピーカーから出力するときは、"アンプ"に設定してください。	31
HDMI接続しているテレビから音声が出力されない。	●HDMIオーディオ信号の出力先の設定が合っていない。	●HDMIオーディオ信号をテレビから出力するときは、"TV"に設定してください。	31

【iPod】

症 状	原 因	対 策	関連ページ
iPodが再生できない。	●iPod dockを割り当てた入力ソースと合っていない。	●iPod dockを割り当てた端子に接続し、入力ソースを切り替えてください。	40、42
	●ケーブルが正しく接続されていない。	●接続をやり直してください。	16
	●iPod用コントロールドックのACアダプターがコンセントに挿入されていない。	●ACアダプターを挿入していない場合は、本機と通信することができません。	—

【ビデオ】

症 状	原 因	対 策	関連ページ
接続に問題が無いのに、GUI 表示が出ない。	●GUI のフォーマットが、テレビが対応しているフォーマットと合っていない。	●GUI のフォーマットをご使用のテレビのフォーマット（NTSC/PAL）と合わせてください。	36
映像が映らない。	●本機の映像出力端子とモニターの入力端子の接続が不完全である。	●接続を確認してください。	14
	●本機と接続したモニターの入力端子と入力設定が合っていない。	●モニターの入力端子と入力設定を合わせてください。	—
	●PURE DIRECT モードになっている。	●PURE DIRECT モードを解除してください。	45
	●プレーヤーとの接続がコンポーネント端子でモニターとの接続がビデオ端子（黄）または S ビデオ端子になっている。	●ハイビジョン（1080i/720p）やプログレッシブ映像信号（480p/576p）は、ダウンコンバートされません。プレーヤーをインターレース（480i/576i）の設定にしてください。	—
HDMI 接続で映像が映らない。	●本機と接続機器の HDMI 端子の接続が不完全である。	●接続を確認してください。	13
	●HDMI の入力設定が合っていない。	●"端子の割り当て" - "HDMI 端子" で、HDMI 端子を割り当てた入力ソースを選んでください。	40、42
	●本機に接続されたモニターなどが、著作権保護（HDCP）に対応していない。	●著作権保護（HDCP）に対応したモニターを接続してください。	13
	●接続されたプレーヤーなどの出力フォーマット（HDMI FORMAT）とモニター側の入力対応フォーマットが合っていない。	●接続されたプレーヤーなどの出力フォーマット（HDMI FORMAT）とモニターの入力対応フォーマットが合っているか確認をしてください。	13
	●接続しているモニターによっては、"オート（デュアル）" に設定すると、正常に表示されない場合がある。	●"モニター 1" または "モニター 2" を選んでください。	31
録画ができない。	●入力ソースとレコーダーのビデオ接続端子（ビデオ、S ビデオ）が一致していない。	●RECOUT のビデオ端子にはビデオコンバート機能が無いので、入力がビデオの場合はビデオケーブルで、S ビデオの場合は S ビデオケーブルで接続してください。	18
DVD から VCR にダビングができない。	—	●故障ではありません。ほとんどの映画ソフトには、コピー防止信号が入っているので、ダビングすることはできません。	—

【NET/USB】

症 状	原 因	対 策	関連ページ
USB メモリーデバイス接続時、GUI メニュー上に "USB" が表示されない。	●接続不良などで、本機が USB メモリーデバイスを認識できない。	●接続を確認してください。	21
	●マスストレージクラスまたは MTP 以外の USB メモリーデバイスを接続している。	●本機は、マスストレージクラスまたは MTP 対応の USB メモリーデバイスに対応しています。それ以外の USB メモリーデバイスは認識できません。	—
	●設定した端子と接続している端子が合っていない。	●GUI メニューの "USB 端子の選択" で設定した端子に接続してください。	42
	●USB ハブ経由で接続している。	●USB ハブを経由した接続はできません。	—
	●本機が認識できないデバイスを接続している。	●故障ではありません。すべての USB メモリーデバイスに対して、動作や電源の供給を保障するものではありません。	—
USB デバイス内のファイルを再生できない。	●USB デバイスのフォーマットが、FAT16 または FAT32 以外のフォーマットになっている。	●フォーマットを FAT16 または FAT32 に設定してください。詳しくは、USB デバイスの取扱説明書をご覧ください。	—
	●複数のパーティションに分かれている。	●複数のパーティションに別れている場合は、第 1 パーティション以外は再生できません。	—
	●ファイルが対応しているフォーマット以外で記録されている。	●対応しているフォーマットで記録してください。	53
	●著作権保護のかかったファイルを再生しようとしている。	●本機では著作権保護のかかったファイルを再生することはできません。	53
インターネットラジオが再生できない。	●イーサネットケーブルが正しく接続されていないか、ネットワークが切断されている。	●接続状態を確認してください。	22
	●対応していないフォーマットで放送されている。	●本機で再生できるインターネットラジオのフォーマットは、MP3、WMA のみです。	53
	●パソコンまたはルータのファイアウォールが働いている。	●接続しているパソコンまたはルータのファイアウォールの設定を確認してください。	—
	●ラジオステーションが放送を停止している。	●放送中のラジオステーションを選んでください。	55
	●IP アドレスが違っている。	●本機の IP アドレスを確認してください。	35

症 状	原 因	対 策	関連ページ
ファイル名が“. . .”など、正しく表示されない。	●表示できない文字が使われている。	●故障ではありません。本機で表示できない文字は、“.（ピリオド）”に置き換えて表示します。	—
パソコンに保存してある音楽ファイルが再生できない。	●ファイルが対応しているフォーマット以外で記録されている。	●対応しているフォーマットで記録してください。	53
	●著作権保護のかかったファイルを再生しようとしている。	●本機では著作権保護のかかったファイルを再生することはできません。	53
	●本機とパソコンを、USB ケーブルで接続している。	●本機の USB 端子は、パソコンと接続することはできません。	—
サーバーが見つからないか、サーバーに接続できない。	●パソコンまたはルータのファイアウォールが働いている。	●接続しているパソコンまたはルータのファイアウォールの設定を確認してください。	—
	●パソコンの電源が入っていない。	●電源を入れてください。	—
	●サーバーが起動していない。	●サーバーを起動してください。	—
	●本機の IP アドレスが正しくない。	●本機の IP アドレスを確認してください。	35
プリセットまたはお気に入りに登録したラジオステーションに接続できない。	●ラジオステーションが放送を休止している。	●しばらく時間をおいてやり直してください。	—
	●ラジオステーションがサービスを停止した。	●放送中のラジオステーションを選んでください。	55
“Server Full”または“Connection Down”と表示され、接続できないラジオステーションがある。	●放送局が混雑しているか、現在放送を休止している。	●しばらく時間をおいてやり直してください。	—
再生中に、音が途切れることがある。	●ネットワークの通信速度が遅いか、通信回線またはラジオステーションが混雑している。	●故障ではありません。ビットレートの高い放送データを再生している場合や、通信の状況によっては、音が途切れることがあります。	—
音質が良くないまたは再生中にノイズが入る。	●再生しているファイルのビットレートが低い。	●故障ではありません。	—

保証とサービスについて

1 この商品には保証書が添付されております。
保証書は所定事項をお買い上げの販売店で記入してお渡し致しますので、記載内容をご確認のうえ大切に保存してください。

2 保証期間は、お買い上げ日より 2 年間です。万一故障した場合には、保証書の記載内容により、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口が修理を申し受けます。
但し、保証期間内でも保証書が添付されない場合は、有料修理となりますので、ご注意ください。
詳しくは、保証書をご覧ください。

※ 修理相談窓口については、付属品『製品のご相談と修理・サービス窓口一覧表』をご参照ください。

3 保証期間後の修理については、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理致します。

4 本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後 8 年です。

5 お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。

6 この商品に添付されている保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

7 保証および修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口にご相談ください。

※ 当社製品のお問い合わせについては、お客様相談窓口にご連絡ください。

詳しくは、付属品『製品のご相談と修理・サービス窓口一覧表』をご参照ください。

主な仕様

❏オーディオ部

●パワーアンプ部

定格出力：	フロント：	130W ＋ 130W （負荷 8 Ω、20Hz ～ 20kHz T.H.D 0.05%） 160W ＋ 160W （負荷 6 Ω、1kHz、T.H.D 0.7%）
	センター：	130W （負荷 8 Ω、20Hz ～ 20kHz T.H.D 0.05%） 160W （負荷 6 Ω、1kHz、T.H.D 0.7%）
	サラウンド：	130W ＋ 130W （負荷 8 Ω、20Hz ～ 20kHz T.H.D 0.05%） 160W ＋ 160W （負荷 6 Ω、1kHz、T.H.D 0.7%）
	サラウンドバック：	130W ＋ 130W （負荷 8 Ω、20Hz ～ 20kHz T.H.D 0.05%） 160W ＋ 160W （負荷 6 Ω、1kHz、T.H.D 0.7%）
実用最大出力：	180W ＋ 180W（負荷 6 Ω、JEITA）	
ダイナミックパワー：	140W × 2 チャンネル（負荷 8 Ω） 210W × 2 チャンネル（負荷 4 Ω）	
出力端子：	フロント / センター / サラウンドバック：	6 ～ 16 Ω
	サラウンド：　A or B	6 ～ 16 Ω
	A ＋ B	8 ～ 16 Ω

●プリアンプ部

入力感度 / 入力インピーダンス：	200mV/47k Ω
周波数特性：	10Hz ～ 100kHz：＋ 0、－ 3dB（DIRECT モード時）
S/N 比：	102dB（JIS-A）（DIRECT モード時）
ひずみ率	0.005%（20Hz ～ 20kHz）（DIRECT モード時）
定格力	1.2V

●デジタル部

D/A 出力	定格出力：2V（0dB 再生時） 全高調波ひずみ率：0.008% S/N 比：102dB ダイナミックレンジ：96dB
デジタル入力	フォーマット：デジタルオーディオインターフェース

●フォノ・イコライザー部（PHONO 入力　REC OUT）

入力感度：	2.5mV
RIAA 偏差：	20Hz ～ 20kHz：± 1dB
S/N 比：	74dB（JIS-A、5mV 入力時）
ひずみ率：	0.03%（1kHz、3V 出力時）
定格出力：	150mV

❏ビデオ部

●標準映像端子

入出力レベル / インピーダンス：	1Vp-p/75 Ω
周波数特性：	5Hz ～ 10MHz：＋ 0、－ 3dB（ビデオコンバートが“オフ”のとき）

●S 映像端子

入出力レベル / インピーダンス：	Y（輝度）信号：	1Vp-p/75 Ω
	C（色）信号：	0.286Vp-p/75 Ω
周波数特性：	5Hz ～ 10MHz：	＋ 0、－ 3dB（ビデオコンバートが“オフ”のとき）

●色差（コンポーネント）映像端子

入出力レベル / インピーダンス：	Y（輝度）信号：	1Vp-p/75 Ω
	PB/CB（青色）信号：	0.7Vp-p/75 Ω
	PR/CR（赤色）信号：	0.7Vp-p/75 Ω
周波数特性：	5Hz ～ 100MHz：	＋ 0、－ 3dB（ビデオコンバートが“オフ”のとき）

❏総合

電源：	AC100V　50/60Hz
消費電力：	320W（電気用品安全法による） 0.3W（スタンバイ時）
最大外形寸法：	434（幅）× 171（高さ）× 420（奥行き）mm （フット・つまみ・端子を含む）
質量：	18.2kg

❏リモコン（RC-1068）

乾電池：	LR6（単 3 形）乾電池 2 本使用
最大外形寸法：	63（幅）× 238（高さ）× 31（奥行き）mm
質量：	190g（乾電池を含む）

※ JEITA：（社）電子情報技術産業協会（略称：JEITA）が制定した規格です。

※仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

※本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では使用できません。

※本機は国内仕様です。
必ず AC100V のコンセントに電源プラグを差し込んでご使用ください。AC100V 以外の電源には絶対に接続しないでください。

Denon Amp

D	Denon	81001, 82001, 83001, 84001

Denon Digital Tuner

D	Denon (NET/USB)	62865, 62837, 62838, 62839

Denon iPod

D	Denon	72815, 72816, 72817, 72818

CD Player

A	Acoustic Research	40420
	Advantage	40032
	Aiwa	40157
	Arcam	40157
	Audio Research	40157
	Audiolab	40157
	Audiomeca	40157
	Audioton	40157
	AVI	40157
B	Balanced Audio Technology	40157
	Burmester	40420
	Bush	40388
C	Cairn	40157
	California Audio Labs	40029, 40303
	Cambridge	40157
	Cambridge Audio	40157
	Cambridge Soundworks	40157
	Carver	40157, 40179
	CDC	40420
	CEC	40420
	Copland	40393
	Curtis Mathes	40032
	Cyrus	40157
D	Denon	40873, 40003, 40766, **[42867]** *, 42868
	DKK	40000
	DMX Electronics	40157
	Dual	40003
	Dynaco	40157
	Dynamic Bass	40179
F	Fisher	40000, 40179
G	Garrard	40393, 40420
	Genexxa	40000, 40032, 40037, 40179
	Goldmund	40157
	Grundig	40157
H	Hafler	40173
	Harman/Kardon	40100, 40157, 40173
	Hitachi	40032
I	Inkel	40157
	Integra	40101
J	Jerrold	40003
	JVC	40032, 40072
K	Kenwood	40681, 40000, 40029, 40157, 40028, 40037, 40036, 40190
	KLH	41318
	Krell	40157
L	Linn	40157
	Loewe	40157
	Luxman	40393
	LXI	40179
M	Magnavox	40157
	Marantz	40029, 40157
	Matsui	40157
	MCS	40029
	Memorex	40000, 40032, 40179, 40420, 40468
	Meridian	40157
	Micromega	40157
	Miro	40000
	Mission	40157
	Modulaire	40000, 40032, 40087, 40179, 40420, 40468
	MTC	40420
	Musical Fidelity	40393
	Myryad	40157
N	NAD	40000, 40721
	Naim	40157
	NSM	40157
O	Onkyo	40868, 40101
	Optimus	40000, 40032, 40037, 40087, 40179, 40393, 40420, 40468
	Orion	40393
P	Panasonic	40029, 40303, 40388, 40752
	Parasound	40420
	Penney	40029
	Philips	40157
	Pioneer	40032, 40101, 40468
	Polk Audio	40157
	Proceed	40420
	Proton	40157
Q	QED	40157
	Quad	40157
	Quasar	40029
R	Radiola	40157
	RadioShack	40000, 40032, 40179, 40420, 40468
	RCA	40032, 40053, 40179, 40420, 40468
	Realistic	40000, 40032, 40087, 40179, 40420, 40468
	Restek	40157
	Revox	40157
	Roksan	40420
	Rotel	40157, 40420
	Royal	40420
S	SAE	40157
	Saisho	40000
	Sansui	40000, 40157
	Sanyo	40000, 40087, 40179
	SAST	40157
	Sears	40179
	Sharp	40037
	Siemens	40157
	Silsonic	40036
	Simaudio	40157
	Sonic Frontiers	40157
	Sony	40490, 40000, 40100, 41364, 40185
	Sugden	40157
	Sylvania	40157
T	TAG McLaren	40157
	Tandy	40032
	Tascam	40393, 40420
	Teac	40490, 40393, 40420
	Technics	40029, 40303
	Techwood	40303
	Thomson	40053
	Thorens	40157
	Thule Audio	40157
	Tokai	40420
U	Universum	40157, 40053
V	Victor	40072
W	Wadia	40393
	Wards	40000, 40032, 40157, 40053, 40087, 40179
Y	Yamaha	40490, 40868, 40032, 40036
	Yorx	40000

CD Recorder

D	Denon	40766, 42868
J	JVC	40072
R	RCA	40053, 40420
S	Sony	40000, 40100, 41364
T	Teac	40420
	Thomson	40053

Tape Deck

A	Aiwa	20029, 20197, 20200, 21315
	Akai	20283, 20439
	Arcam	20076
	Audiolab	20029
C	Carver	20029
D	Denon	20076, 20371, 21311, **[22471]** *
F	Fisher	20074
G	Garrard	20308, 20309, 20375, 20439
	Genexxa	20439
	GoldStar	20375
	Grundig	20029, 20375
H	Harman/Kardon	20182, 20029, 21314
I	Inkel	20070, 20071, 20337
J	JVC	20244, 20273, 20274, 20303, 20304, 20310, 21309
K	Kenwood	20070, 20071, 20092, 20233, 20234, 21364
L	LG	20375
	Luxman	20308, 20309
M	Magnavox	20029
	Marantz	20029, 20009
	Memorex	20099
	Mitsubishi	20283, 20439
	Myryad	20029
O	Onkyo	20135, 20136, 20282
	Optimus	20027, 20220, 20337, 20439
	Orion	20308, 20309
P	Palladium	20375
	Panasonic	20229
	Philips	20029, 20229
	Phonotrend	20337
	Pioneer	20027, 20220, 20099, 20109, 21306, 21312
	Polk Audio	20029
R	Radiola	20029
	RCA	20027, 20220
	Revox	20029
S	Sansui	20029, 20009
	Sanyo	20074
	Sharp	20231, 20371
	Sherwood	20337
	Sonic	20375
	Sony	20243, 20170, 20291, 20234, 21313
T	TaeKwang	20439
	Tandberg	20109
	Teac	20280, 20283, 20289, 20308, 20309
	Technics	20229
	Technovox	20229
	Thorens	20029
U	Universum	20375, 20439
V	Victor	20244, 20273, 20274
W	Wards	20027, 20029
	Wharfedale	20439
Y	Yamaha	20097, 20094

Television

1	888	10264
A	A-Mark	10047, 10054, 10009
	A.R. Systems	10037, 10352, 10374, 10455, 10556
	Accent	10009, 10037
	Accuscan	10047
	Accuscreen	10001
	Acoustic Research	11269
	Action	10030, 10650
	Acura	10009
	Addison	10092, 10108, 10653
	ADL	11217
	Admiral	10047, 10054, 10017, 10051, 10093, 10463, 10180, 10163, 10264, 10418
	Advent	10761, 10783, 10815, 10817, 10842, 10876, 11933
	Adventuri	10000
	Adyson	10217
	AEG	11163, 11556
	Agashi	10217, 10264
	Agna	10150
	Aiko	10092, 10009, 10035, 10037, 10217, 10264, 10361, 10371, 10433
	Aim	10706, 10037, 10455, 10805
	Aiwa	10264, 10701, 11904, 11911
	Akai	10000, 10060, 10812, 10702, 10178, 10030, 10145, 10602, 10606, 10631, 10648, 10672, 10714, 10715, 11207, 11537, 11675, 11676, 11903, 10556, 10548, 10480, 10433, 10371, 10361, 10264, 10218, 10217, 10208, 10163, 10037, 10035, 10009
	Akashi	10009, 10860
	Akiba	10037, 10218, 10455
	Akira	10418
	Akito	10037
	Akura	10171, 10009, 10037, 10163, 10218, 10264, 10668, 10714, 11037, 11498, 11556, 11982
	Alaron	10170
	Alba	10009, 10036, 10037, 10073, 10163, 10218, 10352, 10370, 10371, 10418, 10443, 10487, 10668, 10714, 11037
	Albatron	10700, 10843
	Alfide	10672
	All-Tel	10865, 11269
	Alleron	10030, 10170

Brand	Code
Allorgan	10217
Allstar	10037
Ambassador	10150
America Action	10180
American High	10000, 10060
Amplivision	10217, 10370
Amstrad	10000, 10171, 10009, 10011, 10037, 10163, 10218, 10264, 10362, 10371, 10433, 10648, 11037, 11982
Amtron	10000, 10180
Anam	10250, 10180, 10009, 10037, 10700, 10861
Anam National	10250, 10037, 10650
Andersson	11149, 11163
Anglo	10009, 10264
Anhua	10051
Anitech	10009, 10037, 10264
Ansonic	10009, 10037, 10163, 10370, 10374, 10668
AOC	10451, 10093, 10180, 10060, 10178, 10030, 10092, 10009, 10108
Aolinpike	10264
Apex Digital	10156, 10748, 10879, 10765, 10767, 11217, 11943
AR	10352, 10556
Arc En Ciel	10109
Arcam	10217
Ardem	10037, 10714
Aristocrat	10163
Aristona	10037, 10556
ART	11037
Arthur Martin	10163
ASA	10070
Asberg	10037
Asora	10009
Astra	10037
Asuka	10217, 10218, 10264
ATD	10698
Atlantic	10001, 10037
Atori	10009
Auchan	10163
Audinac	10180
Audiosonic	10009, 10037, 10109, 10217, 10218, 10264, 10370, 10374, 10486, 10714, 10715, 10820
Audioton	10217, 10264, 10370, 10486
Audiovox	10451, 10180, 10092, 10623, 10802, 10875, 11937, 11951, 11952
Audioworld	10698
Aumark	10060
Autovox	10217
Aventura	10171
AVP	10000
Awa	10451, 10009, 10011, 10036, 10108, 10217, 10264, 10374, 10606
Axion	11937, 11958
Axxent	10009
B	
Baier	10876
Baihe	10009, 10264
Baile	10001, 10009, 10374, 10661
Baird	10037, 10073, 10109, 10208, 10217, 10343, 11196
Bang & Olufsen	10565
Baohuashi	10264
Baosheng	10009, 10817
Barco	10163, 10556
Basic Line	10009, 10037, 10163, 10217, 10218, 10374, 10455, 10556, 10668, 11037, 11163
Bastide	10217
Bauer	10805
Baur	10037, 10195, 10361, 10455, 10512
Baysonic	10180
Bazin	10217
Beaumark	10017, 10178, 10030
Beijing	10812, 10001, 10009, 10208, 10226, 10264, 10374, 10661, 10817, 10821
Beko	10037, 10195, 10370, 10418, 10486, 10606, 10714, 10715, 10808, 11037
Belcor	10030
Bell & Howell	10054, 10017, 10154, 10093
Belson	10698, 11191
Belstar	11037
BenQ	11032, 11756
Beon	10037, 10163, 10218, 10418
Berthen	10668
Best	10370
Bestar	10037, 10370, 10374
Bestar-Daewoo	10374
Binatone	10217
Black Diamond	10614, 10820, 10821, 11037, 11163, 11909
Blackway	10218
Blaupunkt	10036, 10170, 10195, 10200, 10327, 10455
Blue Sky	10037, 10218, 10455, 10487, 10499, 10556, 10668, 10714, 10715, 11037, 11191, 11363
Boots	10009, 10217
BPL	10037, 10208
Bradford	10180
Brandt	10109, 10287, 10335, 10560, 10625, 10714
Brinkmann	10037, 10418, 10486, 10668
Brionvega	10037, 10362
Britannia	10217
Brockwood	10178, 10030
Broksonic	10236, 10463, 10180, 11911, 11938
Brother	10264
BSR	10163
BTC	10218
Bush	11900, 11556, 11037, 10778, 10714, 10698, 10668, 10661, 10614, 10556, 10487, 10374, 10371, 10361, 10335, 10264, 10218, 10217, 10208, 10163, 10037, 10036, 10009
C	
Caihong	10009, 10817
Cailing	10748
Candle	10030
Canton	10218
Capehart	10017, 10178, 10030, 10092, 10036
Capetronic	10030
Capsonic	10264
Carad	10610, 10668, 11037
Carena	10037, 10455
Carnivale	10030
Carrefour	10036, 10037, 10070
Carver	10054, 10170
Cascade	10009, 10037
Casio	10037
Cathay	10037, 10218
CCE	10037, 10217
Celebrity	10000
Celera	10765
Celestial	10767, 10819, 10820, 10821
Centrex	10780
Centrum	11037
Centurion	10037
CGE	10074, 10163, 10370, 10418
Changcheng	10051, 10001, 10009, 10264, 10374, 10661, 10817
Changfei	10009, 10374, 10817
Changfeng	10264, 10817
Changhai	10009, 10817
Changhong	10156, 10765, 10009, 10264, 10508, 10767, 10783, 10817, 10819, 10820, 10821, 11008, 11156
Chengdu	10009, 10817
Ching Tai	10092, 10009
Chun Yun	10000, 10180, 10092, 10009, 10700, 10843
Chunfeng	10009, 10264
Chung Hsin	10180, 10053, 10036, 10108
Chunsun	10009, 10817
Cimline	10009, 10218
Cinema	10672
Cineral	10451, 10092
Cinex	10648, 11556
Citek	10047
Citizen	10054, 10000, 10451, 10463, 10180, 10060, 10030, 10171, 10092, 10001, 10035
City	10009
Clarion	10180
Clarivox	10037, 10070, 10418
Classic	10030, 10092, 10499
Clatronic	10009, 10037, 10217, 10218, 10264, 10370, 10371, 10714
Clayton	11037
CMS Hightec	10217
Colortyme	10047, 10054, 10017, 10060, 10178, 10030
Commercial Solutions	11447, 10047
Concorde	10009
Condor	10009, 10037, 10264, 10370, 10418
Conia	10820, 10821, 11498
Conic	10178
Conrac	10808
Conrowa	10156, 10145, 10009, 10264, 10698, 11156, 11170
Contec	10180, 10009, 10036, 10037
Continental Edison	10109, 10287, 10487
Cosmel	10009, 10037
Craig	10180, 10171
Crosley	10054, 10000, 10180, 10030, 10171, 10074, 10163, 10370
Crown	10093, 10180, 10053, 10009, 10037, 10208, 10370, 10418, 10486, 10487, 10606, 10672, 10712, 10714, 10715, 11037
Crown Mustang	10672
CS Electronics	10218
CTX	11756
Curtis Mathes	10047, 10054, 10154, 10000, 10051, 10451, 10093, 10180, 10060, 10702, 10178, 10030, 10145, 10166, 10037, 10035, 11147, 11347
CXC	10180
Cybertron	10218
Cytronix	11298
D	
D-Vision	10037, 10556, 11982
Daewoo	10154, 10451, 10180, 10178, 10030, 10092, 11661, 10634, 10661, 10672, 10700, 10860, 10865, 10876, 10880, 11755, 11756, 11909, 10623, 10556, 10499, 10374, 10264, 10218, 10217, 10170, 10109, 10108, 10037, 10036, 10009
Dainichi	10218
Dansai	10009, 10035, 10036, 10037, 10208, 10217
Dantax	10370, 10486, 10714, 10715
Datsura	10208
Dawa	10009, 10037
Daytek	10672, 11207
Dayton	10092, 10009, 11207
Daytron	10180, 10178, 10030, 10092, 10009, 10036, 10037, 10374
Dayu	10374, 10661
De Graaf	10163, 10208, 10548
Decca	10037, 10217
Degraff	10163, 10208
Deitron	10374
Dell	11080, 11178
Denko	10264
Denon	10145, 10511
Denver	10037, 10587
Desmet	10009, 10037
Diamant	10037
Diamond	10706, 10009, 10371, 10672, 10698, 10820, 10860
Digatron	10037
Digiline	10037, 10668
Digital Life	10872
Digitex	10820
Digitor	10037
Digix Media	10880
Dixi	10009, 10037, 10217
DL	10587, 10780, 10872
Domeos	10668
Domland	10394
Dongda	10009
Donghai	10009
Dream Vision	11164, 11704
DSE	10698, 10820, 11556
DTS	10009
Dual	10037, 10217, 10343, 10352, 10394, 11037, 11137
Dual Tec	10217
Dumont	10017, 10180, 10178, 10070, 10217
Durabrand	10463, 10180, 10178, 10171, 11034, 11463
Dux	10037
Dwin	10093
Dynatech	10217
Dynatron	10037
E	
Easy Living	11248
Eaton	10060
Ecco	10773
ECE	10037
Edison-Minerva	10487
Elbe	10037, 10217, 10218, 10362, 10610
Elcit	10163
Electroband	10000
Electrograph	11755
Electrohome	10154, 10000, 10463, 10150, 10178, 10030, 10073
Elekta	10009, 10264

Brand	Code
Elfunk	11037, 11208
ELG	10037
Elin	10009, 10037, 10361, 10548
Elite	10037, 10218
Elta	10009, 10264
Emerald	10178
Emerson	10047, 10017, 10154, 10451, 10236, 10463, 10180, 10150, 10178, 10171, 11944, 11911, 11909, 10714, 10668, 10623, 10486, 10036, 10371, 10370, 10361, 10037, 10195, 10170, 10070, 10073
Envision	10030, 10813
Enzer	10860
Erae	11371
Erres	10037
ESA	10812, 10171, 11944
ESC	10037, 10217
Ether	10030, 10009
Etron	10001, 10009, 10163, 10820
Eurofeel	10217, 10264
Euroman	10037, 10217, 10264, 10370
Europa	10037
Europhon	10037, 10109, 10217
Evesham Technology	11248
Evolution	11756
Expert	10163
Exquisit	10037

F

Brand	Code
Feilang	10009
Feilu	10009, 10817
Feiyan	10264
Feiyue	10009, 10817
Fenner	10009, 10374
Fer0	10335
Ferguson	10053, 10037, 10073, 10109, 10195, 10287, 10335, 10343, 10443, 10548, 10560, 10625, 11037
Fidelity	10171, 10037, 10163, 10217, 10264, 10361, 10371, 10512
Filsai	10217
Finlandia	10163, 10208, 10346, 10361, 10548
Finlux	10037, 10070, 10163, 10217, 10346, 10480, 10556, 10631, 10714, 10715, 10808, 11556
Firstar	10236, 10009
Firstline	10009, 10037, 10208, 10217, 10361, 10374, 10556, 10668, 10714, 10808, 11037, 11191, 11363, 11371
Fisher	10047, 10054, 10154, 10000, 10036, 10208, 10217, 10361, 10370
Flint	10037, 10218, 10264, 10455, 10610
Force	11149
Formenti	10037, 10163
Fortress	10093
Fraba	10037, 10370
Friac	10009, 10037, 10370, 10499, 10610
Frontech	10009, 10163, 10217, 10264
Fujimaro	10865, 11498
Fujitsu	10009, 10217, 10352, 10683, 10809, 10853
Fujitsu General	10009, 10217, 10683
Fujitsu Siemens	10808, 10809, 11163, 11298
Funai	10000, 10180, 10171, 10264, 10668, 11271, 11904
Furi	10145, 10264, 10817
Furichi	10860
Futronic	10264, 10860
Futuretech	10180

G

Brand	Code
Galaxi	10037
Galaxis	10037, 10370
Ganxin	10817
Gateway	11755, 11756
GBC	10009, 10163, 10218, 10374
GE	11447, 10047, 11454, 10000, 10051, 10451, 10093, 10180, 10060, 10178, 10030, 10092, 11922, 11917, 11347, 11147, 10625, 10560, 10335, 10035
GEC	10037, 10163, 10217, 10361
Geloso	10009, 10163, 10374
Gemini	10047
General	10109, 10287
General Technic	10009
Genesis	10009, 10037
Genexxa	10009, 10037, 10163, 10218
Gericom	10808, 10865, 10880, 11217, 11298
Gevalt	11371
Giant	10009, 10217
Gibralter	10017, 10000, 10030
Go Video	10060, 10886
Go Vision	11937
Goldfunk	10668
GoldStar	10047, 10054, 10154, 10178, 10030, 10715, 10714, 10606, 10455, 10361, 10217, 10163, 10109, 10073, 10037, 10036, 10009, 10001
Gooding	10487
Goodmans	10000, 11909, 11900, 11163, 11037, 10880, 10808, 10714, 10668, 10661, 10634, 10625, 10587, 10560, 10556, 10499, 10487, 10480, 10374, 10371, 10343, 10335, 10264, 10218, 10217, 10037, 10036, 10035, 10011, 10009
Gorenje	10370
GPM	10218
Gradiente	10053, 10037, 10170
Graetz	10163, 10361, 10371, 10487, 10714, 11163
Gran Prix	10648
Granada	10036, 10037, 10108, 10163, 10208, 10217, 10226, 10343, 10548, 10560
Grandin	10009, 10037, 10163, 10218, 10374, 10455, 10610, 10668, 10714, 10715, 10865, 10880, 11037, 11191
Gronic	10217
Grundig	10706, 10009, 10036, 10037, 10070, 10163, 10195, 10443, 10487, 10556, 10587, 10672, 10683, 11371
Grundy	10180, 10195
Grunkel	11163
Grunpy	10180

H

Brand	Code
H & B	10808
Haaz	10706
Haier	11034, 10037, 10508, 10587, 10698, 11017
Haihong	10009
Haiyan	10264, 10817
Halifax	10217, 10264
Hallmark	10236, 10180, 10178
Hampton	10217
Hanimex	10218
Hankook	10180, 10178, 10030
Hanseatic	10009, 10037, 10217, 10361, 10370, 10394, 10499, 10556, 10634, 10661, 10714, 10808
Hantarex	10009, 10037, 10865
Hantor	10037
Harley Davidson	10000, 10180, 10060, 10178, 10030, 11904
Harman/Kardon	10054
Harsper	10865
Harvard	10180
Harwa	10773, 11196, 11269
Harwood	10009, 10037, 10487
Hauppauge	10037
Havermy	10093
HCM	10009, 10037, 10217, 10218, 10264, 10418
Heathkit	10017
Helios	10865
Hello Kitty	10451
Hema	10009, 10217
Hewlett Packard	11494, 11502
Hifivox	10109
Highline	10037, 10264
Hikona	10218
Hikone	10218
Hinari	10009, 10036, 10037, 10163, 10208, 10218, 10264, 10352, 10443
Hisawa	10218, 10455, 10610, 10714
Hisense	10156, 10748, 10145, 10009, 10208, 10508, 10556, 10780, 10821, 10860, 11022, 11156, 11170, 11208, 11363
Hitachi	10047, 10054, 10017, 10000, 11256, 10156, 10051, 10150, 10178, 10030, 11145, 10145, 10092, 10744, 10877, 10634, 11037, 11137, 11149, 11156, 11170, 11225, 11576, 11904, 11960, 10578, 10548, 10508, 10499, 10481, 10480, 10343, 10217, 10163, 10109, 10108, 10037, 10036, 10035, 10009
Hitachi Fujian	10150, 10108, 10860
Hitec	10698
Hitsu	10009, 10218, 10455, 10610
Hoeher	10714, 10865, 11163, 11556
Home Electronics	10606
Hongmei	10093, 10009, 10264, 10817
Hongyan	10264, 10817
Hornyphon	10037
Hoshai	10218, 10455
HP	11494, 11502
Hua Tun	10009
Huafa	10145, 10009
Huanghaimei	10009
Huanghe	10009, 10817
Huanglong	10009
Huangshan	10009, 10264, 10817
Huanyu	10217, 10264, 10374, 10817
Huaqiang	10264
Huari	10145, 10264
Hugoson	11217
Huodateji	10051
Hygashi	10217
Hyper	10009, 10217
Hypersonic	10361
Hypson	10037, 10217, 10264, 10455, 10486, 10556, 10668, 10714, 10715, 11037
Hyundai	10849, 10860, 10865, 10876, 11556

I

Brand	Code
Iberia	10037
ICE	10037, 10217, 10218, 10264, 10371
ICeS	10218
Iiyama	10877, 11217
Ima	10236, 10180, 10178
Imperial	10037, 10074, 10370, 10418
Imperial Crown	10001, 10009, 10264, 10374, 10661
Indiana	10037
Infinity	10054
InFocus	11164
Ingelen	10163, 10487, 10610, 10714
Ingersol	10009
Inno Hit	10009, 10217, 10218, 11163
Innova	10037
Innowert	10865, 11298
Inotech	10773, 10820
Insignia	10171, 11517
Inteq	10017, 10145
Interbuy	10009, 10037, 10264
Interfunk	10037, 10109, 10163, 10200, 10327, 10361, 10512
Internal	10037, 11909
Intervision	10009, 10037, 10217, 10218, 10264, 10394, 10455, 10486, 10487
Irradio	10009, 10037, 10218, 10371
Isukai	10037, 10218, 10455
ITC	10217
ITS	10037, 10218, 10264, 10371
ITT	10163, 10208, 10346, 10361, 10480, 10548, 10610
ITT Nokia	10070, 10163, 10195, 10208, 10346, 10361, 10480, 10548, 10606, 10610
ITV	10037, 10264, 10374
IX	10877

J

Brand	Code
JBL	10054
JCB	10000
JDV	11982
Jean	10156, 10051, 10236, 10092, 10009, 10036
JEC	10035
Jensen	10761, 10815, 10817, 11933
Jiahua	10051
JiaLiCai	10009, 10264
JIL	10030
Jinfeng	10051, 10208, 10226, 10817
Jinque	10009, 10264, 10817
Jinta	10009, 10264
Jinxing	10054, 10156, 10145, 10009, 10037, 10264, 10556, 10698, 10817, 10821, 11011
JMB	10443, 10499, 10556, 10634
JNC	10876
Jocel	10712
Johnson	10455
Jubilee	10556
Juhua	10264, 10817
Jutan	10030
JVC	10054, 10093, 10463, 10053, 10030, 10070, 10036, 10218, 10371, 10418, 10508, 10606, 10650, 10653, 10683, 10731, 11253, 11923

K

Brand	Code
Kaige	10009, 10264, 10817
Kaisui	10009, 10037, 10217, 10218, 10455
Kambrook	10217
Kamp	10017, 10180, 10217
Kangli	10001, 10009, 10264, 10374, 10661, 10817

Brand	Codes
Kangyi	10009, 10264
Kapsch	10163, 10361
Karcher	10264, 10370, 10606, 10610, 10714, 10778, 11556
Kathrein	10556
Kawa	10371
Kawasho	10030
KB Aristocrat	10163
KDS	11498
KEC	10180, 10060
Kendo	10037, 10362, 10370, 10610, 10648, 11037
Kennedy	10163
Kennex	10668, 11037
Kenwood	10180, 10030
Khind	10706
KIC	10217
Kiota	10001, 10371, 10455
Kioto	10706, 10556
Kiton	10037, 10668
KLH	10156, 10180, 10765, 10767, 11962
KLL	10037
Kloss	10030
Kneissel	10037, 10362, 10370, 10374, 10499, 10556, 10610
Kolin	10180, 10150, 10053, 10036, 10108, 11331
Kolster	10037, 10218
Kongque	10009, 10264, 10817
Konichi	10009
Konig	10037
Konka	10180, 10037, 10218, 10371, 10418, 10587, 10641, 10714, 10817, 11084
Kontakt	10487
Korpel	10037
Korting	10370
Kosmos	10037
Koyoda	10009
Kreisen	10876
KTV	10463, 10180, 10030, 10217
Kuaile	10009, 10264
Kulun	10009
Kunlun	10051, 10208, 10226, 10264, 10374, 10661, 10817
Kyoshu	10418
Kyoto	10163, 10217

L

Brand	Codes
L&S Electronic	10714, 10808, 10865
Lark	10154
LaSAT	10486
Lavis	11037
Leader	10009
Lecson	10037
Legend	10009
Lenco	10037, 10374, 10587
Lenoir	10009
Lexsor	11196
Leyco	10037, 10264
LG	10054, 11265, 10060, 10178, 10030, 11758, 11637, 11191, 11178, 10856, 10715, 10714, 10700, 10698, 10556, 10370, 10361, 10217, 10163, 10109, 10108, 10037, 10009, 10001
Liesenk & Tter	10037
Liesenkotter	10037, 10327
Lifetec	10009, 10037, 10218, 10374, 10668, 10683, 10714, 11037, 11137
Lihua	10817
Lloyd's	10236, 10180, 10030, 10001, 10009, 11904
Local India TV	10009, 10208, 10602
Local Malaysia TV	10698
Lodos	11037
Loewe	10037, 10370, 10512, 10633, 10790
Logik	10236, 10180, 10060, 10001, 10009, 10011, 10371, 10698, 10773, 10880, 11037, 11217
Logix	10668
Longjiang	10264, 10817
Luker	11982
Luma	10009, 10163, 10362, 10374, 11037
Lumatron	10037, 10073, 10163, 10217, 10264, 10361, 10556
Lux May	10009, 10037
Luxor	10163, 10208, 10217, 10346, 10361, 10480, 10548, 10631, 11037, 11163
LXI	10047, 10054, 10017, 10154, 10000, 10156, 10051, 10093, 10060, 10053, 10178, 10030, 10171, 10166, 10037, 10036, 10035, 10001, 10208

M

Brand	Codes
M Electronic	10009, 10037, 10109, 10163, 10195, 10217, 10287, 10343, 10346, 10374, 10480, 10512, 10634, 10661, 10714
Madison	10037
MAG	11498
Magnadyne	10054, 10163
Magnafon	10073
Magnasonic	10054, 10000, 10156, 10093, 10030, 10092, 10109
Magnavox	10047, 11454, 10054, 10154, 10000, 10250, 10051, 10180, 10060, 10030, 10171, 10092, 10706, 11944, 11904, 11755, 11254, 10802, 10780, 10011, 10035, 10037, 10036
Magnum	10037, 10648, 10714, 10715
Majestic	10017
Mandor	10264
Manesth	10035, 10037, 10217, 10264
Manhattan	10037, 10668, 10778, 10876, 11037, 11267
Marantz	11454, 10054, 10030, 10037, 10556, 10704, 10855
Mark	10009, 10037, 10217, 10374, 10714, 10715
Master's	10499
Mastro	10053, 10706, 10698, 10780
Masuda	10009, 10037, 10217, 10218, 10264, 10371
Matsui	11037, 10744, 10714, 10556, 10487, 10455, 10443, 10433, 10371, 10352, 10335, 10217, 10208, 10195, 10163, 10037, 10036, 10035, 10011, 10009
Matsushita	10250, 10051, 10650
Maxdorf	10773
Maxent	11755, 11756
Maxim	11556, 11982
MCE	10009
Meck	10698
Mediator	10037, 10556
Medion	10037, 10512, 10556, 10668, 10698, 10714, 10808, 10880, 11037, 11137, 11248, 11900
Megapower	10700
Megas	10610
Megatron	10047, 10178, 10145, 10009
MEI	11037
Meile	10264, 10817
Memorex	10154, 10250, 10463, 10180, 10150, 10060, 10178, 10030, 10009, 10035, 10037, 10195, 10877, 11037, 11911
Memphis	10009
Mercury	10060, 10001, 10009, 10037
Mermaid	10037
Metronic	10625
Metz	10037, 10195, 10367, 10388, 10447, 10587, 10668, 10746, 11163
MGA	10150, 10178, 10030, 10218, 10374
MGN Technology	10178
Micro Genius	10150
Micromaxx	10037, 10668, 10714, 10808, 11037
Microstar	10808
MicroTEK	10820, 10860
Midland	10047, 10017, 10051
Mikomi	11037, 11149
Minato	10037, 10556
Minerva	10070, 10108, 10195, 10487
Minoka	10037
Mirror	11900
Mitsubishi	10154, 10250, 10093, 10236, 10180, 11250, 10150, 10178, 10030, 11917, 11037, 10836, 10817, 10556, 10512, 10195, 10108, 10037, 10036, 10011
Mivar	10217
Monaco	10009
Monivision	10700, 10843
Morgan's	10037
Motorola	10054, 10051, 10093, 10150
MTC	10180, 10060, 10030, 10092, 10011, 10370, 10512
MTlogic	10714
Mudan	10051, 10009, 10208, 10226, 10264, 10817
Multitec	10037, 10486, 10668, 11037, 11556
Multitech	10180, 10009, 10037, 10217, 10264, 10370, 10486
Murphy	10163
Musikland	10218
Mx Onda	11498
Myryad	10556

N

Brand	Codes
NAD	10156, 10178, 10166, 10037, 10361, 10866, 11156
Naiko	10037, 10606, 11982
Nakimura	10037, 10374
Nanbao	10009, 10264
Nansheng	10264, 10817
Narita	11982
NAT	10226
National	10051, 10208, 10226, 10508
NEC	10047, 10154, 10156, 10051, 10053, 10178, 10030, 11704, 11270, 11170, 10817, 10704, 10661, 10653, 10508, 10499, 10455, 10374, 10264, 10217, 10170, 10036, 10011, 10009
Neckermann	10037, 10200, 10327, 10370, 10418, 10556
NEI	10037, 10163, 10371
Neovia	10865, 10876, 11371
Netsat	10037
NetTV	11755
Neufunk	10009, 10037, 10218, 10556, 10610, 10714
New Tech	10009, 10037, 10217, 10343, 10556
New World	10218
Newave	10093, 10178, 10092, 10009
Nikkai	10009, 10035, 10036, 10037, 10163, 10217, 10218, 10264
Nikkei	10714
Nikko	10178, 10030, 10092
Nikkodo	10178, 10030, 10092
Nishi	10030
Nobliko	10070
Nogamatic	10109
Nokia	10163, 10208, 10346, 10361, 10374, 10480, 10548, 10606, 10610, 10631
Norcent	10748, 10824
Nordic	10217
Nordmende	10037, 10109, 10195, 10287, 10343, 10560, 10714
Normerel	10037
Novatronic	10037, 10374
NTC	10092
Nu-Tec	10455, 10698, 10820
Nyon	10000

O

Brand	Codes
Oceanic	10163, 10208, 10361, 10548
Odeon	10264
Okano	10009, 10037, 10264, 10370
Olevia	11144, 11240, 11331, 11610
Omega	10264
Omni	10748, 10698, 10780, 10872
Onida	10053, 11253
Onimax	10714
Onwa	10180, 10218, 10371, 10433, 10602
Opera	10037
Optimus	10154, 10250, 10093, 10180, 10150, 10178, 10030, 10166, 10650
Optoma	10887
Optonica	10093
Orbit	10037
Orcom	11504
Orion	10017, 10236, 10463, 10180, 10178, 11463, 10011, 10037, 10264, 10443, 10556, 10714, 10880, 11196, 11911
Orline	10037, 10218
Ormond	10668, 11037
Osaki	10037, 10217, 10218, 10264, 10374, 10556
Osio	10037
Oso	10218
Osume	10036, 10037, 10218
Otic	11498
Otto Versand	10093, 10036, 10037, 10109, 10195, 10217, 10226, 10343, 10361, 10512, 10556

P

Brand	Codes
Pace	10092
Pacific	10037, 10443, 10556, 10714, 11037, 11137
Palladium	10037, 10163, 10200, 10217, 10327, 10370, 10418, 10556, 10714, 11137
Palsonic	10001, 10037, 10217, 10218, 10264, 10418, 10698, 10773, 10778, 11196, 11269, 11904
Panama	10009, 10037, 10217, 10264
Panashiba	10001
Panasonic	10054, 10000, 10156, 10250, 10051, 10236, 10030, 11947, 11946, 11941, 11480, 11310, 11291, 11271, 10853, 10650, 10548, 10508, 10367, 10361, 10226, 10208, 10163, 10108, 10037, 10035
Panavision	10037
Panda	10051, 10706, 10009, 10208, 10226, 10264, 10508, 10698, 10780, 10817, 10821
Pathe Cinema	10163

Brand	Code
Pathe Marconi	10109
Pausa	10009
Paxonic	10060, 10030
PCE	10156, 10060
Penney	10047, 10000, 10156, 10250, 10051, 10060, 10178, 10030, 10035, 10036, 10037, 10070, 10108, 11347
Perdio	10037, 10163
Perfekt	10037
Petters	11523
Philco	10054, 10451, 10463, 10180, 10178, 10030, 10145, 11661, 10037, 10074, 10163, 10370, 10418
Philharmonic	10217
Philips	11454, 10054, 10017, 10000, 10051, 10178, 10030, 10171, 10092, 11961, 11756, 11254, 10690, 10556, 10512, 10374, 10361, 10343, 10200, 10108, 10037, 10009
Phocus	10714
Phoenix	10037, 10163, 10370, 10486
Phonola	10037, 10556
Pilot	10051, 10060, 10178, 10030, 10706, 10011
Pioneer	10166, 10011, 10037, 10109, 10163, 10170, 10287, 10361, 10370, 10486, 10512, 10679, 10760, 10866, 11260
Pionier	10370, 10486, 11556
Plantron	10009, 10037, 10264
Playsonic	10037, 10217, 10714, 10715
Polaroid	10765, 10865, 11276, 11316, 11341, 11498, 11523
Poppy	10009
Portland	10451, 10092, 10374
Powerpoint	10037, 10487, 10698
Prandoni-Prince	10361
Precision	10236, 10180, 10217
Premier	10009, 10264
President	10860
Prima	10761, 10009, 10264, 10783, 10815, 10817, 11269, 11933
Princeton	10700
Prinston	11037
Prinz	10361
Prism	10250, 10051
Profex	10009, 10163, 10361
Profi	10009
Profilo	11556
Profitronic	10037
Proline	10037, 10073, 10625, 10634, 11037
Proscan	11447, 10047, 11347, 11922
Prosco	10156
Prosonic	10037, 10217, 10370, 10371, 10374, 10668, 10714
Protec	10009, 10037, 10217, 10264
Protech	10009, 10037, 10217, 10264, 10418, 10486, 10668, 11037
Proton	10178, 10030, 10001, 10009
Proview	11498
ProVision	10037, 10556, 10714, 11037
Pulsar	10017, 10092
Pulser	10178, 10092
Pvision	10876, 11191
Pye	10037, 10374, 10556
Pymi	10009

Q

Brand	Code
Qingdao	10051, 10208, 10226, 10264, 10817
Quadral	10051, 10218
Quartz	10150, 10178
Quasar	10250, 10051, 10009, 10035, 10650, 10865
Quelle	10011, 10037, 10070, 10074, 10109, 10195, 10200, 10327, 10361, 10512, 10668, 11037
Questa	10036
Questar	10036

R

Brand	Code
R-Line	10037
Rabbit	10047
Radialva	10163, 10218
Radiola	10037, 10217, 10556
Radiomarelli	10037
RadioShack	10047, 10154, 10180, 10150, 10178, 10030, 10037, 11904
Radiotone	10009, 10037, 10264, 10370, 10418, 10648, 10668, 11037
Rank	10070
Rank Arena	10036, 10602
RBM	10070
RCA	11447, 10047, 11454, 10054, 10000, 10051, 10093, 10178, 10030, 10092, 11958, 11953, 11948, 11922, 11917, 11547, 11347, 11247, 11147, 11047, 10679, 10625, 10560, 10090
Realistic	10047, 10154, 10180, 10150, 10178, 10030
Recor	10037, 10418
Rectiligne	10037
Rediffusion	10036, 10163, 10346, 10361, 10548
Redstar	10037
Reflex	10037, 10668, 11037
Relisys	10865, 10876, 10877, 11207, 11298
Remotec	10250, 10093, 10145, 10171, 10037
Reoc	10714
Revox	10037
Rex	10163, 10264
RFT	10037, 10264
Rinex	10773
Roadstar	10009, 10037, 10218, 10264, 10418, 10668, 10714, 11037, 11900
Rolson	11371
Rover	10036, 10877
Rowa	10748, 10009, 10037, 10264, 10587, 10698, 10712, 10817
Royal Lux	10335, 10370
Runco	10017, 10060, 10030
Ruyi	10817

S

Brand	Code
Saba	10250, 10109, 10163, 10287, 10335, 10343, 10361, 10498, 10548, 10560, 10625, 10714
Sagem	10455, 10610, 10618
Saige	10009, 10817
Saisho	10009, 10011, 10163, 10217, 10264
Saivod	10037, 10668, 10712, 11037, 11163, 11556, 11982
Sakai	10163
Sakyno	10455
Salora	10163, 10208, 10361, 10480, 10548, 10631
Salsa	10335
Sampo	10047, 10154, 10093, 10178, 10030, 10171, 10092, 10009, 10036, 10650, 10700, 11755, 11756
Samsung	10047, 10054, 10017, 10154, 10156, 10093, 10060, 10812, 10702, 10178, 10030, 10092, 10814, 10766, 10718, 10618, 10587, 10817, 10821, 11060, 11249, 11312, 11903, 11959, 10556, 10371, 10370, 10362, 10264, 10226, 10217, 10208, 10163, 10090, 10037, 10036, 10035, 10009
Sandra	10217
Sanjian	10264
Sanky	10060, 10030
Sansui	10463, 10060, 10030, 10706, 10037, 10371, 10455, 10602, 10714, 10861, 11371, 11537, 11904, 11911
Santon	10009
Sanyo	10047, 10054, 10154, 10000, 10156, 10463, 10180, 10145, 10171, 11755, 11208, 10704, 10508, 10370, 10264, 10217, 10208, 10170, 10163, 10108, 10088, 10037, 10036, 10011, 10009
Sanyong	10037
Sanyuan	10093, 10009, 10817
Saville	10060
SBR	10037, 10556
Sceptre	11217
Schaub Lorenz	10361, 10374, 10486, 10548, 10606, 10714, 11191
Schneider	11982, 11904, 11137, 11037, 10714, 10668, 10648, 10556, 10394, 10371, 10361, 10352, 10343, 10218, 10217, 10163, 10070, 10037
Scotch	10178
Scotland	10163
Scott	10236, 10180, 10178, 10030
Sears	10047, 10054, 10017, 10154, 10000, 10156, 10051, 10093, 10060, 10053, 10178, 10030, 10171, 10166, 10035, 10036, 10037, 10001, 10208, 11904
Seaway	10634
Seelver	11037
SEG	10009, 10036, 10037, 10217, 10218, 10264, 10362, 10487, 10668, 11037, 11163
SEI	10037, 10163
Sei-Sinudyne	10037
Seleco	10163, 10264, 10346, 10362, 10371
Semivox	10180
Semp	10156
Sencora	10009
Sentra	10035
Serino	10093, 10455, 10610
Shancha	10264, 10817
Shanghai	10009, 10208, 10226, 10264, 10817
Shaofeng	10145, 10817
Sharp	10054, 10093, 10180, 10053, 10030, 10009, 10036, 10200, 10650, 10653, 10668, 11193, 11393, 11917
Shen Ying	10092, 10009
Shencai	10145, 10009, 10264
Sheng Chia	10093, 10236, 10009
Shenyang	10009, 10264, 10817
Sherwood	10009
Shintoshi	10037
Shivaki	10178, 10037, 10374, 10443, 10556
Show	10009, 10418
Siarem	10163
Siemens	10145, 10037, 10195, 10200, 10327
Siera	10037, 10556
Siesta	10370
Signature	10047, 10093, 10030
Silva	10037, 10361, 10648
Silva Schneider	10037, 11556
Silvano	10587
Silver	10036, 10361, 10455, 10715
SilverCrest	11037
Simpson	10178, 10030, 10011
Singer	10060, 10092, 10009, 10037, 10335, 10371, 10433, 11537
Sinotec	10773
Sinudyne	10037, 10163, 10361
Skantic	10163
SKY	10037, 10880, 11504
Sky Brazil	10880
Sky-North	10037
Skygiant	10180
Skyworth	10748, 10009, 10037, 10264, 10698, 10805, 10817, 11115
Sliding	10865, 10880
SLX	10668
Smaragd	10487
Soemtron	10865, 11298
Solar Drape	10000
Solavox	10037, 10163, 10361, 10548
Sole	10813
Sonawa	10218
Songba	10009
Soniko	10037
Sonitron	10208, 10217, 10370
Sonneclair	10037
Sonoko	10009, 10037, 10217, 10264
Sonolor	10163, 10208, 10361, 10548
Sontec	10009, 10037, 10370
Sony	10017, 10154, 11100, 10000, 10150, 10053, 10011, 10036, 10037, 10074, 10353, 10650, 11505, 11651, 11751, 11904
Sound & Vision	10218, 10374
Soundesign	10180, 10178
Soundwave	10037, 10418, 10715
Sova	11952
Sowa	10156, 10051, 10060, 10178, 10092, 10036, 10226
Soyea	10773
Spectra	10009
Spectravision	10156, 10178
Spectroniq	11498
Squareview	10171
SR2000	10154, 10171
Ssangyong	10009
SSS	10180
Staksonic	10009
Standard	10009, 10037, 10217, 10218, 10374, 11037
Standard Components	10009, 10218
Starlite	10236, 10180, 10009, 10037, 10163, 10264
Stenway	10218
Stern	10163, 10264
Stevison	11982
Strato	10009, 10037, 10264
Strong	11149, 11163
Studio Experience	10843
Stylandia	10217
Sunkai	10218, 10455, 10487, 10610, 10865
Sunstar	10009, 10037, 10264, 10371
Sunwatt	10455
Sunwood	10037
Superla	10217

	Brand	Code
	Superscan	10093, 10864, 11944
	Supersonic	10009, 10208, 10455, 10805
	SuperTech	10009, 10037, 10218, 10556
	Supra	10178, 10009, 10374
	Supreme	10000
	Susumu	10218, 10287, 10335
	Sutron	10009
	SV2000	10054
	SVA	10748, 10587, 10865, 10870, 10871, 10872
	Svasa	10455
	Swisstec	10880, 11504
	Sydney	10217
	Sylvania	10047, 10054, 10154, 10000, 10051, 10178, 10030, 10171, 10092, 10036, 10037, 10876, 11271, 11904, 11944
	Symphonic	10000, 10180, 10178, 10171, 11904, 11944
	Synco	10000, 10451, 10093, 10060, 10178, 10092, 10036
	Syntax	11144, 11240, 11331
	Sysline	10037
T	T+A	10447
	Tacico	10178, 10092, 10009
	Tai Yi	10009
	Taishan	10009, 10374, 10817
	Tandberg	10109, 10361, 10367
	Tandy	10093, 10163, 10217, 10218
	Targa	11371
	Tashiko	10092, 10036, 10163, 10170, 10217, 10650
	Tatung	10054, 10154, 10000, 10156, 10051, 10060, 10037, 10036, 10011, 10009, 10217, 11156, 11191, 11248, 11254, 11371, 11556, 11756
	TCL	10706, 10698, 11027, 11537
	TCM	10714, 10808
	Teac	10154, 10178, 10171, 10706, 11755, 11149, 11037, 10714, 10712, 10698, 10668, 10512, 10455, 10418, 10264, 10217, 10170, 10037, 10009
	Tec	10009, 10037, 10163, 10217, 10335
	Tech Line	10037, 10668, 11163
	Techica	10218
	Technica	11982
	Technics	10054, 10250, 10051, 10226, 10556, 10650
	TechniSat	10556, 11267
	Technisson	10714
	Technosonic	10499, 10556
	Technovox	10030, 10217
	Techview	10847
	Techwood	10250, 10051, 10060, 11163
	Tecnimagen	10556
	Teco	10051, 10093, 10178, 10092, 10009, 10036, 10218, 10264, 10653, 11040
	Tedelex	10009, 10208, 10217, 10418, 10606, 10698, 11537
	Teiron	10009
	Tek	10820
	Teknika	10054, 10463, 10180, 10150, 10060, 10178, 10092
	Tele System Electronic	10876
	Teleavia	10287, 10343
	Telecolor	10017
	Telecor	10037, 10163, 10217, 10218, 10394
	Telefunken	10702, 11504, 10821, 10820, 10819, 10714, 10712, 10698, 10625, 10587, 10560, 10498, 10486, 10346, 10343, 10335, 10287, 10109, 10074, 10073, 10037
	Telefusion	10037
	Telegazi	10037, 10163, 10218, 10264
	Telemeister	10037
	Telesonic	10037
	Telestar	10009, 10037, 10556
	Teletech	10009, 10037, 10668, 11037
	Teleton	10036, 10217
	Televideon	10163
	Teleview	10037
	Tempest	10009, 10264, 10455
	Tennessee	10037
	Tensai	10009, 10037, 10217, 10218, 10371, 10374, 10715, 11037
	Tenson	10009
	Tera	10030, 10092
	Tevion	10037, 10556, 10648, 10668, 10714, 10808, 11037, 11137, 11248, 11298, 11498, 11556
	Texet	10009, 10217, 10218, 10374
	Texla	10780
	ThemeScene	10887
	Thomas	10047, 10178, 10001, 11904
	Thomson	11447, 10047, 10037, 10109, 10287, 10335, 10343, 10560, 10625
	Thorn	10035, 10036, 10037, 10073, 10074, 10109, 10163, 10264, 10335, 10343, 10361, 10499, 10512
	Thorn-Ferguson	10073, 10335, 10343, 10499
	Tiane	10093, 10817
	Tiny	11269
	TMK	10236, 10180, 10178
	TML	11756
	TNCi	10017
	Tobishi	10218
	Tobo	10748, 10009, 10264
	Tocom	10156
	Tokai	10009, 10037, 10163, 10217, 10374, 10668, 11037
	Tokaido	11037
	Tokyo	10035
	Tomashi	10218
	Tongguang	10264
	Tongtel	10587, 10780
	Topline	10668, 11037
	Toshiba	10154, 11256, 10156, 10150, 11265, 10060, 11145, 10145, 10166, 11037, 11156, 11163, 11164, 11356, 11508, 11556, 11656, 11704, 11945, 11971, 10845, 10821, 10718, 10650, 10618, 10508, 10264, 10217, 10195, 10109, 10070, 10036, 10035, 10011, 10009
	Totevision	10051
	Towada	10217
	Toyoda	10009, 10264, 10371
	Toyomenka	10178
	Trakton	10217, 10264
	Trans Continens	10037, 10217, 10668, 11037
	TRANS-continents	10556, 10865
	Transonic	10009, 10037, 10264, 10418, 10455, 10512, 10587, 10698, 10712, 10780
	Triad	10218, 10556
	Trident	10217
	Trio	11498
	Tristar	10218, 10264
	Triumph	10037, 10346, 10556
	Truetone	10250, 10051
	Tuntex	10030, 10092, 10009
	TVS	10463
	TVTEXT 95	10556
U	Uher	10037, 10370, 10374, 10418, 10480, 10486
	Ultra	10092
	Ultravox	10037, 10163, 10374
	Unic Line	10037, 10455
	United	10037, 10587, 10714, 10715, 11037, 11982
	Universal	10047, 10037
	Universum	11163, 11037, 10668, 10631, 10618, 10512, 10480, 10418, 10370, 10362, 10361, 10346, 10327, 10264, 10217, 10200, 10195, 10170, 10109, 10074, 10070, 10037, 10036, 10011, 10009
	Univox	10037, 10163
V	V	10864, 10885, 11755, 11756
	V2max	10865
	V7 Videoseven	10880, 11217, 11755
	Vector Research	10030
	Vestel	10037, 10217, 10668, 11037, 11163
	Vexa	10009, 10037
	Victor	10250, 10053, 10036, 10650, 10653
	Videocon	10508
	Videologic	10218
	Videologique	10217, 10218
	Videomac	10009
	VideoSystem	10037
	Videotechnic	10217, 10374
	Videoton	10163
	Vidikron	10054
	Vidtech	10178, 10036
	Viewpia	10876
	Viewsonic	10857, 10864, 10885, 11330, 11578, 11627, 11755
	Viking	10060
	Viore	11207
	Vision	10037, 10217, 10264
	Vizio	10864, 10885, 11755, 11756, 11758
	Vortec	10037
	Voxson	10178, 10037, 10163, 10418
W	Waltham	10037, 10109, 10217, 10418, 10443, 10668, 11037
	Wards	10047, 10054, 10017, 10154, 10000, 10156, 10051, 10093, 10236, 10180, 10060, 10178, 10030, 10166, 11347, 11156, 11147, 10866, 10195, 10001, 10037, 10035
	Warumaia	10374, 10661
	Watson	10009, 10037, 10163, 10218, 10394, 10668, 10714, 11037
	Watt Radio	10163
	Waycon	10156
	Wega	10036, 10037
	Wegavox	10009
	Weipai	10009
	Welltech	10714
	Weltblick	10217
	Welton	10178
	Weltstar	11037
	Westinghouse	10000, 10451, 10885, 10889, 11282, 11577
	Wharfedale	10037, 10556, 10860, 11556
	White Westinghouse	10451, 10236, 10463, 10037, 10623, 10889, 11909
	Windsor	10668, 11037
	Windy Sam	10556
	Wintel	10714
	World	10451, 10236, 10463, 10180
	World-of-Vision	10865, 10877, 10880, 11217, 11298
	Worldview	10455
X	X-View	11191
	Xenius	10634, 10661
	Xiahua	10009, 10264, 10698, 10773, 10817
	Xianghai	10009
	Xiangyang	10264
	Xiangyu	10009
	Xihu	10264, 10817
	Xingfu	10009
	Xinghai	10264
	XLogic	10698, 10860
	Xoceco	11064
	Xoro	11196, 11217
	XR-1000	10154, 10180, 10171
	Xrypton	10037
Y	Yamaha	10030, 10650, 11576
	Yamishi	10037, 10217, 10218, 10455
	Yapshe	10250
	Yingge	10009
	Yokan	10037
	Yoko	10009, 10037, 10217, 10218, 10264, 10370
	Yonggu	10009
	Yorx	10030, 10218
	Youlanasi	10817
	Yousida	10009
	Yuhang	10009
Z	Zanussi	10163, 10217, 10264
	Zenith	10047, 10017, 10000, 10093, 10463, 11265, 10812, 10178, 10030, 11145, 10145, 10171, 10092, 10037, 11904, 11909, 11911
	ZhuHai	10009, 10374

TV/DVD Combination ※1, ※3

※1

	Brand	Code
A	Advent	11933
	Akai	11675
	Akura	11982
	Alba	11037
	Amstrad	11982
	Apex Digital	11943
	Audiovox	11937, 11951, 11952
	Axion	11937, 11958
B	Black Diamond	11037
	Bush	10698, 11037, 11900
C	Centrum	11037
	Crown	11037
D	D-Vision	11982
	Denver	10587
E	Elfunk	11037
F	Ferguson	11037
	Finlux	11556
G	Goodmans	10587, 11037, 11900
H	Hitachi	11960
J	JDV	11982
	Jensen	11933

	Brand	Code
K	KLH	11962
L	Lenco	10587
	Logik	11037
	Luker	11982
	Luxor	11037
M	Matsui	11037
	Maxim	11982
	Medion	11900
	Mirror	11900
N	Naiko	11982
	Narita	11982
P	Panasonic	11941
	Philips	11454, 10556, 11961
	Powerpoint	10698
	Prima	11933
R	RCA	11948, 11958
	Roadstar	11900
S	Saivod	11982
	Samsung	11903
	Schneider	11982
	SEG	11037
	Sova	11952
	Stevison	11982
	Sylvania	10171
T	Teac	10698
	Technica	11982
	Telefunken	10698
	Thomson	10625
	Transonic	10587
U	United	10587, 11037, 11982
V	Vestel	11037

※4

	Brand	Code
A	Akai	30695
	Akura	31367
	Alba	30695, 30884
	Amstrad	31367
	Apex Digital	30830
B	Black Diamond	30713, 30884
	Broksonic	30695
	Bush	30713, 30884
C	Centrum	30713
	Citizen	30695
	Crown	30713
D	D-Vision	31367
	DMTech	31271
E	Elfunk	30713, 30884
	Emerson	30675, 31268
	ESA	31268
F	Ferguson	30695, 30713, 30884
	Funai	31268
G	Goodmans	30713
	Grandin	30713
	Grundig	30539, 30695
H	Hitachi	31247
I	Insignia	31268
J	JDV	31367
	JNC	31271
K	Konka	31192
L	Logik	30713, 30884
	Luker	31367
	Luxor	30713
M	Magnavox	31268
	Matsui	30713, 30884
	Maxim	31367
N	Naiko	31367
	Narita	31367
	Neovia	31271
O	Orion	30695
P	Pacific	30695
	Panasonic	31490
	Philips	30539, 30854, 31260
R	RCA	31022
S	Saivod	31367
	Samsung	30899
	Sansui	30695
	Schneider	31367
	SEG	30713, 30884
	Sliding	31115
	Stevison	31367
	Sylvania	30630, 30675, 31268
T	Technica	31367
	Thomson	30551
	Toshiba	30695
U	United	30713, 30884, 31367
	Universum	30713
V	Vestel	30884

TV/VCR Combination ※1, ※2, ※3

※1

	Brand	Code
A	Aiwa	11904, 11911
	America Action	10180
	Amstrad	10171
	Audiovox	10180
B	Beko	10486
	Black Diamond	11909
	Broksonic	10463, 11911
	Bush	11556
C	Curtis Mathes	10051
D	Daewoo	11909
E	Emerson	10236, 10463, 11909, 11911
F	Ferguson	10073, 10625
	Fidelity	10171
	Funai	11904
G	GE	10047, 10051, 10093, 11917, 11922
	GoldStar	10037
	Goodmans	10374, 11909
	Grundig	10037, 10195, 10556
H	Harley Davidson	11904
	Hinari	10036
	Hitachi	11904
I	Internal	11909
J	JVC	11923
L	LG	10178
	Lloyd’s	11904
M	Magnavox	10054, 11904
	Memorex	10250
	Mitsubishi	10093, 10556, 11917
O	Orion	10463, 11911
P	Palsonic	11904
	Panasonic	10250, 10051
	Penney	10051
	Philips	10037, 10556
Q	Quasar	10250, 10051
R	Radiola	10556
	RadioShack	11904
	RCA	10047, 10051, 10093, 11917, 11922
S	Saba	10625
	Samsung	11959
	Sansui	10463, 11904, 11911
	Schneider	10037, 10556, 11904
	Sears	11904
	Sharp	10093, 11917
	Siemens	10037
	Sony	10000, 11505, 11904
	Sylvania	10054
	Symphonic	11904
T	Teac	10178, 10171
	Technics	10556
	Thomas	11904
	Thomson	10625
	Toshiba	11971
W	White Westinghouse	11909
Z	Zenith	11904, 11909, 11911

※2

	Brand	Code
A	Aiwa	20000, 20352, 20479, 20742, 21137
	Akai	20352
	Alba	20352
	America Action	20278
	Amstrad	20000
	Audiovox	20278
B	Beko	20104
	Bestar	20278
	Blue Sky	20278, 20352, 20742
	BPL	20046
	Broksonic	20002, 20479, 21479
	Bush	20352, 20742
C	Citizen	20278, 21278
	Curtis Mathes	20035, 21035
D	Daewoo	20278, 20637, 21278
	Dantax	20352
E	Emerson	20002, 20278, 20479, 20637, 21278, 21479
F	Ferguson	20000, 20278
	Fidelity	20000
	Firstline	20278
	Funai	20000
G	GE	20060, 20035, 20048, 20240, 20807, 21035, 21060
	GoldStar	20037, 20480, 21237
	Goodmans	20278, 20352, 20637
	Grandin	20278, 20742
	Grundig	20081, 20347, 20352, 20742
H	Hanimex	20352
	Harley Davidson	20000
	Hinari	20352
	Hitachi	20000
	Hypson	20037
I	Internal	20278, 20637
J	JBL	20278
	JMB	20352
K	Kambrook	20037
	Kneissel	20278, 20352
L	LG	20037, 20480, 21237
	Lloyd’s	20000
	Loewe	20037
M	Magnasonic	20278, 21278
	Magnavox	20081, 20000, 21781
	Magnin	20240
	Matsui	20352, 20742
	Medion	20352
	Memorex	20162, 20037, 21162, 21237, 21262
	MGA	20240
	Mitsubishi	20048, 20081, 20043, 20807
O	Optimus	20162, 21162, 21262
	Orion	20002, 20352, 20479, 20742, 21479
P	Pace	20352
	Pacific	20742
	Palsonic	20000
	Panasonic	20035, 20162, 21035, 21162, 21262
	Penney	20035, 20037, 20240, 21035, 21237
	Philips	20081
	Portland	20637
Q	Quasar	20035, 20162, 21035, 21162
R	Radiola	20081
	RadioShack	20000
	RCA	20060, 20035, 20048, 20240, 20807, 21035, 21060
S	Saba	20320
	Samsung	20240, 20432, 21014
	Sansui	20000, 20479, 21479
	Sanyo	20240
	Saville	20352
	Schneider	20081, 20000
	Sears	20037, 20000, 21237
	SEG	20637
	Sharp	20037, 20048, 20807
	Shivaki	20037
	Siemens	20081
	Sinudyne	20352
	Sony	20032, 20000, 21232
	Supra	20348
	Sylvania	20081, 21781
	Symphonic	20000
T	Tatung	20352
	Teac	20037, 20000, 20637, 20642
	Technics	20081
	Technosonic	20352
	Telefunken	20278
	Thomas	20000
	Thomson	20278
	Toshiba	20352, 20432, 20845, 21145
U	United	20742
W	White Westinghouse	20278, 20637
Z	Zenith	20000, 20479, 20637, 21479

※3

	Brand	Code
T	Thomson	30551

TV/VCR/DVD Combination ※1, ※2, ※3

※1

	Brand	Code
A	Akai	11903
B	Broksonic	11938
E	Emerson	11944
	ESA	11944
M	Magnavox	11944
P	Panasonic	11946, 11947
R	RCA	11953
S	Sharp	11917
	Sylvania	11944
	Symphonic	11944
T	Toshiba	11945

※2

	Brand	Code
S	Sharp	20807

※3

	Brand	Code
A	Akai	30899

	Brand	Code
E	Emerson	30821
	ESA	30821
M	Magnavox	30821
P	Panasonic	31362, 31462
R	RCA	31132
S	Sharp	30630
	Superscan	30821
	Sylvania	30821
	Symphonic	30821
T	Toshiba	31045

VCR

	Brand	Code
A	A-Mark	20037, 20240, 20000, 20278, 20046
	ABS	21972
	Admiral	20060, 20048, 20039, 20047, 20104, 20121, 20209, 20479
	Adventura	20037, 20240, 20000
	Aiko	20278
	Aim	20278, 20348, 20642
	Aiwa	20037, 20032, 20000, 20209, 20041, 20348, 20352, 20479, 20742, 21137
	Akai	20037, 20240, 20041, 20106, 20315, 20348, 20352, 20642
	Akura	20041
	Alba	20081, 20000, 20209, 20278, 20315, 20348, 20352
	Alienware	21972
	Allegro	20039, 21137
	Allorgan	20240
	Allstar	20081
	America Action	20278
	American High	20035, 20081
	Amoisonic	20479
	Amstrad	20000, 20278
	Anam	20162, 20037, 20240, 20278, 20226, 20480
	Anam National	20162, 20226, 21162, 21562
	Ansonic	20000
	Aristona	20081
	ASA	20037, 20081
	Asha	20240
	Astra	20035, 20240
	Asuka	20037, 20081, 20000, 20038
	Audiolab	20081
	Audiosonic	20278
	Audiovox	20037, 20278, 20038
	Avis	20000
	AVP	20000, 20352
	Awa	20037, 20043, 20278, 20642
B	Baird	20000, 20104, 20041, 20278, 20046, 20106
	Basic Line	20104, 20278, 20046
	Beaumark	20240
	Beko	20104
	Bell & Howell	20035, 20048, 20039, 20000, 20104, 20046, 20479
	Bestar	20278
	Black Diamond	20642
	Black Panther	20278
	Blaupunkt	20162, 20081, 20226
	Blue Sky	20037, 20209, 20278, 20348, 20352, 20480, 20642, 20742, 21137
	BPL	20046
	Brandt	20041, 20320
	Brandt Electronique	20041
	Brinkmann	20209, 20348
	Broksonic	20184, 20121, 20209, 20002, 20348, 20479, 21479
	Bush	20081, 20000, 20209, 20278, 20315, 20348, 20352, 20642, 20742
C	Calix	20037
	Candle	20037, 20038
	Canon	20035
	Capehart	20002
	Carena	20081, 20209
	Carrefour	20045
	Carrera	20240
	Carver	20035, 20081
	Casio	20000
	Cathay	20278
	CCE	20278
	CGE	20000, 20041
	Changhong	20048, 20081
	Cimline	20209
	Cineral	20278
	CineVision	21137
	Citizen	20035, 20037, 20240, 20000, 20209, 20278, 20479, 21278
	Classic	20037
	Clatronic	20000, 21593
	Colortyme	20060, 20035, 20045, 20278
	Colt	20000
	Combitech	20352
	Condor	20278
	Craig	20037, 20047, 20240
	Criterion	20000
	Crosley	20035, 20081, 20000
	Crown	20037, 20278, 20480
	Curtis Mathes	20060, 20035, 20162, 20240, 20000, 20041, 20278, 20432, 21035
	Cybernex	20240
	CyberPower	21972
	Cyrus	20081
D	Daewoo	20037, 20045, 20104, 20209, 20278, 20046, 20352, 20637, 20642, 21137, 21278
	Dansai	20278
	Dantax	20352
	Daytron	20037, 20278
	De Graaf	20048, 20081, 20042, 20104, 20046
	Decca	20081, 20000, 20067, 20209, 20041, 20352
	Degraff	20048, 20081, 20042, 20104
	Deitron	20278
	Dell	21972
	Denon	20081, 20042
	Derwent	20041
	Diamant	20037
	Diamond	20348
	Digitor	20642
	DirecTV	20739
	Domland	20209
	DSE	20642
	Dual	20081, 20000, 20041, 20278, 20348
	Dumont	20081, 20000, 20104
	Durabrand	20039, 20038, 20642
	Dynatech	20240, 20000
E	Elbe	20278, 20038
	Electrohome	20060, 20037, 20240, 20000, 20043, 20209
	Electrophonic	20037
	Elin	20240
	Elta	20278
	Emerald	20184, 20121
	Emerex	20032
	Emerson	20035, 20037, 20184, 20039, 20240, 20045, 20000, 20121, 20043, 20209, 20002, 20278, 20348, 20479, 20637, 21278, 21479, 21593
	ESA	21137
	ESC	20240, 20278
	EuroLine	21593
F	Ferguson	20000, 20041, 20278, 20320, 20348
	Fidelity	20240, 20000, 20352, 20432
	Finlandia	20037, 20048, 20081, 20000, 20042, 20104, 20043, 20046, 20106, 20226
	Finlux	20081, 20000, 20042, 20104
	Firstline	20037, 20045, 20042, 20043, 20209, 20278, 20348, 20480, 21137
	Fisher	20039, 20047, 20000, 20104, 20046
	Flint	20209, 20348
	Fuji	20035, 20033
	Fujitsu	20037, 20045, 20000
	Fujitsu General	20037
	Funai	20037, 20000, 20278, 21593
G	Galaxi	20000
	Galaxis	20278
	Garrard	20000
	Gateway	21972
	GE	20060, 20035, 20048, 20240, 20000, 20226, 20320, 20807, 21035, 21060
	GEC	20081
	Gemini	20060
	General	20045
	General Technic	20348
	Genexxa	20037, 20000, 20104, 20278
	Go Video	20240, 20432, 20614, 21137
	GoldStar	20035, 20037, 20039, 20000, 20209, 20278, 20038, 20225, 20226, 20480, 21137, 21237
	Goodmans	20037, 20081, 20240, 20000, 20209, 20278, 20348, 20352, 20637, 20642, 20742
	GPX	20037
	Gradiente	20000
	Graetz	20240, 20104, 20041
	Granada	20035, 20037, 20048, 20081, 20240, 20000, 20042, 20104, 20046, 20226
	Grandin	20037, 20000, 20209, 20278, 20742
	Grundig	20081, 20226, 20320, 20347, 20348, 20352, 20742
H	Haaz	20348
	Hanimex	20352
	Hanseatic	20037, 20081, 20209, 20038
	Haojie	20240
	Harley Davidson	20000
	Harman/Kardon	20081, 20038
	Headquarter	20046
	Hewlett Packard	21972
	HI-Q	20035, 20047, 20000
	Hinari	20240, 20209, 20041, 20278, 20352
	Hisawa	20209, 2035
	Hischito	20045
	Hitachi	20035, 20037, 20081, 20240, 20045, 20000, 20042, 20041, 20046, 20089
	Hoeher	20278, 20642
	Hornyphon	20081
	Howard Computers	21972
	HP	21972
	Hughes Network Systems	20042, 20739
	Humax	20739
	Hush	21972
	Hypson	20037, 20000, 20209, 20278, 20352, 20480
	Hytek	20047, 20000
I	iBUYPOWER	21972
	Imperial	20000
	Ingersol	20240, 20209
	Interbuy	20037
	Interfunk	20081, 20104
	Internal	20278, 20637
	International	20037, 20278, 20642
	Intervision	20037, 20000, 20209, 20278, 20348
	Irradio	20037, 20081, 21137
	ITT	20240, 20104, 20041, 20046, 20106
	ITT Nokia	20240, 20104, 20041, 20106
	ITV	20037, 20278
J	Janeil	20240
	JBL	20278
	Jensen	20067, 20041
	JMB	20209, 20348, 20352, 20742
	Joyce	20000
	JVC	20184, 20081, 20045, 20067, 20041, 21162
K	Kambrook	20037
	Karcher	20081, 20278, 20642
	KEC	20037, 20278
	Kendo	20037, 20209, 20278, 20106, 20315, 20348, 20642
	Kenwood	20067, 20041, 20038, 20046
	KIC	20000
	Kimari	20047
	Kneissel	20037, 20209, 20278, 20348, 20352
	Kodak	20035, 20037
	Kolin	20043, 20041
	Kolster	20209
	KTV	20000
	Kuba	20047
	Kuba Electronic	20047
L	Lenco	20278
	LG	20037, 20240, 20045, 20000, 20042, 20209, 20278, 20038, 20225, 20480, 21137, 21237
	Lifetec	20209, 20348
	Linksys	21972
	Lloyd's	20240, 20000, 20038
	Loewe	21062, 20162, 20037, 20081, 21262, 21562
	Logik	20240, 20000, 20209, 20106
	Lumatron	20278, 21137
	Lunatron	21137
	Luxor	20048, 20047, 20104, 20043, 20046, 20106, 20315
	LXI	20037, 20000, 20042, 20067
M	M Electronic	20037, 20240, 20000, 20038
	Magnadyne	20081
	Magnasonic	20037, 20240, 20000, 20278, 21278
	Magnavox	20035, 20037, 20048, 20039, 20081, 20240, 20000, 20226, 20618, 20642, 21593, 21781
	Magnin	20240
	Magnum	20642

Brand	Code
Manesth	20081, 20045, 20209
Marantz	20035, 20081, 20209, 20038
Mark	20000, 20278
Marta	20037
Mastec	20642
Master's	20278
Matsui	20037, 20240, 20209, 20278, 20348, 20352, 20742
Matsushita	20035, 20162, 20081, 20226, 21162
Media Center PC	21972
Mediator	20081
Medion	20209, 20348, 20352, 20642
MEI	20035
Memorex	20035, 20162, 20037, 20048, 20039, 20047, 20240, 20000, 20104, 20209, 20278, 20046, 20348, 20479, 21162, 21237, 21262
Metronic	20081
Metz	21062, 20162, 20037, 20081, 20226, 20347, 20836, 21162, 21262, 21562
MGA	20060, 20240, 20043
MGN Technology	20240
Micormay	20348
Micromaxx	20209
Microsoft	21972
Midland	20240
Migros	20000
Mind	21972
Minolta	20042
Mitsubishi	20060, 20048, 20047, 20081, 20000, 20042, 20067, 20043, 20041, 20480, 20642, 20807
Motorola	20035, 20048
MTC	20240, 20000
MTX	20000
Multitec	20037
Multitech	20039, 20000
Murphy	20000
Myryad	20081

N

Brand	Code
NAD	20240, 20104
Naiko	20348, 20642
NAP	20039
National	20226
Nebula Electronics	20033
NEC	20035, 20037, 20048, 20104, 20067, 20041, 20278, 20038, 21137
Neckermann	20081, 20041
Nesco	20000
Neufunk	20209
Newave	20037
Nikkai	20278
Nikko	20037, 20278
Nikkodo	20037, 20278
Nishi	20240
Niveus Media	21972
Noblex	20240
Nokia	20048, 20081, 20240, 20042, 20104, 20041, 20278, 20046, 20106, 20315
Nordmende	20067, 20041, 20320
Northgate	21972
Nu-Tec	20209

O

Brand	Code
Oceanic	20048, 20081, 20000, 20104, 20041, 20046, 20106
Okano	20209, 20278, 20315, 20348
Olympus	20035, 20162, 20104, 20226
Onimax	20642
Onkyo	20222
Optimus	21062, 20035, 20162, 20037, 20048, 20047, 20240, 20000, 20104, 20432, 21162, 21262
Orion	20184, 20240, 20000, 20104, 20121, 20209, 20002, 20278, 20348, 20352, 20479, 20742, 21479
Orson	20000
Osaki	20037, 20000
Otake	20209
Otto Versand	20081

P

Brand	Code
Pace	20352
Pacific	20000, 20348, 20642, 20742
Packard Bell	21972
Palladium	20037, 20209, 20041, 20348
Palsonic	20000, 20642
Panama	20035
Panasonic	21062, 20035, 20162, 20000, 20225, 20226, 20614, 20616, 20836, 21035, 21162, 21262, 21562
Pathe Cinema	20043
Pathe Marconi	20041
Penney	20035, 20162, 20037, 20047, 20081, 20240, 20000, 20042, 20067, 20038, 21035, 21237
Pentax	20042
Perdio	20000, 20209
Philco	20035, 20081, 20000, 20209, 20038, 20226, 20479
Philips	20035, 20162, 20048, 20081, 20045, 20000, 20209, 20226, 20616, 20618, 20739, 21081, 21181
Phoenix	20278
Phonola	20081
Pilot	20037
Pioneer	20162, 20081, 20042, 20067
Polk Audio	20081
Portland	20278, 20637
Presidian	21593
Prinz	20000
Profitronic	20081, 20240
Proline	20000, 20278, 20320, 20642
Proscan	20060, 21060
Prosco	20278
Prosonic	20209, 20278
Protec	20000
Protech	20081
ProVision	20278
Pulsar	20039, 20240, 20278
Pulser	20240
Pye	20081, 20000

Q

Brand	Code
Qisheng	20060
Quarter	20046
Quartz	20035, 20047, 20046
Quasar	20035, 20162, 20002, 20278, 20226, 21035, 21162
Quelle	20081

R

Brand	Code
Radialva	20037, 20048, 20081
Radiola	20081
Radionette	20037, 21137
RadioShack	20035, 20162, 20037, 20048, 20047, 20240, 20000, 20104, 20046, 21162
Radix	20037
Randex	20037
Rank	20041
Rank Arena	20041
RCA	20060, 20035, 20048, 20240, 20045, 20000, 20042, 20106, 20226, 20320, 20807, 20880, 21035, 21060
Realistic	20035, 20162, 20037, 20048, 20047, 20240, 20000, 20104, 20121, 20278, 20046, 21162
Reoc	20348
ReplayTV	20614, 20616
Rex	20041
Ricavision	21972
Rio	21137
Roadstar	20037, 20081, 20240, 20278, 20038, 20742
Runco	20039

S

Brand	Code
Saba	20041, 20278, 20320
Saisho	20209, 20348
Salora	20104, 20043, 20046, 20106
Sampo	20037, 20048
Samsung	20060, 20240, 20045, 20000, 20038, 20432, 20739, 21014
Samtron	20240
Sanky	20048, 20039
Sansei	20048
Sansui	20240, 20000, 20067, 20209, 20041, 20002, 20106, 20348, 20479, 21479
Sanyo	20048, 20047, 20240, 20000, 20104, 20067, 20209, 20046, 20348, 20479, 21137
Saville	20240, 20278, 20352
SBR	20081
ScanSonic	20240
Schaub Lorenz	20000, 20104, 20041, 20106, 20315, 20348
Schneider	20037, 20081, 20240, 20000, 20042, 20278, 20348, 20352, 20642, 21137
Scott	20184, 20045, 20121, 20043
Sears	20060, 20035, 20162, 20037, 20048, 20039, 20047, 20033, 20045, 20000, 20042, 20104, 20067, 20043, 20209, 20041, 21237, 20046
Seaway	20278
SEG	20081, 20240, 20278, 20637, 20642
SEI	20081
Sei-Sinudyne	20081
Seleco	20037, 20041
Semp	20045
Sentra	20278
Sharp	20037, 20048, 20047, 20032, 20000, 20209, 20807
Shinco	20000
Shintom	20039, 20240, 20000, 20104
Shivaki	20037
Shogun	20240
Siemens	20037, 20081, 20104, 20046, 20320, 20347
Siera	20081
Signature	20060, 20035, 20037, 20048, 20000, 20046, 20479
Silva	20037
Silver	20278
SilverCrest	20642
Singer	20037, 20240, 20045, 20348
Sinudyne	20081, 20209, 20352
Smaragd	20348
Sonic Blue	20614, 20616, 21137
Sonographe	20046
Sonolor	20048, 20046
Sontec	20037, 20278
Sonwa	20642
Sony	20035, 20048, 20047, 20032, 20033, 20000, 20067, 20046, 20106, 20226, 20636, 21232, 21972
Soundmaster	20000
Soundwave	20037, 20209, 20348
Stack 9	21972
Standard	20278
Stern	20278
STS	20042
Sunkai	20209, 20278, 20348
Sunstar	20000
Suntronic	20000
Supra	20037, 20278, 20348
Susumu	20037
SV2000	20000
SVA	20000
Sylvania	20035, 20081, 20000, 20043, 21593, 21781
Symphonic	20240, 20000, 20002, 21593
Systemax	21972

T

Brand	Code
T+A	20162
Tagar Systems	21972
Taisho	20209
Tandberg	20278
Tandy	20000, 20104
Tashiko	20037, 20048, 20081, 20240, 20000
Tatung	20048, 20081, 20045, 20000, 20067, 20043, 20209, 20041, 20348, 20352
Tchibo	20348
TCM	20348
Teac	20037, 20000, 20067, 20041, 20278, 20637, 20642, 21593
Technics	20035, 20162, 20037, 20081, 20000, 20226, 21162
TechniSat	20348
Technosonic	20352
Teco	20035, 20037, 20048, 20041, 20038
Tedelex	20037, 20209, 20348, 20642
Teknika	20035, 20037, 20000
Teleavia	20041
Telecorder	20240
Telefunken	20209, 20041, 20278, 20320, 20642
Telerent	20226
Telestar	20037
Teletech	20000, 20278
Tensai	20037, 20000, 20278
Tevion	20209, 20348, 20479, 20642
Texet	20278
Thomas	20000, 20002
Thomson	20060, 20067, 20041, 20278, 20320
Thorn	20037, 20104, 20041, 20320
Tisonic	20278
Tivo	20618, 20636, 20739, 21996
TMK	20240, 20000
TNIX	20037
Tocom	20240
Tokai	20037, 20104, 20041
Topline	20348
Toshiba	20081, 20240, 20045, 20000, 20042, 20067, 20043, 20209, 20041, 20352, 20432, 20742, 20845, 21008, 21145, 21972, 21996
Tosonic	20278
Totevision	20037, 20240
Touch	21972
Toyoda	20278

	Tradex	20081
	Triad	20278
	Trix	20037
U	Uher	20240
	Ultra	20045, 20278
	Ultravox	20278
	Unitech	20240
	United	20348, 20742, 21593
	Universum	20037, 20081, 20240, 20000, 20104, 20209, 20106, 20348, 21137
V	Vector	20045
	Vector Research	20184, 20038
	Victor	20067, 20041
	Video Concepts	20045
	Video Technic	20000
	Videomagic	20037
	Videosonic	20240, 20000
	Viewsonic	21972
	Villain	20000
	Voodoo	21972
W	Wards	20060, 20035, 20037, 20048, 20039, 20047, 20081, 20033, 20240, 20045, 20000, 20042, 20043, 20041, 20038, 20046, 20479
	Watson	20081, 20352, 20642
	Weltblick	20037
	Wharfedale	20642
	White Westinghouse	20000, 20209, 20278, 20479, 20637
	World	20209, 20002, 20348, 20479
X	XR-1000	20035, 20240, 20000
Y	Yamaha	20041, 20038
	Yamishi	20278
	Yoko	20037, 20240
Z	Zenith	20037, 20039, 20033, 20000, 20209, 20041, 20278, 20479, 20637, 21137, 21479
	ZT Group	21972
	ZX	20209, 20348, 20352

PVR ※2

A	ABS	21972
	Alienware	21972
C	CyberPower	21972
D	Dell	21972
	DirecTV	20739
G	Gateway	21972
	Go Video	20614
H	Hewlett Packard	21972
	Howard Computers	21972
	HP	21972
	Hughes Network Systems	20739
	Humax	20739
	Hush	21972
I	iBUYPOWER	21972
L	Linksys	21972
M	Media Center PC	21972
	Microsoft	21972
	Mind	21972
N	Niveus Media	21972
	Northgate	21972
P	Panasonic	20614, 20616
	Philips	20618, 20739
R	RCA	20880
	ReplayTV	20614, 20616
S	Samsung	20739
	Sonic Blue	20614, 20616
	Sony	20636, 21972
	Stack 9	21972
	Systemax	21972
T	Tagar Systems	21972
	Tivo	20618, 20636, 20739
	Toshiba	21008, 21972, 21996
	Touch	21972
V	Viewsonic	21972
	Voodoo	21972
Z	ZT Group	21972

DVD Player

1	3D LAB	30503, 30539
	4Kus	31158
A	A-Trend	30714
	Acoustic Solutions	30713, 30730, 31228
	AEG	30770, 30788, 30790, 31923
	AFK	31051, 31152, 31923
	Aim	30672, 30699, 30833
	Airis	30672, 31005, 31224, 31250, 31321, 31345
	Aiwa	30533, 30641
	Akai	30690, 30695, 30705, 30770, 30788, 30790, 30884, 30898, 30899, 31115, 31205, 31233, 31695
	Akashi	30838
	AKI	31005
	Akira	30699, 31321
	Akura	30898, 31051, 31140, 31233, 31367
	Alba	30672, 30539, 30717, 30695, 30699, 30713, 30730, 30783, 30884, 31140, 31530, 31695
	Alco	30790
	Alize	31151
	All-Tel	31451
	Allegro	30869
	Altacom	31224
	Amitech	30784, 30770, 30850
	Amoi	30852
	Amphion Media Works	30872
	Amstrad	30713, 30770, 31151, 31367
	AMW	30872
	Anam	31913
	Ansonic	30759, 30774, 30831
	Apex Digital	30533, 30672, 30717, 30755, 30794, 30796, 30797, 30830, 31004, 31020, 31056, 31061
	Aristona	30539, 30646
	Arrgo	31023
	ASCOMTEC	31923
	Asono	31224
	Aspire Digital	31168
	Atacom	31224
	Audiosonic	30690, 31923
	Audiovox	30717, 30790
	Audioworld	30790
	Autovox	30713
	Auvio	30843
	Awa	30730, 30872
	Axion	30730
B	Base	31451
	Basic Line	30713
	Baze	30898
	BBK	30862, 31224
	Beep	31163
	Bellagio	31004
	Belson	31086, 31923
	Binatone	31923
	Black Diamond	30713, 30833, 30884
	Blaupunkt	30717
	Blu:sens	31233, 31321
	Blue Nova International	31321
	Blue Parade	30571
	Blue Sky	30672, 30651, 30695, 30699, 30713, 30790, 30843, 31423
	Boghe	31004
	Boman	30783, 30898, 31005
	Bose	32023
	Brainwave	30770, 31115
	Brandt	30503, 30651, 30551
	Broksonic	30695
	Bush	30672, 30717, 30690, 30699, 30713, 30723, 30730, 30831, 30833, 30884, 31051, 31140, 31483, 31695, 31832
	Byd:sign	30872
C	C-Tech	30798, 31152
	California Audio Labs	30490
	Cambridge Audio	30751, 31109
	Cambridge Soundworks	30690
	Campomatic Digital	31051
	Cat	30699, 30789, 31421, 31923
	CCE	30730
	Celestial	31020
	cello	31730
	Centrex	30672, 31004
	Centrum	30713, 30789, 31005, 31227, 31923
	CGV	30751, 31115
	Changhong	30627, 31061
	Cinea	30831, 30841
	Cinetec	30713, 30872
	cineULTRA	30699
	CineVision	30833, 30869, 31483
	Citizen	30695
	Clairtone	30571
	Classic	30730, 31730
	Clatronic	30672, 30675, 30788, 31233
	Clayton	30713
	Coby	30730, 30852, 31086, 31321, 31923
	Codex	31233
	Commax	31321
	Conia	30672, 30852, 31321
	Contel	30788
	Continental Edison	30831, 30872
	Craig	30831
	Creative	30503, 30539
	Crown	30690, 30713, 30770, 31115
	Crypto	31228
	Curtis Mathes	31087
	Cybercom	30831
	CyberHome	30714, 30816, 30874, 31023, 31024, 31117, 31129, 31502
	Cytron	30651, 30705, 30774, 31347
D	D-Vision	31115, 31367
	Daenyx	30872
	Daewoo	30490, 30784, 30705, 30714, 30770, 30833, 30869, 30872, 31172, 31483, 31906
	Dalton	31036
	Dansai	30770, 30783, 31115, 31695
	Dantax	30539, 30713, 30723, 30790
	Daytek	30872, 31005
	Dayton	30872
	DCE	30831
	Decca	30770, 31115
	Denon	30490, 30634, 31634, **[32134]***
	Denver	30672, 30699, 30788, 30898, 31056, 31104, 31321, 31923
	Denzel	30665
	Desay	30843, 31212
	Dgtec	30672
	Diamond	30651, 30751, 30768, 30790
	Digihome	30713
	DigiLogic	30713
	digiRED	30717
	Digitech	31832
	Digitor	30651, 30690, 30833, 31005, 31423
	Digitrex	30672, 31004, 31056
	DiK	30831
	Dinamic	30788
	Disney	30675, 30831, 31270
	DiViDo	30705
	DK Digital	30831
	DMTech	30783, 31271
	Dragon	30831
	DreamX	31151
	DSE	30833, 31152, 31730
	Dual	30651, 30665, 30675, 30713, 30730, 30783, 30790, 30831, 31023
	Durabrand	30713, 30831, 31023, 31502
	DVD2000	30521
	DVX	30768
E	E:max	31233, 31321
	EagleTec	30714
	eBench	31152
	ECC	30730
	Eclipse	30723, 30751
	Elfunk	30713, 30850, 30884
	Elin	30770
	Elite	31152
	Ellion	30850, 31421
	Elta	30672, 30690, 30770, 30788, 30850, 31051, 31115, 31151, 31233
	Eltax	31233, 31321
	Emerson	30591, 30675, 30705, 30821, 31268
	Enterprise	30591
	Entivo	30503, 30539
	Enzer	30784, 30770, 31228
	ESA	30821, 31268
	EuroLine	30675, 30788, 31115, 31233
F	Fenner	30651
	Ferguson	30651, 30695, 30713, 30884, 30898, 31695, 31730
	Finlux	30672, 30591, 30741, 30751, 30770, 30783
	Firstline	30651, 30713, 30843, 30869, 31530
	Fisher	30670
	Funai	30675, 30695, 31268
	Fusion	30862
G	Gateway	31158
	GE	30522, 30815, 30717
	General Electric	30717
	Germatic	31051

	Brand	Code
	Global Link	31224
	Global Solutions	30768
	Global Sphere	31152
	Go Video	30573, 30744, 30717, 30715, 30741, 30783, 30833, 30869, 31044, 31075, 31099, 31158, 31483, 31730
	GoldStar	30591, 30741, 30869
	Goodmans	30651, 30690, 30713, 30723, 30730, 30783, 30790, 30833, 31004, 31140, 31423, 31530, 31730, 31923
	GP Audio	31140
	GPX	30699, 30741
	Gradiente	30490, 30651
	Graetz	30665
	Gran Prix	30831, 30898
	Grandin	30713, 31233
	Greenhill	30717
	Grundig	30539, 30651, 30551, 30670, 30686, 30695, 30705, 30713, 30775, 30790, 31004, 31036, 31695, 31730, 31832, 31920
	Grunkel	30770, 30790, 30831
H	H & B	30713, 30841, 30850, 31233, 31421
	Haaz	30751, 31152
	Haier	30843
	Hanseatic	30741, 30783, 30790
	Harman/Kardon	30582, 30702
	HCM	30788
	HDT	30705
	HE	30730, 31163, 31923
	Henss	30713
	HiMAX	30843
	Hitachi	30573, 30664, 30665, 30713, 31247, 31920
	Hiteker	30672, 31923
	Hoeher	30651, 30713, 30831, 31004, 31224
	Home Electronics	30730, 30770
	Home Tech Industries	31224
	Hoyo	30665
	Humax	30646
	Hyundai	30783, 30850, 31061, 31228
I	iLo	31348
	Ingelen	30788
	Ingersol	31023
	Initial	30839, 30717
	Inno Hit	30713
	Insignia	31268
	Integra	30571, 30627, 31634
	Irradio	30869, 31115, 31224, 31233
	IRT	30783
	ISP	30695
J	Jamo	31036
	Jaton	30665
	JBL	30702
	JDB	30730
	JDV	31367
	Jeken	30699
	Jepssen	31250
	JMB	30695
	JNC	30672, 31271
	JSI	31423
	JVC	30503, 30539, 30558, 30623, 30867, 31164, 31597, 31860
	jWin	31051
K	Kansas Technologies	31233, 31530
	Karcher	30783
	Kawasaki	30790
	Kendo	30672, 30699, 30713, 30831
	Kennex	30713, 30770, 30898
	Kenwood	30490, 30534
	Kiiro	30770
	Kiss	30665, 30841, 31523
	KLH	30815, 30717, 30790, 31020
	Kloss	30533
	Koda	31230
	Konka	31192
	Koss	30651, 31061, 31423
	Kreisen	31421
	KXD	31321, 31923
L	Lasonic	30627, 30798, 30789
	Lawson	30768
	Lecson	31533
	Leiker	30872
	Lenco	30651, 30699, 30713, 30770, 30774
	Lenoir	31228
	Lenoxx	30690, 30838
	Lexia	30699, 30768
	LG	30591, 30741, 30790, 30869, 31906
	Lifetec	30651, 30831, 31347
	Limit	30768, 31104
	LiteOn	31058, 31158
	Lodos	30713
	Loewe	30539, 30511, 30741, 30885
	Logik	30713, 30884
	Logix	30705, 30783
	Luker	31367
	Lumatron	30695, 30705, 30713, 30741, 30833, 31115, 31321, 31832
	Lunatron	30741
	Luxman	30573
	Luxor	30713, 31004, 31695, 31730
M	Magnasonic	30651, 30675
	Magnat	31923
	Magnavox	30503, 30539, 30646, 30675, 30713, 30821, 30885, 31140, 31268
	Magnex	30723
	Majestic	31345
	Manhattan	30705, 30713
	Marantz	30503, 30539, 30675
	Mark	30713
	Marquant	30770
	Matsui	30672, 30651, 30695, 30713, 30884, 31004, 31695, 31730
	Maxdorf	30788
	Maxent	31347
	Maxim	30713, 30872, 31367
	Maya	31345
	MBO	30690, 30730, 31730
	McIntosh	31533
	MDS	30713
	Mecotek	30770
	Medion	30651, 30630, 30774, 30783, 30831, 31006, 31270, 31345, 31347, 31423
	MEI	30790
	Memorex	30690, 30695, 30831, 31270
	Metronic	30690
	Metz	30525, 30571, 30713
	MiCO	30723, 30751, 31223
	Micromaxx	31695
	Micromedia	30503, 30539
	Micromega	30539, 31005
	Microsoft	30522, 31708
	Microstar	30831
	Minato	30752
	Minax	30713
	Minerva	30705
	Minoka	30770, 31115
	Mintek	30839, 30717
	Mirror	30752
	Mitsubishi	31521, 30521, 30713, 31403
	Mizuda	30770, 31451
	Monyka	30665
	MPX	30843
	Mustek	30730, 31730
	Mx Onda	30651, 30751, 31223
	Mystral	30831
N	NAD	30741
	Naiko	30770, 31004, 31367
	Narita	31367
	NEC	30741, 30869, 31404
	Neovia	31271
	Nesa	30717
	Neufunk	30665
	Nevir	30770, 30831, 31197
	NexxTech	31402
	Nikkai	31923
	Nintaus	31051, 31202
	Niro	32024
	Norcent	30872, 31923
	Nordmende	30774, 30831
	Noriko	30752
	Nova	31923
	Nowa	30843
	Nu-Tec	31228
O	Okano	30752
	Olidata	30672
	Omni	30690, 30833, 30838, 30862, 31104, 31832
	Onix	30838
	Onkyo	30503, 30627
	Oopla	31158
	Oppo	31224
	Optim	30843
	Optimus	30525, 30571
	Orbit	30872
	Orion	30695, 31233, 31695
	Oritron	30651
	Ormond	30713
P	P&B	31451
	Pacific	30695, 30713, 30759, 30768, 30790, 30831
	Packard Bell	30831
	Palladium	30695, 30713, 31906, 31920
	Palsonic	30672, 30852, 31056, 31321
	Panasonic	30503, 30490, 30571, 30703, 31362, 31462, 31490, 31579, 31762, 31834, 31905, 31908
	Panda	30717, 30789, 31203
	peeKTon	30898, 31224
	Philco	30690, 30862
	Philips	30503, 30539, 30646, 30675, 30854, 30885, 31158, 31260, 31267, 31340, 31354
	Philo	31345
	Phonotrend	30699
	PianoDisc	31024
	Pioneer	30490, 30525, 30571, 30631, 31965
	Plu2	30850
	Pointer	30784
	Polaroid	31020, 31061, 31086
	Polk Audio	30539
	Portland	30770
	Powerpoint	30872, 31005
	Presidian	30675
	Prima	31228
	Prinz	30831
	Prism	30705, 30831
	Pro2	31345
	ProCaster	31004
	Proceed	30672
	Proline	30672, 30651, 30686, 30833, 31004, 31483
	Proscan	30522
	Proson	30713
	Prosonic	30699, 30752
	ProVision	30699, 30730, 31163, 31321, 31923
	Pye	30539, 30646
Q	QONIX	31051
	Qwestar	30651
R	Radionette	30741, 30869, 31906, 32024
	RadioShack	30571
	Raite	30665
	RCA	30522, 30571, 30717, 30790, 30822, 31022, 31132, 31769, 31913, 31965
	Realistic	30571
	REC	30490
	Redstar	30759, 30763, 30770, 30788, 30898, 31345, 31923
	Relisys	31347
	Reoc	30752, 30768
	Revoy	30699, 30841
	Rex	30838
	Richmond	31233
	Rio	30869
	Roadstar	30672, 30690, 30699, 30713, 30730, 30833, 30898, 31051, 31227
	Rocksonic	30789
	Ronin	30872
	Rotel	30558, 30623
	Rowa	30717, 30759, 30872, 31004
	Rownsonic	30789
S	Saba	30651, 3055
	Sabaki	30798
	Saivod	30759, 30831, 31367
	Salora	30741
	Sampo	30752, 31321, 31347
	Samsung	30490, 30573, 30744, 30199, 30820, 30899, 31044, 31075, 31635, 31932
	Sansui	30784, 30695, 30751, 30763, 30768, 31051, 31228, 31230, 31695, 31832
	Sanyo	30670, 30675, 30695, 30713, 30873, 31228
	Scan	30705, 30850
	ScanMagic	30730, 31730
	ScanSonic	31695
	Schaub Lorenz	30770, 30788, 31115, 31151
	Schneider	30539, 30646, 30651, 30705, 30713, 30774, 30783, 30788, 30790, 30831, 30869, 31367
	Schwaiger	30752
	Scientific Labs	30768

	Brand	Code
	Scott	30672, 30651, 31005, 31036, 31233, 31423
	Seeltech	31224, 31451
	SEG	30798, 30665, 30713, 30763, 30872, 30884, 31483, 31530
	Sensory Science	31158
	Shanghai	30672
	Sharp	30630, 30675, 30713, 30752, 31256, 32015, 32024
	Sharper Image	31117
	Sherwood	30717, 30741, 30770
	Shinco	30717
	Shinsonic	30533, 30839
	Siemssen	31382
	Sigmatek	31005, 31224
	Siltex	31224
	Silva	30788, 30898
	Silva Schneider	30831, 30898
	SilverCrest	31152
	Simaudio	30885
	Singer	30690, 30751, 30768
	Sistemas	30672
	Skantic	30539, 30713
	Skymaster	30730, 30768
	Skyworth	30898
	Sliding	31115
	Slim Art	30784
	SM Electronic	30690, 30730, 30768, 31152
	Smart	30705, 30713
	Sonai	30755
	Sonashi	30831
	Sonic Blue	30573, 30715, 30783, 30869, 31099
	Sony	30533, 31533, 30864, 30573, 30630, 30772, 31033, 31070, 31431, 31433, 31536, 31633, 31769, 31981, 32043
	Sound Color	31233
	Soundmaster	30768
	Soundmax	30768
	Soundwave	30783
	Spectra	30872
	Standard	30651, 30768, 30788, 30831, 30898
	Star Clusters	31152, 31227
	Starlogic	31005
	Starmedia	31005, 31224
	Stevison	31367
	Strong	30713
	Sunkai	30770, 30850
	Sunstech	30831
	Sunwood	30788, 30898
	Superscan	30821
	Supervision	30768, 31152
	SVA	30672, 30717, 30752, 31105
	Sylvania	30630, 30675, 30821, 31268
	Symphonic	30675, 30821, 31268
	Synn	30768
T	Tandberg	30713, 31695
	Tangent	31321
	Targa	31227
	Tatung	30770, 31695
	Tchibo	30741
	TCL	31180
	TCM	30741, 30790
	Teac	30571, 30717, 30675, 30741, 30759, 30768, 30790, 30833, 31006, 31197, 31227
	Tec	30898
	Technica	31367, 31695
	Technics	30490, 30703, 31905
	Technika	30770, 30831, 31115, 31695
	Technisson	31115
	Technosonic	30730, 31051, 31115
	Techwood	30713, 31530
	Tedelex	30690, 30768, 31004, 31228
	Telefunken	30789, 30790, 30833, 31483, 31832, 31923
	Teletech	30713, 30768
	Tensai	30651, 30690, 30770
	Tevion	30651, 30798, 30768, 30833, 30898, 31036, 31227, 31347, 31382, 31483, 31730, 31923
	Theta Digital	30571
	Thomson	30522, 30511, 30551
	Tivo	31503
	Tokai	30784, 30665, 30788, 30790, 30898
	Tom-Tec	30789
	Top Suxess	31224
	Toshiba	30503, 30573, 30539, 30695, 31045, 31154, 31503, 31510, 31769
	TRANS-continents	30831, 30872, 31321, 31327
	Transonic	30730
	Tredex	30843
	TruVision	31451
	Tsinghua Tongfang	31205
	TSM	31224
U	Umax	30690, 31151
	Unimax	30770
	United	30675, 30695, 30699, 30713, 30730, 30788, 30884, 31115, 31152, 31228, 31367, 31832
	Universum	30591, 30713, 30741, 30790, 30869, 31227, 31530, 31913
	Uptek	30763
	upXus	31345
	Urban Concepts	30503, 30539
	US Logic	30839
V	Venturer	30790
	Vestel	30713, 30884, 31530
	Victor	31597
	Vieta	30705
	Viewmaster	30862, 31224
	Voxson	30690, 30730, 30774, 30831
	Vtrek	31228
W	Waitec	31151, 31224, 31233
	Walkvision	30717
	Waltham	31530
	Welkin	30831
	Wellington	30713
	Weltstar	30713
	Wesder	30699
	Wharfedale	30686, 30751, 30752, 30790, 31832
	Wilson	30831, 31233
	Windsor	30713
	Windy Sam	30573
	WIZE	31115
	Woxter	31005, 31151, 31224
X	Xbox	30522, 31708
	Xenius	30790
	XLogic	30768, 31152, 31228
	XMS	30770, 30788
	Xoro	31183, 31250
Y	Yakumo	31004, 31056
	Yamada	30872, 31004, 31056, 31151, 31158
	Yamaha	30490, 30539, 30646, 30545, 31354
	Yamakawa	30665, 30872, 31104
	Yukai	30730, 31730
Z	Zenith	30503, 30591, 30741, 30869, 31906
	Zeus	30784

DVD Recorder

	Brand	Code
1	4Kus	31158
A	Airis	31321
	Akira	31321
	Alba	31530
	Apex Digital	31056
	Aristona	30646
	Aspire Digital	31168
B	Belson	31086
C	Cat	31421
	cello	31730
	Centrum	31227
	Classic	31730
	Coby	31086
	Commax	31321
	Conia	31321
	CyberHome	31129, 31502
	Cytron	31347
D	Denon	30490
	Denver	31056
	Digitrex	31056
	DSE	31730
	Durabrand	31502
E	E:max	31321
	Ellion	31421
	Eltax	31321
	Emerson	30675
F	Ferguson	31730
	Firstline	31530
	Funai	30675
G	Gateway	31158
	Go Video	30741, 31158, 31730
	Goodmans	31530, 31730
	GPX	30741
	Grundig	31730
H	H & B	31421
	Humax	30646
I	iLo	31348
J	JVC	31164, 31597
K	Kansas Technologies	31530
	Kreisen	31421
	KXD	31321
L	LG	30741
	Lifetec	31347
	LiteOn	31158
	Loewe	30741
	Lumatron	31321
	Luxor	31730
M	Magnavox	30646, 30675
	Matsui	31730
	Maxent	31347
	MBO	31730
	Medion	31347
	MiCO	30751
	Mitsubishi	31403
	Mustek	31730
N	NEC	31404
O	Oopla	31158
P	Palsonic	31056, 31321
	Panasonic	30490, 31579
	Philips	30646, 31158
	Pioneer	30631
	Polaroid	31086
	ProVision	31321
	Pye	30646
R	RCA	30522
	Relisys	31347
	Roadstar	31227
S	Sampo	31347
	Samsung	30490, 31635
	ScanMagic	31730
	Schneider	30646
	SEG	31530
	Sensory Science	31158
	Sharp	30630, 30675
	Sony	31033, 31070, 31431, 31433, 31536
	Star Clusters	31227
	Sylvania	30675
T	Tangent	31321
	Targa	31227
	Teac	31227
	Techwood	31530
	Tevion	31227, 31347, 31730
	Thomson	30551
	Toshiba	31510
U	Universum	31227, 31530
V	Vestel	31530
	Victor	31597
W	Waltham	31530
Y	Yakumo	31056
	Yamada	31056, 31158
	Yamaha	30646
	Yukai	31730
Z	Zenith	30741

プリセットコード	32134		30490
DENON 製 DVD プレーヤー	DVD-555 DVD-700 DVD-900 DVD-1000 DVD-1400 DVD-1500 DVD-1710 DVD-1910 DVD-1930 DVD-2200 DVD-2800	DVD-2800II DVD-2900 DVD-2910 DVD-2930 DVD-3800 DVD-3910 DVD-3930 DVD-A11 DVD-A1 DVD-A1XV	DVD-800 DVD-1600 DVD-2000 DVD-2500 DVD-3000 DVD-3300

[ ]*：お買い上げ時に設定されているプリセットコードです。
※1　：これらのコードはTVモードにプリセットしてご使用ください。
※2　：これらのコードはVCRモードにプリセットしてご使用ください。
※3　：これらのコードはDVDモードにプリセットしてご使用ください。

株式会社デノンコンシューマー マーケティング

本　　社　　〒104-0033 東京都中央区新川 1-21-2
茅場町タワー 14F

お客様相談センター　TEL：045-670-5555

【電話番号はお間違えのないようにおかけください。】

受付時間　9：30 〜 12：00、12：45 〜 17：30
（当社休日および祝日を除く、月〜金曜日）

故障・修理・サービス部品についてのお問い合わせ先（サービスセンター）については、次の URL でもご確認できます。
http://denon.jp/info/info02.html

後日のために記入しておいてください。

購 入 店 名：	電話（　　-　　-　　）
ご購入年月日：　　年　　月　　日	

Printed in Japan　00D 511 4696 101C